

# 愛知県美術館年報



目次

<b>主要記事</b> .....	4
<b>収集・保存・管理</b>	
1 収集.....	5
収集方針	
収集委員会	
新収蔵品と収集の状況	
所蔵作品全体の状況	
美術品等取得基金について	
近年の収集と新収蔵品	
新収蔵品一覧	
新規寄託品と寄託の状況	
2 保存.....	20
保存事業の実施	
3 管理.....	22
作品の管理	
作品の貸出	
貸出の概要	
木村定三コレクションの調査研究	
藤井達吉関係資料の調査研究	
所蔵作品情報の公開	
施設・設備の管理	
<b>展示・教育普及</b>	
1 所蔵作品の展示公開.....	23
コレクション展の概要	
コレクション展の開催状況と入場者数	
コレクション展等の関連イベント及びメディア掲載	
コレクション展の展示作品リスト	
移動美術館	
サテライト展示	
2 企画展.....	40
企画展の開催状況	
これまでの企画展一覧	
3 関連事業.....	52
珠洲焼の壺の特別公開及び募金箱の設置	
4 映像事業.....	53
アートフィルム・フェスティバル	
愛知芸術文化センター・愛知県美術館オリジナル映像作品の制作	
5 教育普及.....	54
教育普及事業の実施状況	
出版・発行	
事業関連イベント	
教育プログラム	
博物館実習生の受け入れ	
学生アシスタントの受け入れ	
美術館友の会への協力	
<b>調査研究</b> .....	59
<b>防災</b> .....	62
<b>ギャラリー（貸館）</b> .....	63
美術館ギャラリー利用状況	
利用団体一覧	
<b>組織および職員構成</b> .....	66
<b>関係委員会名簿</b> .....	67

## 主要記事

- 2023年 3月21日(火) 第1期コレクション展開幕(会期—5月31日(水))
- 4月14日(金) 企画展「近代日本の視覚開化 明治——呼応し合う西洋と日本のイメージ」開幕(会期—5月31日(水))
- 5月19日(金) 第1回愛知県美術館美術品収集委員会開催
- 5月25日(木) 全国美術館会議総会開催
- 5月26日(金) 全国美術館会議分科会開催
- 6月30日(金) 第2期コレクション展および企画展「幻の愛知県博物館」開幕  
(会期—8月27日(日))
- 7月4日(火) 清須市はるひ美術館で「移動美術館2023 画家たちの眼——さまざまな表現への挑戦——」開幕  
(会期—8月20日(日))
- 7月11日(火) 愛知県美術館専門委員会開催
- 8月8日(火) 愛知芸術文化センター運営会議開催
- 8月24日(木) 愛知県美術館専門委員会ギャラリー部会開催
- 10月21日(土) 第27回アートフィルム・フェスティバル開幕  
(会期—11月1日(水))
- 9月1日(金) 愛知芸術文化センターシェイクアウト訓練実施
- 10月6日(金) 第3期コレクション展および企画展「生誕120年 安井仲治」開幕(会期—11月27日(月))
- 12月7日(木) 第2回愛知県美術館美術品収集委員会開催
- 2024年 1月16日(火) 第4期コレクション展およびコレクション企画「コレクションズ・ラリー 愛知県美術館・愛知県陶磁美術館共同企画」開幕(会期—4月14日(日))
- 2月14日(水) 能登半島地震に係る被災地支援として、珠洲焼の壺の特別公開と募金箱の設置(—4月14日(日))
- 2月20日(火) 第3回愛知県美術館美術品収集委員会開催
- 3月5日(火) 愛知県美術館防災訓練実施
- 3月11日(土) 全国美術館会議東海ブロック災害時情報伝達訓練実施
- 3月20日(月) 愛知県美術館美術品収集委員会オリジナル映像部会開催

# 収集・保存・管理

## 1 収集

### 収集方針

- ・20世紀の優れた国内外の作品及び20世紀の美術動向を理解する上で役立つ作品
- ・現在を刻印するにふさわしい作品
- ・愛知県としての位置をふまえた特色あるコレクションを形成する作品
- ・上記の作品・作家を理解する上で役立つ資料

### 収集委員会（委員名簿は67頁）

2023年度美術品収集委員会：第1回2023年5月19日（金）  
 第2回2023年12月7日（木）  
 第3回2024年2月20日（火）

オリジナル映像部会：2023年3月20日（月）

### 新収蔵品と収集の状況

上記の収集方針にそって20件の作品を購入し、70件の作品の寄贈を受け、1件の作品を管理替えし、合計91件の作品を新たに収集した。

分野	購入	受贈	管理換え等
日本画	0	0	0
絵画	9	23	0
水彩・素描	0	31	0
彫刻・立体	5	6	0
インスタレーション	2	1	0
版画	1	2	0
写真	3	4	0
映像	0	0	1
工芸	0	0	0
書	0	0	0
考古遺物	0	0	0
資料	0	3	0
計	20	70	1

※単位はすべて件数

### 所蔵作品全体の状況

（2024年3月末現在／単位：件）

		工芸	書	水彩・素描	写真	インスタレーション	日本画	資料	絵画	版画	考古遺物	立体・彫刻	映像	合計	
旧愛知県文化会館から引き継いだもの	購入	0	0	238	0	0	101	43	320	64	0	26	0	792	
	寄贈	952	70	75	0	0	435	31	67	44	0	3	0	1,677	
	移管	0	0	0	0	0	18	9	15	0	0	0	0	42	
2022年度までに美術館が収集したもの	購入	基金	5	0	153	70	15	40	17	202	338	0	160	66	1,066
		寄附金	0	0	2	0	0	3	1	7	2	0	0	4	19
		一般財源	0	0	14	0	0	0	0	15	6	0	12	0	47
	寄贈	1,235	220	516	216	4	659	283	514	862	239	329	16	5,093	
	移管	5	0	0	0	0	12	13	5	4	0	3	7	49	
旧文化情報センターから引き継いだもの	移管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	23	
合計		2,197	290	998	286	19	1,268	397	1,145	1,320	239	533	116	8,808	
2023年度に美術館が収蔵したもの	購入	基金	0	0	0	3	2	0	0	3	1	0	4	0	13
		寄附金	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	1	0	7
	寄贈	0	0	31	4	1	0	3	23	2	0	6	0	70	
	移管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
合計		0	0	31	7	3	0	3	32	3	0	11	1	91	
累計	購入	基金	5	0	153	73	17	40	17	205	339	0	164	66	1,079
		寄附金	0	0	2	0	0	3	1	13	2	0	1	4	26
		一般財源	0	0	252	0	0	0	0	101	43	0	38	0	839
	寄贈	2,187	290	622	220	5	1,094	317	604	908	239	338	16	6,840	
	移管	5	0	0	0	0	30	22	20	4	0	3	31	115	
合計		2,197	290	1,029	293	22	1,268	400	1,177	1,323	239	544	117	8,899	

※点数と件数で異なっていた作品数について、2014年度末に件数で統一した。

※1件として登録されていた版画作品174点を、2017年度に174件として分割した。

\*「藤井達吉コレクション」：愛知県文化会館の開館（1950年）前後に、愛知県出身の工芸家藤井達吉氏（1881-1964）及び同氏の支援団体から寄贈された、同氏の作品を主とするコレクション。

\*\*「木村定三コレクション」：名古屋市の著名な美術品収集家木村定三氏（1913-2003）及び御遺族から寄贈された、同氏のほぼ全コレクション。愛知県美術館本来の収集方針に合致する小川芋銭や熊谷守一などの近・現代美術のほか、重要文化財6件を含む江戸絵画、仏教美術、陶磁器、茶道具、漆工芸、考古遺物など多岐に亘る日本と東アジア地域の美術を主としている。

### 美術品等取得基金について

愛知県美術館と愛知県陶磁資料館（現愛知県陶磁美術館）が、芸術的価値の高い美術品等を機動的、継続的に収集するための財源として1988（昭和63）年4月に設置された。基金には、県からの積立金のほかに、美術品等の収集を支援する民間からの寄附金が含まれている。

運用状況

2024年3月末現在

基金総額		124億8,315万8,999円
運用内訳	美術品	*114億4,403万5,687円
	現金	10億3,912万3,312円

\*うち美術館所蔵作品は、1,105件

## 近年の収集と新収蔵品

美術品等取得基金による購入は、2007～2009年度に3か年で陶磁資料館（現：陶磁美術館）と合わせ1億2千万円（内、美術館9千万円）という執行枠が設けられた。以降3年間で9,000万円の執行枠の中で作品購入を行い、2022年～2023年度についても同様である。

2022年度より新たに3か年9,000万円の執行枠で、従来のコレクションを多面化し充実させる作品や、日常的な調査・研究活動を活かした作品収集を行った。これらの継続的な収集活動に加え、2020年度から愛知県在住の個人による年間1,500万円の寄附を10年間受けることとなった。その寄附金は女性作家の作品購入に充てることとしており、2023年度は3作家7点の作品を購入した。さらに2023年度には愛知県在住の2人の個人からブラックとキャリントンのそれぞれ5億円相当の絵画を受贈した。

### 3 絵画（日本）

眞島建三  
地帯

1959年  
油彩、画布  
53.0×48.5 cm

MAJIMA Kenzo  
Zone  
1959  
oil on canvas  
53.0×48.5 cm

JO202300003000



### 4 絵画（日本）

岸本清子  
春の七草 黎明

1985年  
アクリル、パネル  
183.0×183.0 cm

KISHIMOTO Sayako  
Dawn - The Seven Herbs of Spring  
1985  
acrylic on aluminum  
183.0×183.0 cm

JO202300004000



### 5 絵画（日本）

岸本清子  
春の七草 昼

1985年  
アクリル、パネル  
183.0×183.0 cm

KISHIMOTO Sayako  
Daytime - The Seven Herbs of Spring  
1985  
acrylic on aluminum  
183.0×183.0 cm

JO202300005000



### 6 絵画（日本）

岸本清子  
春の七草 夕

1985年  
アクリル、パネル  
183.0×183.0 cm

KISHIMOTO Sayako  
Dusk - The Seven Herbs of Spring  
1985  
acrylic on aluminum  
183.0×183.0 cm

JO202300006000



### 7 絵画（日本）

岸本清子  
春の七草 夜

1985年  
アクリル、パネル  
183.0×183.0 cm

KISHIMOTO Sayako  
Night - The Seven Herbs of Spring  
1985  
acrylic on aluminum  
183.0×183.0 cm

JO202300007000



## 新収蔵品一覧

作品データは、掲載番号、分野に続けて、作家、タイトル、制作年、(入り数)、技法・材質（・形状）、寸法（平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行、映像作品は時間、画面比率）を和英で記載し、所蔵作品登録番号、寄贈者名を付した。

### 購入作品（基金）（20件）

#### 1 絵画（日本）

青山悟  
Rose

2023年  
ミシン刺繍、ポリエステル・オーガンジー  
40.7×30.2 cm

AOYAMA Satoru  
Rose  
2023  
embroidery on polyester organza  
40.7×30.2 cm

JO202300001000



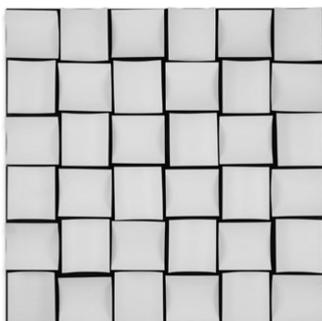
#### 2 絵画（日本）

高崎元尚  
装置

1972年  
ポリエステル、ラッカー、合板  
180.0×180.0×11.0 cm

TAKASAKI Motonao  
APPARATUS  
1972  
polyester, lacquer, plywood  
180.0×180.0×11.0 cm

JO202300002000



8 絵画 (日本)  
古川あいか  
構成 - 30.8

2018年  
油彩・アクリル、透過カンヴァス  
400.0×104.0 cm

FURUKAWA Aika  
Configuration - 30.8  
2018  
oil and acrylic on transparent canvas  
400.0×104.0 cm

JO202300008000



9 絵画 (日本)  
古川あいか  
失った色 - 2

2021年  
墨・油彩、透過カンヴァス  
420.0×104.0 cm

FURUKAWA Aika  
Lost colours - 2  
2021  
sumi-ink and oil on transparent canvas  
420.0×104.0 cm

JO202300009000



10 彫刻・立体 (日本)  
青山悟  
N氏の吸い殻

2023年  
ミシン刺繍、ポリエステル・オーガンジー/  
コンクリートプレート/ビデオm4v (USB)  
5.0×φ0.8 cm/映像4分3秒

AOYAMA Satoru  
Mr. N's cigarette but  
2023  
embroidery on polyester organza, concrete,  
video  
5.0×φ0.8 cm/video 4min 3sec

JS202300001000



11 彫刻・立体 (日本)  
清野祥一  
無題

1994年  
抗火石・シャモット・黒鉛  
527.0×427.0×10.0 cm

SEINO Shoichi  
Untitled  
1994  
anti-fire stone, chamotte, and graphite  
527.0×427.0×10.0 cm

JS202300002000



12 彫刻・立体 (日本)  
ノブコウエダ  
作品

1981年  
御影石  
各パーツ17.0×164.0×10.0/11.0×178.0×  
10.0/8.0×161.5×10.5/7.0×161.0×10.5/  
15.0×174.0×10.5 cm

UEDA Nobuko  
Work  
1981  
granite  
each part 17.0×164.0×10.0/11.0×178.0×  
10.0/8.0×161.5×10.5/7.0×161.0×10.5/  
15.0×174.0×10.5 cm

JS202300003000

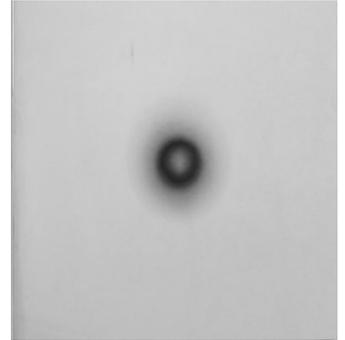


13 彫刻・立体 (日本)  
和田礼治郎  
EXOSPHERE

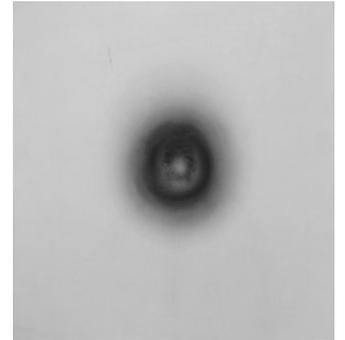
2023年  
チタン  
9点組  
30.0×30.0×1.5

WADA Reijiro  
EXOSPHERE  
2023  
titanium  
9-piece set  
30.0×30.0×1.5

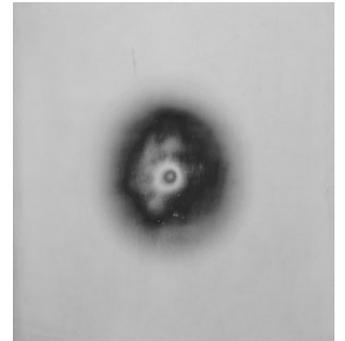
JS202300004000  
※個々の作品には枝番として下一桁に1~9を  
付す



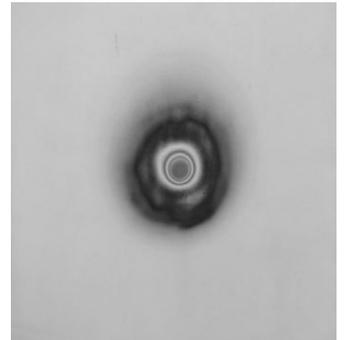
1



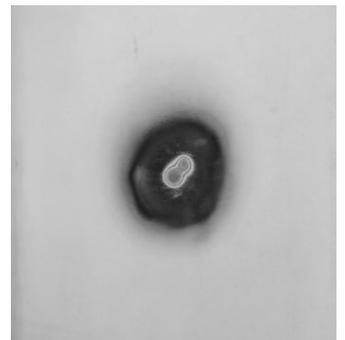
2



3



4



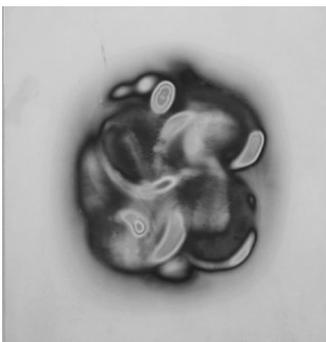
5



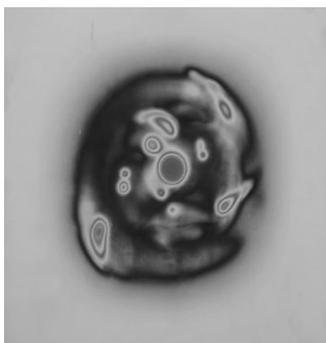
6



7



8



9



14 彫刻・立体 (日本)

西條茜  
甘い共鳴

2021年  
陶  
90.0×110.0×140.0 cm

SAIJO Akane  
Sweet Resonance  
2021  
ceramic  
90.0×110.0×140.0 cm

JS202300005000

15 版画 (海外)

『青年同盟』—『ギレヤ』の詩人参加の元で—  
—第3号

1913年  
活版印刷の表紙と11点のリトグラフ入りの冊子  
24.0×24.0×0.6 cm

"The Union of Youth" in Collaboration with  
the "Gileia" Poets, no.3

1913  
book with 11 lithographs and letterpress  
cover  
24.0×24.0×0.6 cm

FP20230001000

※個々の作品には枝番として下二桁に01~12  
を付す



01

01. 表紙 ヨシフ・シコーリンク

02. オリガ・ローザノワ

03. オリガ・ローザノワ

04. ヨシフ・シコーリンク

05. ヨシフ・シコーリンク

06. オリガ・ローザノワ

07. ヨシフ・シコーリンク

08. オリガ・ローザノワ

09. ヨシフ・シコーリンク

10. オリガ・ローザノワ

11. ヨシフ・シコーリンク

12. オリガ・ローザノワ



02



03



04



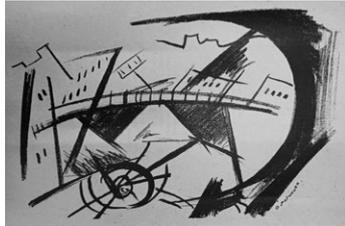
05



06



07



08



09



10



11



12



01



02



03



04

16 写真(日本)

入義紋四郎

岸本清子の活動記録写真プリント

1980年代

10点組

ゼラチンシルヴァープリント

各20.3×25.3cm

IRIYOSHI Monshiro

Printed Documentary Photography of

KISHIMOTO Sayako's Activity

1980s

10-piece set

gelatin silver print

20.3×25.3cm each

JF202300001000

※個々の作品には枝番として下二桁に01~10

を付す



05



06



07



08



09



10

17 写真(日本)

田附勝

KAKERA 株価表 1990年(平成2年)3月13日 毎日新聞(撮影:2017年11月10日 東京都東久留米市)

2017年(プリント2020年)  
ライトジェットプリント  
169.0×248.0 cm

TATSUKI Masaru  
Stock Table, March 13, 1990, Mainichi  
Shimbun, Higashikurume, Tokyo, November  
10, 2017

2017 (reprint 2020)  
lightjet print  
169.0×48.0 cm

JF202300002000



18 写真(日本)

田附勝

KAKERA あけましておめでとう 技術の日産 1964年(昭和39年)1月1日 朝日新聞(撮影:2018年11月26日 奈良県奈良市)

2018年/2019年(プリント2020年)  
ライトジェットプリント  
169.0×248.0 cm

TATSUKI Masaru  
Happy New Year - Technological Nissan,  
January 1, 1964, Asahi Shimbun, Nara,  
November 26, 2018

2018/2019 (print 2020)  
lightjet print  
169.0×248.0 cm

JF202300003000



19 インスタレーション(日本)

藤井光

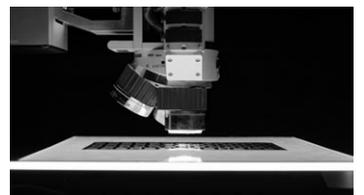
日本の戦争美術 1946

2022年  
ビデオ・インスタレーション  
映像1A: 14分  
映像1B: 23分  
映像4A: 23分  
サウンドA: 5分  
サウンドC: 6分

FUJII Hikaru  
The Japanese War Art 1946  
2022

video installation  
film1A: 14min  
film1B: 23min  
film4A: 23min  
sound A: 5min  
sound C: 6min

JJ202300001000



20 インスタレーション(日本)

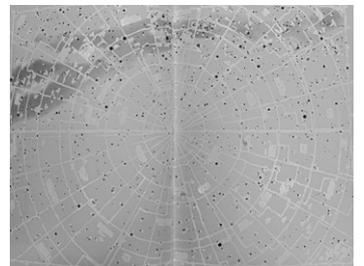
渡辺英司

言の種

1990年(2019年再制作)  
アクリル・修正液、全天恒星図本(2点組)、  
木  
48.0×48.0×140.0 cm

WATANABE Eiji  
Seed of Language  
1990 (2019 remake)  
acrylic, correction fluid, two celestial atlas  
books, wood  
48.0×48.0×140.0 cm

JJ202300002000



寄贈作品（70件）

21 絵画（海外）  
ジョルジュ・ブラック  
水浴する女性と3つの果実

1926年  
油彩・砂、画布  
100.0×81.2 cm

Georges BRAQUE  
Bather with the Three Fruits  
1926  
oil and sand on canvas  
100.0×81.2 cm

FO20230001000

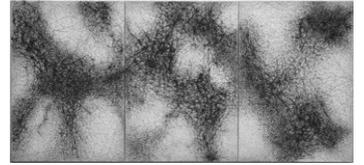


26 絵画（日本）  
塩田千春  
Endless Line

2017年  
糸、画布  
200.0×420.0 cm (3点組、各200.0×140.0 cm)

SHIOTA Chiharu  
Endless Line  
2017  
thread on canvas  
200.0×420.0 cm (3-piece set) (each 200.0×140.0 cm)

JO202300013000  
牧廣美氏寄贈



22 絵画（海外）  
レオノーラ・キャリントン  
ウルでの狩り

1946年頃  
油彩、画布  
49.8×110.0 cm

Leonora CARRINGTON  
Hunting at Ur  
ca1946  
oil on canvas  
49.8×110.0 cm

FO202300002000  
東清志・悦子氏寄贈

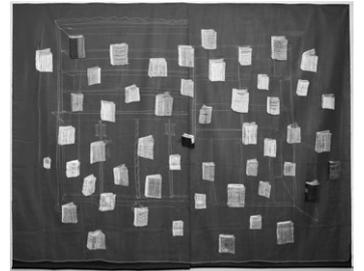


27 絵画（日本）  
竹村京  
The books in K.T.'s bookshelf and foreign book

2019年  
オイルパステル、塗装された布・日本製絹糸・イタリア製合成繊維  
360.0×460.0 cm

TAKEMURA Kei  
The books in K.T.'s bookshelf and foreign book  
2019  
paint and oil pastel on fabric, japanese silk thread, italian synthetic cloth  
360.0×460.0 cm

JO202300014000  
牧廣美氏寄贈



23 絵画（日本）  
石井守  
不詳

1960-70年代  
油彩、画布  
91.3×64.8 cm

ISHII Mamoru  
unknown  
1960-70s  
oil on canvas  
91.3×64.8 cm

JO202300010000  
石井守（奥山太平）氏寄贈



28 絵画（日本）  
竹村京  
Theater4, with two women playing cards

2023年  
群馬県産蛍光絹糸・絹糸・アクリル・シルクオーガンジー・鉛筆・アルミン酸ストロンチウム・墨・麻布  
212.0×176.0 cm

TAKEMURA Kei  
Theater4, with two women playing cards  
2023  
gunma fluorescent silk thread, silk thread, acrylic paint, silk organdie, pencil, strontium aluminate, japanese ink and hemp cloth  
212.0×176.0 cm

JO202300015000  
牧廣美氏寄贈



24 絵画（日本）  
石井守  
不詳

1960-70年代  
油彩、画布  
116.5×90.8 cm

ISHII Mamoru  
unknown  
1960-70s  
oil on canvas  
116.5×90.8 cm

JO202300011000  
石井守（奥山太平）氏寄贈

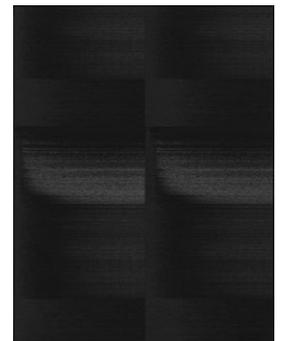


29 絵画（日本）  
田島美加  
Negative Entropy (Seishouji, Afternoon Bell, Blue Rust, Quad)

2022年  
綿、アクリル、ナイロン、ポリエステル、ウールの吸音フェルト、ホワイトオーク  
186.5×140.8×6.0 cm

TAJIMA Mika  
Negative Entropy (Seishoji, Afternoon Bell, Blue Rust, Quad)  
2022  
cotton, acrylic, nylon, polyester, wool acoustic baffling felt, and white oak  
186.5×140.8×6.0 cm

JO202300016000  
牧廣美氏寄贈

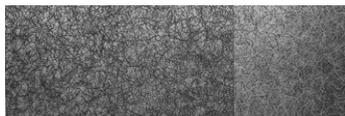


25 絵画（日本）  
鬼頭健吾  
cosmic dust - gold

2008年  
油彩・ラメ、画布  
80.0×240.0 cm (3枚で構成各80.0×80.0 cm)

KITO Kengo  
cosmic dust - gold  
2008  
oil and glitter on canvas  
80.0×240.0 cm (total) (each part 80.0×80.0 cm)

JO202300012000  
牧寛之氏寄贈



30 絵画（日本）  
田島美加  
Art d' Ameublement (Asilo de la Paz)

2023年  
スプレー式アクリル絵具、熱成形されたPETG樹脂  
133.5×102.5×5.0 cm

TAJIMA Mika  
Art d' Ameublement (Asilo de la Paz)  
2023  
spray acrylic, thermoformed PETG  
133.5×102.5×5.0 cm

JO202300017000  
牧廣美氏寄贈



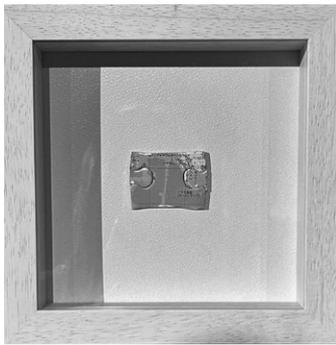
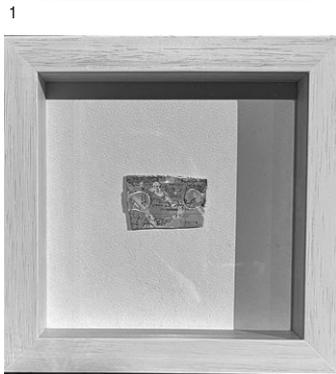
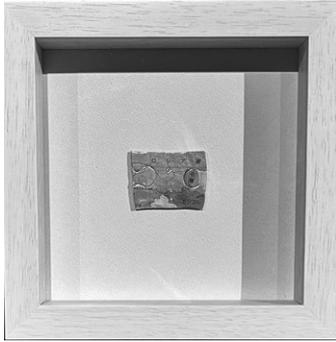
31 絵画 (日本)

林玲翔  
puzzle

2022年  
3点組  
パズルピース  
15.0×15.0/15.1×15.0/15.2×15.1 cm

HAYASHI Rioka  
puzzle  
3-piece set  
2022  
puzzle piece  
15.0×15.0/15.1×15.0/15.2×15.1 cm

JO202300018000  
※個々の作品には枝番として下一桁に1~3を  
付す  
牧廣美氏寄贈



34 絵画 (日本)

松川朋奈  
I decide for myself 2

2023年  
油彩、パネルに張ったリネン  
162.0×112.0 cm

MATSUKAWA Tomona  
I decide for myself 2  
2023  
oil on linen mounted on panel  
162.0×112.0 cm

JO202300021000  
牧廣美氏寄贈



35 絵画 (日本)

松川朋奈  
I remember only that you were wearing  
a blue shirt that day

2023年  
油彩、パネルに張ったリネン  
53.0×45.5 cm

MATSUKAWA Tomona  
I remember only that you were wearing a  
blue shirt that day  
2023  
oil on linen mounted on panel  
53.0×45.5 cm

JO202300022000  
牧廣美氏寄贈



36 絵画 (日本)

松川朋奈  
Time passes even if I'm not here

2023年  
油彩、パネルに張ったリネン  
145.5×97.0 cm

MATSUKAWA Tomona  
Time passes even if I'm not here  
2023  
oil on linen mounted on panel  
145.5×97.0 cm

JO202300023000  
牧廣美氏寄贈



32 絵画 (日本)

福田美蘭  
高きやに のぼりてみれば

1995年  
アクリル、パネル  
227.2×181.8 cm

FUKUDA Miran  
Upon Ascending a Lofty Tower  
1995  
acrylic on panel  
227.2×181.8 cm

JO202300019000  
作者寄贈



37 絵画 (日本)

松下春雄  
風景

1929年  
油彩、画布  
90.0×115.2 cm

MATSUSHITA Haruo  
Landscape  
1929  
oil on canvas  
90.0×115.2 cm

JO202300024000  
愛宕下美術館寄贈



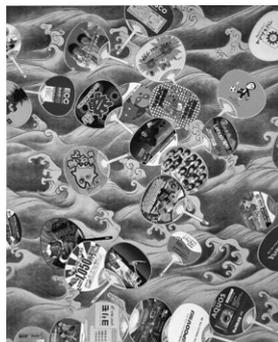
33 絵画 (日本)

福田美蘭  
扇面流図

2007年  
アクリル・広告紙、パネル  
162.0×130.0 cm

FUKUDA Miran  
Drifting Fans  
2007  
acrylic and advertising paper on panel  
162.0×130.0 cm

JO202300020000  
作者寄贈



38 絵画 (日本)

松下春雄  
髪を洗ふ女

1930年  
油彩、画布  
145.5×128.8 cm

MATSUSHITA Haruo  
Women Washing Hair  
1930  
oil on canvas  
145.5×128.8 cm

JO202300025000  
愛宕下美術館寄贈



39 絵画 (日本)  
三瓶玲奈  
色をほどく

2022年  
油彩、画布  
145.5×112.0 cm

MIKAME Reina  
Unraveling the Color  
2022  
oil on canvas  
145.5×112.0 cm

JO202300026000  
牧廣美氏寄贈



44 水彩・素描 (日本)  
川内理香子  
HANDS

2020年  
水彩・鉛筆、紙  
26.6×38.0 cm

KAWAUCHI Rikako  
HANDS  
2020  
watercolor and pencil on paper  
26.6×38.0 cm

JD202300001000  
作者寄贈



40 絵画 (日本)  
山崎雅未  
Buildings

2023年  
アクリル、画布  
162.0×130.0 cm

YAMASAKI Mami  
Buildings  
2023  
acrylic on canvas  
162.0×130.0 cm

JO202300027000  
牧廣美氏寄贈

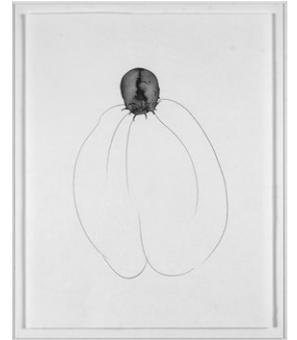


45 水彩・素描 (日本)  
川内理香子  
plum fruit

2021年  
水彩・鉛筆、紙  
41.0×31.8 cm

KAWAUCHI Rikako  
plum fruit  
2021  
watercolor and pencil on paper  
41.0×31.8 cm

JD202300002000  
作者寄贈

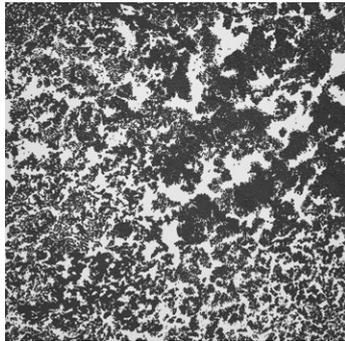


41 絵画 (日本)  
大和美緒  
under my skin 2021

2021年  
アクリル、画布  
100.0×100.0×5.0 cm

YAMATO Mio  
under my skin 2021  
2021  
acrylic on canvas  
100.0×100.0×5.0 cm

JO202300028000  
牧廣美氏寄贈



46 水彩・素描 (日本)  
川内理香子  
shower

2021年  
水彩・鉛筆、紙  
41.0×31.8 cm

KAWAUCHI Rikako  
shower  
2021  
watercolor and pencil on paper  
41.0×31.8 cm

JD202300003000  
作者寄贈

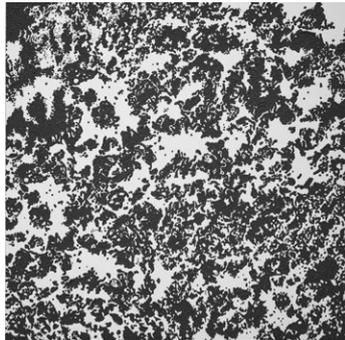


42 絵画 (日本)  
大和美緒  
under my skin 2021

2021年  
アクリル、画布  
100.0×100.0×5.0 cm

YAMATO Mio  
under my skin 2021  
2021  
acrylic on canvas  
100.0×100.0×5.0 cm

JO202300029000  
牧廣美氏寄贈



47 水彩・素描 (日本)  
岸本清子  
マクベス

1986年  
水彩・鉛筆、紙  
60.0×43.0 cm

KISHIMOTO Sayako  
Macbeth  
1986  
watercolor and pencil on paper  
60.0×43.0 cm

JD202300004000  
石井久美子氏寄贈



43 絵画 (日本)  
中村彝  
静物

1911年  
油彩、画布  
43.0×53.3 cm

NAKAMURA Tsune  
Still Life  
1911  
oil on canvas  
43.0×53.3 cm

JO202300030000



48 水彩・素描 (日本)  
竹田大助  
エチュード

1972年  
水彩・インク、紙  
37.5×27.8 cm

TAKEDA Daisuke  
Etude  
1972  
watercolor and ink on paper  
37.5×27.8 cm

JD202300005000  
下村直樹氏寄贈



49 水彩・素描 (日本)

竹田大助  
エチュード

1972-2001年  
水彩・パステル・インク、紙  
37.5×27.8 cm

TAKEDA Daisuke  
Etude  
1972-2001  
watercolor, pastel and ink on paper  
37.5×27.8 cm

JD20230006000  
下村直樹氏寄贈



54 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
33.0×24.3 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
33.0×24.3 cm

JD202300011000  
藪野正樹氏寄贈



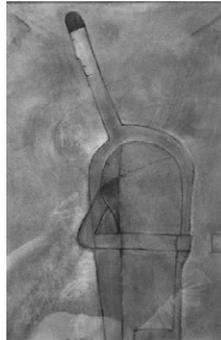
50 水彩・素描 (日本)

竹田大助  
人物像2

1977-99年  
パステル、紙  
67.6×51.7 cm

TAKEDA Daisuke  
Figure 2  
1977-99  
pastel on paper  
67.6×51.7 cm

JD202300007000  
下村直樹氏寄贈



55 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
38.0×29.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
38.0×29.0 cm

JD202300012000  
藪野正樹氏寄贈



51 水彩・素描 (日本)

松下春雄  
松

1925年  
水彩、紙  
23.0×30.0 cm

MATSUSHITA Haruo  
Pine Trees  
1925  
watercolor on paper  
23.0×30.0 cm

JD202300008000  
愛宕下美術館寄贈



56 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
29.0×38.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
29.0×38.0 cm

JD202300013000  
藪野正樹氏寄贈



52 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
28.8×37.8 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
28.8×37.8 cm

JD202300009000  
藪野正樹氏寄贈



53 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
38.0×28.9 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
38.0×28.9 cm

JD202300010000  
藪野正樹氏寄贈



57 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
29.0×38.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
29.0×38.0 cm

JD202300014000  
藪野正樹氏寄贈



58 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
38.0×29.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
38.0×29.0 cm

JD202300015000  
藪野正樹氏寄贈



63 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
38.0×29.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
38.0×29.0 cm

JD202300020000  
藪野正樹氏寄贈



59 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
38.0×29.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
38.0×29.0 cm

JD202300016000  
藪野正樹氏寄贈



64 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
38.0×29.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
38.0×29.0 cm

JD202300021000  
藪野正樹氏寄贈



60 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
29.0×38.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
29.0×38.0 cm

JD202300017000  
藪野正樹氏寄贈



65 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
38.0×29.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
38.0×29.0 cm

JD202300022000  
藪野正樹氏寄贈



61 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
29.0×38.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
29.0×38.0 cm

JD202300018000  
藪野正樹氏寄贈



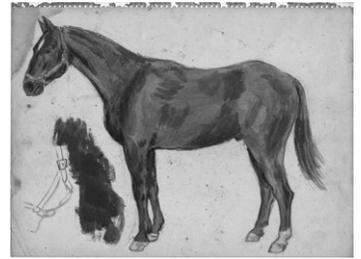
66 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
28.0×37.3 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
28.0×37.3 cm

JD202300023000  
藪野正樹氏寄贈



62 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
38.0×29.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
38.0×29.0 cm

JD202300019000  
藪野正樹氏寄贈



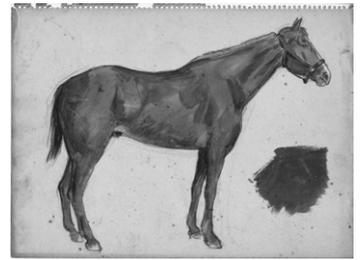
67 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
28.0×37.3 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
28.0×37.3 cm

JD202300024000  
藪野正樹氏寄贈



68 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
38.0×29.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
38.0×29.0 cm

JD202300025000  
藪野正樹氏寄贈



73 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
23.4×31.8 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
23.4×31.8 cm

JD202300030000  
藪野正樹氏寄贈



69 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
38.0×29.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
38.0×29.0 cm

JD202300026000  
藪野正樹氏寄贈



74 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
29.0×38.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
29.0×38.0 cm

JD202300031000  
藪野正樹氏寄贈



70 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
38.0×29.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
38.0×29.0 cm

JD202300027000  
藪野正樹氏寄贈



75 彫刻・立体 (日本)

鈴木悠哉  
Curved Little Sea (vertical)

2023年  
水性樹脂、ファイバーグラス、スタイロフォーム、  
アクリル塗料  
85.0×40.0×40.0 cm

SUZUKI Yuya  
Curved Little Sea (vertical)  
2023  
water-based resin, glass fiber, styrofoam,  
acrylic paint  
85.0×40.0×40.0 cm

JS202300006000



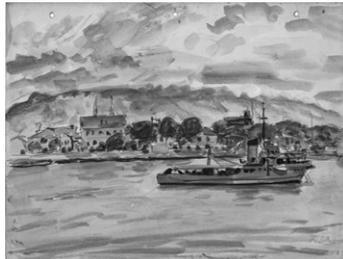
71 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
37.9×29.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
37.9×29.0 cm

JD202300028000  
藪野正樹氏寄贈



76 彫刻・立体 (日本)

鈴木悠哉  
Vanished Marker (N35.09951°  
E136.87534°)

2023年  
水性樹脂、ファイバーグラス、スタイロフォーム、  
木材、アクリル塗料  
75.0×75.0×95.0 cm

SUZUKI Yuya  
Vanished Marker (N35.09951° E136.87534°)  
2023  
water-based resin, glass fiber, styrofoam,  
wood, acrylic paint  
75.0×75.0×95.0 cm

JS202300007000



72 水彩・素描 (日本)

藪野正雄  
戦中スケッチ

1940年代前半  
鉛筆・水彩、紙  
37.9×29.0 cm

YABUNO Masao  
Wartime Sketches  
Early 1940s  
pencil and watercolor on paper  
37.9×29.0 cm

JD202300029000  
藪野正樹氏寄贈



77 彫刻・立体 (日本)

鈴木悠哉  
Misidentification

2023年  
木材、LEDライト、アクリル板、カッティ  
ングシート、アクリル塗料  
100.0×50.0×30.0 cm

SUZUKI Yuya  
Misidentification  
2023  
wood, LED, acrylic board, cut-out sticker,  
acrylic paint  
100.0×50.0×30.0 cm

JS202300008000



78 彫刻・立体 (日本)

鈴木悠哉

Lifted Pale Shadow (N35.10586 ° E136.88428)

2023年  
木材、アクリル塗料  
150.0×85.0×45.0 cm

SUZUKI Yuya  
Lifted Pale Shadow (N35.10586° E136.88428)  
2023  
wood, acrylic paint  
150.0×85.0×45.0 cm

JS202300009000



83 写真 (日本)

入義紋四郎  
赤猫革命!

1980年代  
ゼラチンシルヴァープリント  
21.0×25.3 cm

IRIYOSHI Monshiro  
Red Cat Revolution!  
1980s  
gelatin silver print  
21.0×25.3 cm

JF202300004000



79 彫刻・立体 (日本)

奈良美智/松井紫朗  
channel

1994年  
FRPに彩色・銅・ガラス  
33.0×33.0×60.0 cm

NARA Yoshitomo/MATSUI Shiro  
channel  
1994  
colored FRP, copper, glass  
33.0×33.0×60.0 cm

JS202300010000  
辻貞行氏寄贈



84 写真 (日本)

蛭川実花  
花瞬く光

2021年  
Cプリント、プレキシガラス  
145.6×97.0 cm

NINAGAWA Mika  
Flowers, Shimming Lights  
2021  
c-print mounted on plexiglass  
145.6×97.0 cm

JF202300005000  
牧廣美氏寄贈



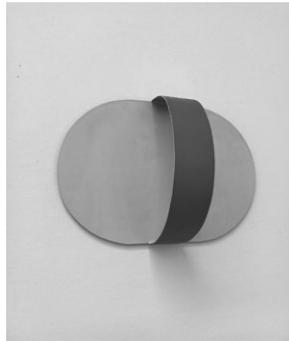
80 彫刻・立体 (日本)

松井紫朗  
arc I

1996年  
油彩、銅  
25.0×37.0×14.0 cm

MATSUI Shiro  
arc I  
1996  
oil on copper  
25.0×37.0×14.0 cm

JS202300011000  
辻貞行氏寄贈



85 写真 (日本)

蛭川実花  
花瞬く光

2021年  
Cプリント、プレキシガラス  
145.6×97.0 cm

NINAGAWA Mika  
Flowers, Shimming Lights  
2021  
c-print mounted on plexiglass  
145.6×97.0 cm

JF202300006000  
牧廣美氏寄贈



81 版画 (日本)

名古屋石版舎製造・蔭山久礪石画  
日本武尊宮實媛命給宝劔授図

1879 (明治12) -1888 (明治21) 年  
石版、紙  
36.9×48.3 cm

Nagoya Sekibansya/KAGEYAMA Kyusen  
Yamato Takeru gives the Sword Kusanagi  
to Miyazuhime-no-mikoto  
1879 (Meiji 12) -1888 (Meiji 21)  
lithograph on paper  
36.9×48.3 cm

JP202300001000



86 写真 (日本)

蛭川実花

Fading into the silence

2023年  
Cプリント・ネオン管、プレキシガラス  
97.0×145.6 cm

NINAGAWA Mika  
Fading into the silence  
2023  
c-print mounted on plexiglass, neon tube  
97.0×145.6 cm

JF202300007000  
牧廣美氏寄贈



82 版画 (日本)

林玲翔  
world

2023年  
インクジェットプリント、紙  
59.4×84.1 cm

HAYASHI Rioka  
world  
2023  
inkjet print on paper  
59.4×84.1 cm

JP202300002000  
牧廣美氏寄贈



87 インスタレーション (日本)

林玲翔  
world

2023年  
インクジェットプリント、段ボール箱、PP  
バンド、台車  
サイズ可変

HAYASHI Rioka  
world  
2023  
inkjet printing on stage ball box,  
polypropylene band and stopper, platform  
trolley  
Variable size

JJ202300003000  
牧廣美氏寄贈



## 管理替え等 (1件)

88 資料 (日本)

塩見允枝子

スペシャル・ボエム (2022年版)  
「移動のイヴェント」関連資料

2022年

紙、デジタルデータ  
地図40.0×50.0 cm (4枚)、手紙16.0×11.0 cm、カード  
約15.0×20.0 cm (62枚)、色見本22.5×30.0 cm

SHIOMI Mieko

Spatial Poem (2022 Version) "Moving  
Event" related documents

2022

paper, digital data  
Maps 40.0×50.0 cm (4 sheets), Letter 16.0×11.0 cm, Cards  
about 15.0×20.0 cm (62 sheets), color sample 22.5×30.0 cm

JM202300001000

作者寄贈



91 映像 (日本)

清原惟

A Window of Memories

2023年

ビデオ

67分

KIYOHARA Yui

A Window of Memories

2023

video

67min

JV202300001000



89 資料 (日本)

石井守関連資料

1960-2000年代

印刷物、写真ほか

Related Material about Mamoru Ishii

2000s

printed matter, photograph, etc.

JM202300002000

石井守 (奥山太平) 氏寄贈

90 資料 (日本)

岸本清子作品資料及び記録等

1960-80年代

印刷物、スケッチブック、写真アルバムほか

Documents and materials of KISHIMOTO

Sayako

1960-1980s

printed matter, sketch book, photo albums,  
etc.

JM202300003000

安井未星氏寄贈

## 新規寄託品と寄託の状況

2023年度には絵画1点、水彩・素描5点、立体2点、写真3点の計11件の寄託を受け、絵画1件、立体1点、インスタレーション1点、版画1点、写真2点計7件の寄託を解除し返却した。

寄託品件数内訳 (2024年3月末現在)

分類	件数
日本画	49
絵画	104
水彩・素描	99
彫刻・立体	29
インスタレーション	0
版画	115
写真	90
資料	18
計	37所蔵者504件

## 2 保存

### 保存事業の実施状況

事業項目	内 容
保存環境の整備	展示室および収蔵庫内の空気環境測定をおこなった。
	生物被害対策のための生息調査と徹底清掃をおこなった。
所蔵作品の保存・修復措置	貸出・展示予定の作品から優先的に、輸送・展示のための最低限の保存処置をおこなった。
所蔵作品の状態調査	翌年度以降に貸出・展示予定の作品について状態調査をおこなった。
	状態が悪く展示ができない作品について、修復を前提とした状態調査をおこなった。

### 保存環境の整備業務一覧

No.	内容	目的	作業者
1	バグトラップ調査（年6回）	文化財害虫モニタリング	中部資材
2	清掃（荷解梱包室、企画保管庫）	虫菌害予防、作品汚損予防	(株)イカリ消毒
3	空気環境測定（6F収蔵庫1）	有害物質（有機酸、アンモニア）モニタリング	葉名彩香（保存担当学芸員）

### 保存処置作品一覧

No.	種別	作家名	作品名	技法、材質	処置内容	処置者
1	工芸	-	経巻 ※銅経筒(M310)に付属	紙本	経巻の展開作業	(公財)元興寺文化財研究所
2	立体・彫刻	若林奮	大気中の緑色に属するもの I	鉛、木	修復（解体、鉛板の再制作等）	文化財修復工房明舎 藤原徹
3	絵画	登山博文	Space-white	カーボン・オイル バー、パネル	浮き上がりの接着、裏面の補強	大原秀之（絵画修復家）、 葉名彩香（保存担当学芸員）
4	絵画	サム・フランシス	消失に向かう地点の青	油彩、画布	浮き上がりの接着	修復研究所21
5	絵画	北川民次	夏の宿題	油彩、画布	浮き上がりの接着	〃
6	版画	マックス・クリンガー	昼（『四つの風景画』より）	エッチング・アクア チント、紙	マット装	(有)ACS
7	版画	マックス・クリンガー	街道（『四つの風景画』より）	エッチング・アクア チント、紙	マット装	〃
8	版画	マックス・クリンガー	月夜（『四つの風景画』より）	エッチング・アクア チント、紙	マット装	〃
9	版画	マックス・クリンガー	夏の午後（『四つの風景画』より）	エッチング・アクア チント、紙	マット装	〃
10	版画	アルブレヒト・デューラー	バッタのいる聖家族	エングレーヴィング、紙	マット装	〃
11	絵画	山本芳翠	月下の裸婦	油彩、画布	グレージングの交換（低反射アクリル装着）	〃
12	絵画	林俊衛	室内	油彩、画布	グレージングの洗浄、スパーサー装着、額装改善、 吊り金具の交換、裏板交換	葉名彩香（保存担当学芸員）
13	絵画	高橋由一	厨房具	油彩、画布	吊り金具の交換	〃
14	絵画	ポール・ギヤマン	バラの花束	油彩、画布	グレージングの洗浄、吊り金具の交換	〃
15	絵画	小磯良平	婦人像	油彩、画布	グレージングの洗浄、吊り金具の交換	〃
16	絵画	鍋井克之	帽子のある静物	油彩、画布	スパーサー装着、吊り金具の交換	〃
17	絵画	木村荘八	私のラヴァさん	油彩、画布	吊り金具交換	〃
18	絵画	大沢鉦一郎	少女海水浴	油彩、画布	浮き上がりの接着、吊り金具交換、裏板交換	〃
19	絵画	吉本弘	窓辺（居間にて）	油彩、画布	グレージングの洗浄	〃
20	絵画	加藤金一郎	カプリ島	油彩、画布	グレージングの洗浄、吊り金具の交換、裏板交換	〃
21	絵画	水谷清	エジプト壺のダリヤ	油彩、画布	浮き上がりの接着、吊り金の具交換、裏板交換	〃
22	絵画	高橋忠弥	秋色	油彩、画布	グレージングの洗浄、吊り金具の交換、裏板交換	〃
23	絵画	栗原喜依子	島の協会	油彩、画布	グレージングの洗浄、吊り金具の交換、裏板交換	〃
24	絵画	中条茂	塔のある風景	油彩、画布	吊り金具の交換	〃
25	絵画	小林和作	秋の山湖	油彩、画布	浮き上がりの接着、吊り金具の交換	〃
26	絵画	太田忠	風景	油彩、画布	グレージングの洗浄、吊り金具の交換	〃
27	絵画	高橋忠弥	プロヴァンス	油彩、画布	吊り金具の交換	〃
28	絵画	田崎広助	阿蘇	油彩、画布	グレージングの洗浄、吊り金具の交換	〃
29	絵画	北川民次	多美子像	水彩、紙	ブックマット作成、作品の固定（コーナーヒンジ）	〃

状態調査作品一覧（学術調査を目的とした調査研究を含む）

No.	種別	作家名	作品名	技法、材質	内容、目的等	調査者
1	工芸	-	高麗鉄地金銀象嵌鏡架 (木村定三コレクションM1027)	鍛鉄地に金銀象嵌・ブロンズ飾金具	復元模造作成	(公財)元興寺文化財研究所
2	彫刻	山本豊市	立女B	乾漆	修復計画立案のための状態調査	松本達也(漆芸修復家)
3	絵画	グスタフ・クリムト	人生は戦いなり(黄金の騎士)	油彩、画布	紫外線、赤外線、エックス線撮影、蛍光エックス線分析	ベルヴェデーレ美術館
4	絵画	パブロ・ピカソ	青い肩かけの女	油彩、画布	蛍光エックス線分析	東京文化財研究所
5	絵画	与謝蕪村	富嶽列松図 (木村定三コレクションM2890)	紙本着彩	蛍光エックス線分析	〃
6	絵画	パウル・クレー	女の館	油彩、画布	赤外線撮影	〃
7	絵画	竹内栖鳳	狐狸図	絹本墨画淡彩	赤外線撮影(箱)	〃
8	絵画	藤田嗣治	青衣の少女	油彩、画布	赤外線撮影(木枠)	〃
9	-	-	緑釉陶片 (愛知県陶磁美術館所蔵)		蛍光エックス線分析	兼名彩香(保存担当学芸員)

## 3 管理

### 作品の管理

全所蔵作品の所在確認および管理状況確認作業（「水彩・素描」）を実施した。

### 作品の貸出

他の美術館等からの展覧会等への貸出要請に対して、作品の保存状態が比較的良好で、コレクション展や移動美術館等の展示計画に支障がないものについて、展覧会の内容やその意義を勘案し、展示施設・設備の状況を確認した上で、所蔵作品貸出要領に則し貸出を行っている。また、このような館外への貸出も所蔵作品公開の機会と位置付け、各会場での入場者状況を調査している。

#### 貸出の概要

（貸出期間 2023年4月1日～2024年3月31日）

貸出先		件数	点数	総入場者数（うち小中生）*
国内	美術館・博物館	26	220	166,112人（5,807人）
	県関係機関	5	46	集計なし
国外	美術館・博物館	0	0	集計なし
計		31	266	166,112人（5,807人）

※データは2024年3月31日現在。一部、年度をまたいで開催した展覧会を含むが、展覧会会期が2023年度中に掛かる件について報告する。

### 木村定三コレクションの調査研究

『愛知県美術館研究紀要第30号木村定三コレクション編』を発行し、日本陶磁目録Ⅱなど木村定三コレクションに関する調査研究成果を公開した。

### 藤井達吉関係資料の調査研究

藤井達吉の作品内の和歌などについて、友の会所蔵作品管理サポート部会の協力を得て、変体仮名の解読作業を継続して行い、その成果をまとめ『愛知県美術館研究紀要第30号』で公開した。

### 所蔵作品情報の公開

所蔵品管理システムにコレクションのデータを追加し、著作権保護期間が満了したいわゆるパブリック・ドメインの作品画像を、閲覧者が自由にダウンロード、複製、再配布等を行えるよう、整備を継続して進めた。また保護期間内の作品画像の利用について、権利者と順次調整を行った。

### 施設・設備の管理

・ラウンジのロールカーテン修繕（8階および10階）

## 1 所蔵作品の展示公開

### コレクション展の概要

コレクション展では、主に20世紀以降の美術の展開やその特質に触れることができる展示を行うと同時に、来館者の関心の多様化や学芸員による調査・研究の成果を反映させ、各期に、企画展と関連する時代や作家、あるいは一つのまとまりのある美術動向や作品群に焦点をあてた特集展示を行っている。

2023年度は、第1期から第4期まで計4回のコレクション展を行った。また、第4期コレクション展の中で新収蔵作品の一部を公開した。

### コレクション展の開催状況と入場者数

		総入場者数	一日平均
2023年度 第1期	2023年3月21日(火) — 5月31日(水) 特集等：イン・モーション こだまする芸術 飯山由貴 あなたの本当の家を探しに行く 藤井さんちの手作りで趣味良い暮らし 藤井達吉と家庭手芸 木村定三コレクション 仏教美術——絵画を主として	8,629人 ※2023年度のみ = 8,046人	(62日間) 139人 ※2023年度のみ = 155人
	内訳		
	企画展「近代日本の視覚開化 明治」共通入場者数	6,783人	165人
	コレクション展のみの入場者数	1,846人	30人
2023年度 第2期	2023年6月30日(金) — 9月17日(日) 特集等：記号のからくり こだまする芸術 三田村光土里 グリーン・オン・ザ・マウンテン ブラックとピカソ キュビズムと「秩序への回帰」 木村定三コレクション フォロンとグラフィック・アート	10,145人	(69日間) 147人
	内訳		
	企画展「幻の愛知県博物館」共通入場者数	7,290人	146人
	コレクション展のみの入場者数	2,855人	41人
2023年度 第3期	2023年10月6日(金) — 11月27日(月) 特集等：正方形 「名品」はどこから来たのか？ ぶくぶくときらきら 江戸から近代へ受け継がれるやまと絵の世界 木村定三コレクション 熊谷守一と夜と絵具	7,027人	(46日間) 153人
	内訳		
	企画展「生誕120年 安井仲治」共通入場者数	3,546人	77人
	コレクション展のみの入場者数	3,481人	76人
2023年度 第4期	2024年1月16日(火) — 4月14日(日) 特集等：コレクションズ・ラリー 愛知県美術館・愛知県陶磁美術館 共同企画 木村定三コレクション 修復報告 環頭大刀柄頭 女性のアーティストのコレクション 「名品」はどこから来たのか？	11,130人 ※2023年度のみ = 9,404人	(78日間) 143人 ※2023年度のみ = 142人
	2023年度 合計	86,311人	(188日間) 1,396人

## コレクション展等の関連イベント及びメディア掲載

### 関連イベント

#### 第1期

##### ■APPによるギャラリーツアー

###### 「藤井さんちのおすすめ手藝品」

【講師】APP ARTS STUDIO、中村史子（愛知県美術館学芸員）

【日時】2023年5月28日（日）午後2時～3時

【会場】愛知県美術館展示室7

【参加者】35人

#### 第2期

##### ■私が死んだら展示はどうなる？

###### ——美術館における作者没後のインスタレーション

【講師】三田村光土里（アーティスト）、狩野哲郎（アーティスト）

【司会】拜戸雅彦（愛知県美術館館長）

【日時】2023年8月12日（土）午後1時30分～4時

【会場】アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）

【参加者】35人

### メディア掲載

#### 第1期 イン・モーション

「まちなかから美術館へ 影を投げ、心を動かす 志村信裕」『愛知芸術文化センター情報誌AAC』Vol.116、愛知県芸術劇場（公益財団法人愛知県文化振興事業団）、2023年6月

#### 第1期 藤井さんちの手作りで趣味良い暮らし

##### 藤井達吉と家庭手芸

千葉真智子「REVIEW 美術館 2023年度第1期コレクション展 藤井さんちの手作りで趣味良い暮らし 藤井達吉と家庭手芸」『愛知芸術文化センター情報誌AAC』Vol.116、愛知県芸術劇場（公益財団法人愛知県文化振興事業団）、2023年6月

#### 第2期 三田村光土里 グリーン・オン・ザ・マウンテン

井上昇治「三田村光土里『グリーン・オン・ザ・マウンテン』愛知県美術館で2023年6月30日-9月17日に展示 2023年度第2期コレクション展の一環」OutermostNAGOYA、2023年7月25日

#### 第3期 「『名品』はどこから来たのか？」

・宮崎正嗣「名品の来歴にドラマあり 戦争や迫害…背景紹介の展覧会 愛知県美術館」『中日新聞』2023年11月15日

#### 第4期 「木村定三コレクション 修復報告 環頭大刀柄頭」

・宮崎正嗣「Culture 愛知県美術館所蔵 刀の飾り『単龍環頭大刀柄頭』」『中日新聞』2024年2月17日

・宮崎正嗣「愛知県美術館『単龍環頭大刀柄頭』6世紀前半の百濟製か 文様調査で判明」中日新聞web、2024年2月17日

#### ジョルジュ・ブラック《水浴する女性と三つの果実》受贈

- ・無記名「匿名の個人が5億円のキュビズム名画 愛知県美術館に寄贈」『中日新聞web』2023年6月16日
- ・「【匿名で5億円寄付】ピカソとともに活躍したジョルジュ・ブラックの作品 愛知県美術館で公開」テレビ愛知、2023年6月30日
- ・「NEWS キュビズムの創始で知られる画家 ジョルジュ・ブラックの絵画を愛知県美術館が個人から受贈」『愛知芸術文化センター情報誌AAC』Vol.117、愛知県芸術劇場（公益財団法人愛知県文化振興事業団）、2023年9月

#### 女性美術家作品受贈

- ・無記名「女性美術家作品寄贈」『中日新聞』2024年2月7日朝刊
- ・無記名「女性美術家作品寄贈で「若い作家応援」パッファロー創業者夫人に県が感謝状」中日新聞web、2024年2月7日

#### 珠洲焼の壺公開

- ・無記名「珠洲焼のつぼ公開」『読売新聞』2024年2月15日
- ・宮崎正嗣「愛知県美術館 加工痕ある「つぼ」展示 14世紀の珠洲焼 存在感」『中日新聞』2024年3月16日

#### レオノーラ・キャリントン《ウルでの狩り》受贈

- ・「レオノーラ・キャリントンさんの5億円絵画、愛知県美術館に寄贈 4月26日から公開【独自】」『中日新聞web』、2024年3月21日
- ・宮崎正嗣「愛知県美術館に個人寄贈 女性作、公立館蔵で破格5億円」『中日新聞』2024年3月22日
- ・「美術館に5億円の絵画寄贈 贈り主は名古屋市在住の個人」『キャッチ！』中京テレビ、2024年3月22日
- ・「評価額5億円の絵画が個人から愛知県美術館に寄贈」NHK東海NEWS WEB、2024年3月31日

## コレクション展の展示作品リスト

### 2023年度第1期コレクション展展示作品リスト（2023年3月21日（火）— 5月31日（水））

美術作品の中の動きに注目した展示、藤井達吉と姉妹たちの作品を手芸の視点から見直した展示、仏教絵画の特集などを行った。

前室1・展示室4 イン・モーション								
彫刻・立体	山口勝弘 港 No. 2	1967年	絵画	アメデオ・モディリアーニ カリアティード	1911-13年	絵画	熊谷守一 雨水	木村定三コレクション M2462 1959年
彫刻・立体	山口勝弘 ヴェトリース	1955年	絵画	林武 婦人像	1940年	彫刻・立体	袴田京太郎 ハルガ	2008-09年
映像	森田浩彰 Clockwise	2006-08年	絵画	パウル・クレー 女の館	1921年	彫刻・立体	袴田京太郎 Inner Hulga	2011年
彫刻・立体	オーギュスト・ロダン 歩く人	1900年	絵画	古賀春江 夏山	1927年	絵画	岡崎乾二郎 あなたがたの考え(善悪)は紙に書かれる。この紙を火にくべよう。紙が燃えたらその考えこそ過ちとなる。紙は炬に投げ込まれ、しばらく火の中にあっただが、やがて焼けも焦げもせずふわり、ふわりと飛びだしていく。楽園に神が生ぜしめた(花も葉もめだたぬ)善悪を知る一本の木。その木から(禁じられた果実と同じく)紙も作られたのである。	2009年
彫刻・立体	玉山拓郎 Statue of Shape	2021年	絵画	エドワード・ジョン・ポインター 世界の若かりし頃	1891年		彫刻・立体	岡崎乾二郎 天使は翼があるから鳥という。顔かたちは玉のように清らか、声のさまも女のよう。心を寄せても返事は文ばかり、耳に入るは羽音だけ。
彫刻・立体	篠原猛史 場と量の交換性 No. 4-115	2007年	絵画	高松次郎 釘の影 No. 648	山口宏氏寄贈 1976年	絵画	岡崎乾二郎 野には(この世界では見えぬ)育ちも摘まれもしない無数の種子が眠る。言葉は種子である。あなたの見る水は、いつのまにか漲り濁れる河のように水蒸気が作るのではない。地の底から、泉のように想起されるのである。	2009年
水彩・素描	ジャーコモ・バッラ 太陽の前を通過する水星(習作)	1914年	絵画	アラン・デュケ パスのチケット	木村定三コレクション M2590 制作年不詳 木村定三コレクション M2591 1970年		絵画	アド・ラインハート No. 114
版画	カジミール・マレーヴィチ 飛行機と汽車によるひとりの人間の同時的な死 第17葉『爆』	1913年	彫刻・立体	大田黒衣美 sun bath	2021年	絵画	ジョーゼフ・アルバース 正方形頌	1962年
彫刻・立体	細井篤 ボーダーズ・ゲーム	2004年	彫刻・立体	大田黒衣美 sun bath	2021年	絵画	ベン・ニコルソン 1933(スペインの絵葉書のあるカラーージュ)	1933年
彫刻・立体	篠原猛史 真っ直ぐな曲線	2004年	写真	大田黒衣美 sun bath	2019-2020年	絵画	坂本夏子 Painters	2009年
版画	吉原英雄 シーソー1	1968年	水彩・素描	フランシス・ピカビア 糸巻き	1921-22年	絵画	榎倉康二 干渉(Story-No. 49)	1992年
絵画	中村宏 内乱期	1958年	絵画	上田薫 なま玉子 G	1976年	絵画	野田裕示 WORK-984	1995年
絵画	宇佐美圭司 ビッグ・バン	1987年	絵画	アンディ・ウォーホル レディース・アンド・ジェントルメン	1975年	絵画	ジョアン・ミロ 絵画	1925年
水彩・素描	宇佐美圭司 二重らせんをほどく	2005年	版画	フランツ・ゲルチュ ナターシャ IV	1987-88年	版画	エドヴァルド・ムンク 老いた漁師	長谷川久道氏寄贈 1897年
映像	志村信裕 ribbon	2010年	写真	杉浦邦恵 子猫の書類	1992年	版画	エドヴァルド・ムンク 太った娼婦	長谷川久道氏寄贈 1899年
展示室5 こだまする芸術			版画	山田純嗣 (11-6) GARDEN OF EARTHLY DELIGHTS	2010-12年	絵画	デヴィッド・シャピロ マドラ 6	磯上郁子氏寄贈 1992年
絵画	ポール・デルヴォー こだま(あるいは「街路の神秘」)	1943年	絵画	熊谷守一 水仙	木村定三コレクション M262 1956年			
絵画	横尾忠則 月光の街 II	作者寄贈 2003年	絵画	熊谷守一 水仙	木村定三コレクション M275 1956年			
絵画	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	株式会社東海銀行寄贈 1902年	絵画	熊谷守一 雨水	木村定三コレクション KT103 1959年			

絵画	デヴィッド・シャピロ マドラ 12	磯上郁子氏寄贈 1992年
絵画	デヴィッド・シャピロ マドラ 13	磯上郁子氏寄贈 1992年
絵画	デヴィッド・シャピロ マドラ 14	磯上郁子氏寄贈 1992年
絵画	デヴィッド・シャピロ マドラ 23	磯上郁子氏寄贈 1993年
絵画	デヴィッド・シャピロ マドラ 24	磯上郁子氏寄贈 1993年
彫刻・立体	ライアン・ガンダー It stole your thunder - (Alchemy Box #25) / It stole my thunder	黒田賢三氏寄贈 2011年
彫刻・立体	李禹煥 Relatum - with Four Stones and Four Irons	1986年

## 展示室6 飯山由貴 あなたの本当の家を探しに行く

映像	飯山由貴 あなたの本当の家を探しに行く	2020年度新収蔵作品 2013年
映像	飯山由貴 海の観音さまに会いに行く	2020年度新収蔵作品 / 作者寄贈 2013年
映像	飯山由貴 何が話されているのか、また何故その発話の形式と内容は、そうした形をとるのか	2020年度新収蔵作品 2015年
映像	飯山由貴 hidden names	2020年度新収蔵作品 2014年
映像	飯山由貴 無声映画にまつわるいくつかの共同作業とワークショップの記録	2020年度新収蔵作品 2014年

## 前室2・展示室7 藤井さんちの手作りで趣味の良い暮らし 藤井達吉と家庭手芸

資料	藤井達吉 『家庭で出来る手藝品製作法全集』	個人蔵 1927年
工芸	藤井達吉 干柿	藤井達吉コレクション FT1464 制作年不詳
資料	藤井篠 紅白椿図	1959年
資料	藤井篠 草の花	制作年不詳
工芸	藤井達吉 刺繍銀杏図壁掛	鈴置恒子氏寄贈 1913-23年頃
工芸	藤井達吉・桑 紫地流水文金銀泥描長着	藤井達吉コレクション FT1272 制作年不詳
工芸	藤井達吉・悦 薄紫地梅文金銀泥箔型置紋付長着	藤井達吉コレクション FT1267 制作年不詳
工芸	藤井達吉・房 紫地蔓草文金銀泥描長着	藤井達吉コレクション FT1259 制作年不詳

工芸	藤井達吉コレクション FT1281 黒地魚文金銀泥型置長着	制作年不詳
工芸	藤井達吉コレクション FT1296 黒地山草文刺繍丸帯	制作年不詳
工芸	藤井達吉コレクション FT1303 泥型置昼夜帯	制作年不詳
工芸	藤井達吉コレクション FT1310 手織地山草文刺繍丸帯	制作年不詳
工芸	藤井達吉コレクション FT1309 空目絞り刺繍入昼夜帯	制作年不詳
資料	藤井篠 鳥毛山草(姥百合と桜草)	制作年不詳
資料	藤井篠 紅白梅の図	1951年
工芸	藤井桑 竹屋町刺繍草文	藤井達吉コレクション FT233 1939年以前
工芸	藤井達吉 海草文壁掛	鈴置恒子氏寄贈 1913年頃
版画	藤井達吉 染色図案集	藤井達吉コレクション FT140 1933年
資料	藤井篠 ペンギン	1959年頃
工芸	藤井達吉 海	藤井達吉コレクション FT1234 1910年
工芸	藤井達吉 ペルシャ文様	藤井達吉コレクション FT1226 1919-35年
工芸	藤井達吉 はにわの家	藤井達吉コレクション FT1221 1919-35年
工芸	藤井達吉 葡萄文	藤井達吉コレクション FT1218 1919-35年
工芸	藤井篠 張抜箱	藤井達吉コレクション FT459 制作年不詳
工芸	藤井篠 一閑張箱	藤井達吉コレクション FT462 制作年不詳
工芸	藤井篠 一閑張箱	藤井達吉コレクション FT463 制作年不詳
工芸	藤井篠 茄子茶入	藤井達吉コレクション FT1003 1940年頃
工芸	藤井篠 茄子置物	藤井達吉コレクション FT1014 1940年頃
工芸	藤井篠 一閑張手箱	藤井達吉コレクション FT1165 1940年
工芸	藤井達吉 張抜蓋物なす・くり	藤井達吉コレクション FT1194 1946年頃

工芸	藤井達吉 野点具	藤井達吉コレクション FT1195 1946-47年頃
工芸	藤井達吉 梅花文文箱	1916-23年頃
工芸	刺繍「山草」	藤井達吉コレクション FT1319 制作年不詳
資料	藤井篠 刺繍(未完)	藤井達吉コレクション FT1469 1965年頃
資料	藤井篠遺品(裁縫道具類)	藤井達吉コレクション FT1477 制作年不詳
工芸	APP ARTS STUDIO 藤井達吉のすすめ“初夏の子供部屋”	作家蔵 2019-2023年

## 展示室8 木村定三コレクション 仏教美術——絵画を主として

彫刻・立体	木村定三コレクション KT143 不動明王立像	平安時代(12世紀)
彫刻・立体	木村定三コレクション KT143 不動明王立像胎内納入品絹本如来像断片	鎌倉時代-南北朝時代(14世紀)
彫刻・立体	木村定三コレクション KT143 不動明王立像胎内納入品再興由来書	明暦4(1658)年
日本画	木村定三コレクション M2119 不動明王像	室町時代(15-16世紀)
日本画	木村定三コレクション M2123 種子両界曼荼羅	南北朝時代(14世紀)
工芸	木村定三コレクション M932 金銅羯磨	南北朝時代(14世紀)
日本画	木村定三コレクション M2120 刺繍種子胎蔵界曼荼羅図	室町時代(14-15世紀)
日本画	神奈川県立歴史博物館蔵 刺繍種子金剛界曼荼羅	室町時代(14-15世紀)
日本画	木村定三コレクション M2121 春日宮曼荼羅図	鎌倉時代(14世紀)
日本画	木村定三コレクション M2178 閻魔天曼荼羅図像	玄証筆 平安時代(12世紀)
日本画	木村定三コレクション M2741 図像集断簡 訶利帝母	鎌倉時代(13-14世紀)
日本画	木村定三コレクション M2740 図像集断簡 摩利支天	鎌倉時代(13-14世紀)
日本画	木村定三コレクション M2122 如意輪観音像	鎌倉時代(13-14世紀)
工芸	木村定三コレクション M939 金銅輪宝	鎌倉時代-南北朝時代(14世紀)
日本画	木村定三コレクション M2116 愛染明王像	鎌倉時代-南北朝時代(14世紀)

工芸	金銅三鈷杵	木村定三コレクション M950 平安時代(12世紀)
工芸	金銅五鈷鈴	木村定三コレクション M965 平安時代(12世紀)
工芸	金銅宝珠杵	木村定三コレクション M956 鎌倉時代 13-14世紀)
日本画	求聞持虚空蔵菩薩像	木村定三コレクション M2118 鎌倉時代-南北朝時代(14世紀)
日本画	阿弥陀三尊像	木村定三コレクション M2115 鎌倉時代(14世紀)
工芸	木製常飯(絵仏供)	木村定三コレクション M979
工芸	黒漆厨子 千体観音図貼付	木村定三コレクション M616 鎌倉時代-南北朝時代(14世紀)
書	紺紙銀字華嚴経(二月堂焼経)断簡	木村定三コレクション M990 奈良時代(8世紀)
書	無量義経断簡	木村定三コレクション M987 平安時代(11世紀)
書	紺紙金字解脱道論卷第七	木村定三コレクション M988 平安時代(12世紀)

## 10階ロビー

彫刻・立体	ふじい忠一 Untitled	1990年
彫刻・立体	ふじい忠一 Untitled	作者寄贈 1991年

## プラスキューブ

映像	加藤翼 2679	作者寄贈 2019年
----	-------------	---------------

## 10階屋上庭園(レストラン脇)

彫刻・立体	アルナルド・ポモドーロ 財団法人日本宝くじ協会寄贈 飛躍の瞬間	1984年
-------	------------------------------------	-------

## 屋外展示スペース I (12階屋上)

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
彫刻・立体	加藤昭男 大地	1986年
彫刻・立体	小田襄 円柱の構造	1988年

## 屋外展示スペース II (10階)

彫刻・立体	今井瑾郎 大地	1992年
-------	------------	-------

## 12階アールスペースロビー

彫刻・立体	舟越保武 花を持つ少女	1966年
-------	----------------	-------

## 2023年度第2期コレクション展展示作品リスト（2023年6月30日（金）— 9月17日（日））

美術作品を記号論的に読み解いた展示、新収蔵の三田村光土里によるインスタレーションの初公開、新収蔵のブラック作品のお披露目、フォロンの特集を行った。

前室1・展示室4 記号のからくり		
彫刻・立体	野水信 コの記号	1963年
絵画	木村定三コレクション M2738 虎図	制作年不詳
本彩・素描	安井曾太郎 人物立像	1905年
水彩・素描	安井曾太郎 人物立像	1905年
水彩・素描	安井曾太郎 静物	1906年
水彩・素描	大沢鉦一郎 自画像	1919年
水彩・素描	大沢鉦一郎 少女	1919年
水彩・素描	大沢鉦一郎 手	1916年
版画	アルブレヒト・デューラー 風巻邦二氏寄贈(風巻孝男氏旧蔵) バツタのいる聖家族	1495年頃
版画	マックス・クリンガー 風巻邦二氏寄贈(風巻孝男氏旧蔵) 昼(『四つの風景画』より)	1883年
版画	マックス・クリンガー 風巻邦二氏寄贈(風巻孝男氏旧蔵) 街道(『四つの風景画』より)	1883年
版画	マックス・クリンガー 風巻邦二氏寄贈(風巻孝男氏旧蔵) 月夜(『四つの風景画』より)	1883年
版画	マックス・クリンガー 風巻邦二氏寄贈(風巻孝男氏旧蔵) 夏の午後(『四つの風景画』より)	1883年
写真	東松照明 大須観音の縁日・名古屋	1952(2005-06)年
写真	東松照明 工事現場・名古屋2	1952(2005-06)年
写真	東松照明 ファミリー・名古屋	1952(2005-06)年
写真	東松照明 親方・名古屋	1953(2005-06)年
写真	北野謙 2014年香港反政府デモ「雨傘革命」に参加する25人を重ねた肖像、2014年10月12日、13日、14日、占拠エリア(金鐘、銅鑼灣、旺角)香港 No. 2「our face」シリーズより	2014年

写真	北野謙 バリ舞踏の踊り子17人を重ねた肖像、2009年9月29日、30日、インドネシア、バリ島、ウブド村、No. 1「our face」シリーズより	2010年
絵画	白髪一雄 作品	1963年
絵画	ルーチョ・フォンターナ 空間概念	1960年
絵画	サイモン・フジワラ 驚くべき獣たち(貧しい男の背中)	2015年
版画	ジョルジュ・ブラック Fox	1911年(1912年刷)
絵画	パウル・クレー 回心した女の墮落	1939年
絵画	本山ゆかり 画用紙(柔道_左)	2016年
絵画	本山ゆかり 画用紙(柔道_右)	2016年
彫刻・立体	青野文昭 なおす・代用・合体・侵入(震災後宮古で収集した衣料店床面/テーブル)2011	2011年
絵画	荒川修作 作品	1963年

展示室5 こだまする芸術		
絵画	ポール・デルヴォー こだま(あるいは「街路の神秘」)	1943年
絵画	横尾忠則 月光の街 II	作者寄贈 2003年
絵画	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	株式会社東海銀行寄贈 1902年
絵画	アメデオ・モディリアーニ カリアティード	1911-13年
絵画	林武 婦人像	1940年
絵画	グスタフ・クリムト 人生は戦いなり(黄金の騎士)	1903年
絵画	アルブレヒト・デューラー 騎士と死と悪魔	1513年
絵画	エドワード・ジョン・ポインター 世界の若かりし頃	1891年

絵画	高松次郎 釘の影 No. 648	山口宏氏寄贈 1976年
絵画	アラン・デュケ ジョルジュ・サンドからの手紙	木村定三コレクション M2590 制作年不詳
絵画	アラン・デュケ バスのチケット	木村定三コレクション M2591 1970年
彫刻・立体	大田黒衣美 sun bath	2021年
彫刻・立体	大田黒衣美 sun bath	2021年
写真	大田黒衣美 sun bath	2019年
本彩・素描	THE COPY TRAVELERS サンマルコ・サンセット	2016年
絵画	上田薫 なま玉子 G	1976年
絵画	アンディ・ウォーホル レイディース・アンド・ジェントルメン	1975年
版画	フランツ・ゲルチュ ナターシャ IV	1987-88年
写真	杉浦邦恵 子猫の書類	1992年
版画	山田純嗣 (11-6) GARDEN OF EARTHLY DELIGHTS	2010-12年
絵画	熊谷守一 水仙	木村定三コレクション M262 1956(昭和31)年
絵画	熊谷守一 水仙	木村定三コレクション M275 1956(昭和31)年
絵画	熊谷守一 雨水	木村定三コレクション KT103 1959(昭和34)年
絵画	熊谷守一 雨水	木村定三コレクション M2462 1959(昭和34)年
彫刻・立体	袴田京太郎 ハルガ	2008-09年
彫刻・立体	袴田京太郎 Inner Hulga	2011年

絵画	岡崎乾二郎 あなたがたの考え(善悪)は紙に書かれる。この紙きれを火にくべよう。紙が燃えたらその考えこそ過ちとなる。紙は炉に投げ込まれ、しばらく火の中にあったが、やがて焼けも焦げもせずふわり、ふわりと飛びだしていく。楽園に神が生ぜしめた(花も葉もめだたぬ)善悪を知る一本の木。その木から(禁じられた果実と同じく)紙きれも作られたのである。 2009年
絵画	岡崎乾二郎 天使は翼があるから鳥という。顔かたちは玉のように清らか、声のさまも女のように。心を寄せても返事は文ばかり、耳に入るは羽音だけ。 2009年
絵画	岡崎乾二郎 野には(この世界では見えぬ)育ちも摘まれもしない無数の種子が眠る。言葉は種子である。あなたの見る水は、いつのまにか漲り潤れる河のように水蒸気を作るのではない。地の底から、泉のように想起されるのである。 2009年
絵画	アド・ラインハート No. 114 1950年
絵画	アグネス・マーティン 寄託作品 Untitled #3 1991年
絵画	ベン・ニコルソン 1933(スペインの絵葉書のあるコラージュ) 1933年
絵画	坂本夏子 Painters 2009年
絵画	榎倉康二 干渉 (Story-No. 49) 1992年
絵画	野田裕示 WORK-984 1995年
絵画	ジョアン・ミロ 絵画 1925年
版画	エドヴァルド・ムンク 長谷川久道氏寄贈 祈る老人 1902年
版画	エドヴァルド・ムンク 長谷川久道氏寄贈 髭の老人の頭部 1902年
絵画	デヴィッド・シャピロ 磯上郁子氏寄贈 マドラ 6 1992年
絵画	デヴィッド・シャピロ 磯上郁子氏寄贈 マドラ 12 1992年
絵画	デヴィッド・シャピロ 磯上郁子氏寄贈 マドラ 13 1992年
絵画	デヴィッド・シャピロ 磯上郁子氏寄贈 マドラ 14 1992年
絵画	デヴィッド・シャピロ 磯上郁子氏寄贈 マドラ 23 1993年
絵画	デヴィッド・シャピロ 磯上郁子氏寄贈 マドラ 24 1993年

彫刻・立体	ライアン・ガンダー 黒田賢三氏寄贈 It stole your thunder - (Alchemy Box #25) / It stole my thunder 2011年
彫刻・立体	李禹煥 Relatum - with Four Stones and Four Irons 1986年

### 展示室6 三田村光土里 グリーン・オン・ザ・マウンテン

三田村光土里 グリーン・オン・ザ・マウンテン 2003-2021年
---

### 展示室7 ブラックとピカソ キュビズムと「秩序への回帰」

版画	ジョルジュ・ブラック 裸婦習作 1907-08年(1953年刷)
----	--

版画	ジョルジュ・ブラック 小さなキュビズム的ギター 1909年(1954年刷)
----	---

版画	ジョルジュ・ブラック コンポジション 1911年(1950年刷)
----	--

版画	ジョルジュ・ブラック 静物I 1911年(1950年刷)
----	------------------------------------

版画	ジョルジュ・ブラック Bass 1911-12年(1950年刷)
----	--

版画	ジョルジュ・ブラック Pale Ale 1912年(1954年刷)
----	---

版画	ジョルジュ・ブラック Job 1911年(1912年刷)
----	------------------------------------

版画	パブロ・ピカソ 果物皿のある静物 1909年
----	------------------------------

版画	パブロ・ピカソ レオニー嬢(『聖マトレル』より) 1910年(1911年刷)
----	--

版画	パブロ・ピカソ テーブル(『聖マトレル』より) 1910年(1911年刷)
----	---

版画	パブロ・ピカソ 長椅子のレオニー嬢(『聖マトレル』より) 1910年(1911年刷)
----	--

版画	パブロ・ピカソ 修道院(『聖マトレル』より) 1910年(1911年刷)
----	--

版画	パブロ・ピカソ 男の頭部 1911年(1912年刷)
----	----------------------------------

版画	パブロ・ピカソ 男と犬 1914年(1930年刷)
----	---------------------------------

版画	パブロ・ピカソ ギターを持つ男 1915年(1929年刷)
----	-------------------------------------

絵画	アンリ・マティス 中部電力株式会社寄贈 待つ 1921-22年
----	--

絵画	ジョルジュ・ブラック 個人寄贈 水浴する女性と3つの果実 1926年
----	---

絵画	モーリス・ドニ 花飾りの舟 1921年
----	---------------------------

版画	パブロ・ピカソ 『変身物語』 新しい人類を創るデウカリオンとピュラ／太陽神の戦車に乗ったバエトンの墜落／ミニュアスの娘たち／誤って妻プロクリスを殺したケパロス／カリュドンの猪を殺すメラアグロス／アキレウスの墓の上で喉を切られるポリュクセネ／ポモナに言い寄るウエルトウムヌス 1931年
----	---

彫刻・立体	オシツプ・ザツキン チェロのトルソ 1956年(1956-57年鑄造)
-------	---

彫刻・立体	アレクサンダー・アーチペンコ 歩く女 1912年
-------	--------------------------------

### 展示室8 木村定三コレクション フォロンとグラフィック・アート

版画	ジャン＝ミシェル・フォロン サボテン 木村定三コレクション M2729 1981年頃
----	---

版画	ジャン＝ミシェル・フォロン 頭の中にある全てのもの 木村定三コレクション M2730 制作年不詳
----	---

版画	ジャン＝ミシェル・フォロン モダンタイムズ 木村定三コレクション M2731 制作年不詳
----	---

版画	ジャン＝ミシェル・フォロン 人 木村定三コレクション M2732 1968年頃
----	--

資料	ジャン＝ミシェル・フォロン ステイヴ・カーンのためのポスター 木村定三コレクション M2733 1981年
----	--

資料	ジャン＝ミシェル・フォロン デニス・ウエイズ・ダンサーズのためのポスター 木村定三コレクション M2734 1977年
----	--

資料	ジャン＝ミシェル・フォロン フォロン展のためのポスター 木村定三コレクション M2735 1977年
----	---

資料	ジャン＝ミシェル・フォロン ジャック・プレヴェールのためのポスター 木村定三コレクション M2736 1980年
----	---

資料	ジャン＝ミシェル・フォロン 「フォロン 言葉のためのイメージ」展のためのポスター 木村定三コレクション M2737 1981年
----	--

版画	ポール・ギラマン サーカス 木村定三コレクション M2583 制作年不詳
----	---

版画	アンドレ・ブラジリエ 渚 木村定三コレクション M2589 制作年不詳
----	--

版画	パブロ・ピカソ 「エコール・ド・バリ」の巨匠によるオリジナル・ポスター」展のためのポスター 木村定三コレクション M2810 1959年
----	---

版画	パブロ・ピカソ ポスター 木村定三コレクション M2615 1961年
----	--

水彩・素描	フリードリッヒ・シュレーダー＝ゾンネンシュターネン 木村定三コレクション M2550 冒読された力 1959年
-------	--

資料	フリードリッヒ・シュレーダー＝ゾンネンシュターネン 木村定三コレクション M2548 《冒読された力》ポスター 1959年
----	--

版画	マックス・エルンスト 木村定三コレクション M2817 パトリック・ワルドベルク『可愛い子羊』表紙 1971年
版画	ジョルジュ・ブラック 木村定三コレクション M2604 四羽の鳥 1959年
版画	灘本唯人 木村定三コレクション M2600 女 A 1978年
版画	和田誠 木村定三コレクション M2822 ポテト・ヘッド・ブルース (ルイ・アームストロング)『六星座』 1979年
水彩・素描	桂ゆき 木村定三コレクション M2843 曾野綾子「仮の宿」挿画原画B 1973年
水彩・素描	野田弘志 木村定三コレクション M2608 和香子(加賀乙彦『湿原』挿絵原画) 昭和58(1983)年
水彩・素描	野田弘志 木村定三コレクション M2609 ローソク(加賀乙彦『湿原』挿絵原画) 昭和58(1983)年
資料	ジャン=ミシェル・フォロン アートライブラリー、 愛知芸術文化センター蔵 『木は死んだ』 1974年
資料	ジャン=ミシェル・フォロン 個人蔵 『世界人権宣言』 2019年

## 前室2

絵画	島田章三 長谷川久道氏寄贈 石庭女人図 1976年
彫刻・立体	柳原義達 黒人の女 1956年

彫刻・立体	本郷新 無辜の民「仏生」 1970年(1991年鑄造)
彫刻・立体	戸張孤雁 をなご 1910年
彫刻・立体	中原悌二郎 平櫛田中像 1919-21年
彫刻・立体	高田博厚 女のトルソ 1937年
彫刻・立体	メダルド・ロツフ 病める子 1893年
彫刻・立体	イケムラレイコ 茶耳っ気のある 1993年
彫刻・立体	イケムラレイコ White Figure 1991年

## 10階ロビー

彫刻・立体	ふじい忠一 Untitled 1990年
彫刻・立体	ふじい忠一 作者寄贈 Untitled 1991年

## プラスキューブ

映像	田村友一郎 愛知芸術文化センター・ 愛知県美術館オリジナル映像作品 アポロンの背中 2016年
----	--

## 10階屋上庭園（レストラン脇）

彫刻・立体	アルナルド・ボモドーロ 財団法人日本宝くじ協会寄贈 飛躍の瞬間 1984年
-------	---

## 屋外展示スペース I（12階屋上）

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女 1983年
彫刻・立体	加藤昭男 大地 1986年
彫刻・立体	小田襄 円柱の構造 1988年

## 屋外展示スペース II（10階）

彫刻・立体	今井瑾郎 大地 1992年
-------	---------------------

## 12階アートのスペースロビー

彫刻・立体	舟越保武 花を持つ少女 1966年
-------	-------------------------

## 2023年度第3期コレクション展展示作品リスト（2023年10月6日（金）— 11月27日（月））

カンヴァスの形に着目した展示、西洋近代絵画の来歴調査を踏まえた特集、女性作家の作品展示、熊谷守一の展示を行った。

<b>ラウンジ</b>		絵画	三尾公三 鏡の前 1982年	絵画	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女 株式会社東海銀行寄贈 1902年
彫刻・立体	オーギュスト・ロダン 歩く人 1900年	写真	新井卓 上野町から掘り出された腕時計／長崎原爆資料館のための多焦点モニュメント、マケットNo.3 「EXPOSED IN A HUNDRED SUNS／百の太陽に灼かれて」シリーズより 2014(2016)年	彫刻・立体	ハンス(ジャン)・アルプ 森 1917年頃
彫刻・立体	エミール＝アントワーン・ブールデル 自由 1916年	彫刻・立体	千崎千恵夫 無題 1992年	絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー 日の当たる庭 1935年
彫刻・立体	エミール＝アントワーン・ブールデル 雄弁 1916年	絵画	田島秀彦 playroom (09-06)/playroom (09-07) 2009年	水彩・素描	ジャコモ・バッラ 太陽の前を通過する水星(習作) 1914年
彫刻・立体	エミール＝アントワーン・ブールデル 勝利 1916年	絵画	坂本夏子 Tiles, 髪 土崎正彦氏(旧白土舎)寄贈 2007年	水彩・素描	パウル・クレー 蛾の踊り 1923年
彫刻・立体	エミール＝アントワーン・ブールデル 力 1914-15年	絵画	多和圭三 泉-想- 2002年	絵画	パウル・クレー 女の館 1921年
<b>ロビー・前室1・展示室4 正方形</b>		彫刻・立体		絵画	ジョアン・ミロ 絵画 1925年
彫刻・立体	吉本直子 白の棺 2006年	<b>展示室5 「名品」はどこから来たのか?</b>		絵画	ポール・デルヴォー こだま(あるいは「街路の神秘」) 1943年
彫刻・立体	戸谷成雄 地霊 1990年	絵画	ポール・ゴーギャン 海岸の岩 五谷文男・俣子夫妻からの寄附金による購入 1888年	版画	ヴァシリー・カンディンスキー 夕暮れ 1903年
彫刻・立体	桑山忠明 untitled 2001年	絵画	モーリス・ドニ 花飾りの舟 寄附金による購入 1921年	彫刻・立体	エルンスト・バルラッハ 忘我 1911-12年
水彩・素描	宇佐美圭司 二重らせんをほどく 2005年	絵画	ピエール・ボナール 子供と猫 1906年頃	絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物 1912年
版画	オノサトシノブ 作品 1971年	絵画	ピエール・ボナール にぎやかな風景 1913年頃	絵画	エミール・ノルデ 静物L(アマゾン、能面等) 1915年
版画	ラーズロー・モホイ＝ナジ 無題『バウハウス・マイスター版画作品集』より 1923年	絵画	ジョルジュ・ブラック 水浴する女性と3つの果実 個人寄贈 1926年	参考資料	エミール・ノルデ《静物L(アマゾン、能面等)》作品証明書 学芸室資料 1987年10月16日
絵画	フランク・ステラ リヴァー・オブ・ボンズ IV 1969年	参考資料	ルビンスタイン・コレクション パークバーネット・ギャラリー オークション・カタログ (近代絵画・彫刻1) アートライブラリー蔵 1966年4月20日	参考資料	サザビーズ・ロンドン オークション・カタログ アートライブラリー蔵 1961年6月28日
版画	アルブレヒト・デューラー メランコリアI 1514年	参考資料	ルビンスタイン・コレクション パークバーネット・ギャラリー オークション・カタログ (近代絵画・彫刻2) アートライブラリー蔵 1966年4月27日	参考資料	クリスティーズ・ロンドン オークション・カタログ アートライブラリー蔵 1973年12月4日
絵画	百瀬寿 Square-NE XIV: Twelve Stripes E 1987年	参考資料	ルビンスタイン・コレクション パークバーネット・ギャラリー オークション・カタログ (近代素描・版画) アートライブラリー蔵 1966年4月28日	参考資料	サザビー・パークバーネット オークション・カタログ アートライブラリー蔵 1978年5月17日
水彩・素描	沢居曜子 Line-Work VII-78-3 1978年	参考資料	ジョルジュ・ブラック 油彩画カタログ・レゾネ 1924-27 アートライブラリー蔵 1968年	絵画	グスタフ・クリムト 人生は戦いなり(黄金の騎士) トヨタ自動車株式会社からの寄附金による購入 1903年
水彩・素描	沢居曜子 Line-Work VI-79-14 1979年	参考資料	ジョルジュ・ブラック クンストハレ・ベルン 展覧会図録 アートライブラリー蔵 1953年	絵画	マックス・エルンスト ポーランドの騎士 1954年
水彩・素描	沢居曜子 Line-Work VI-79-17 1979年	参考資料	ヨゼフ・ミュラー・コレクション クリスティーズ・ロンドン オークション・カタログ アートライブラリー蔵 1987年11月30日	絵画	アンリ・マティス 待つ 1921-22年
版画	吉原英雄 シーソー1 1968年	絵画	バルテュス 白馬の上の女性曲馬師 寺島八千代氏寄贈 1941年(1945年加筆)	絵画	ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海 I 1927年

絵画	ニコラ・ド・スタール コンポジション	1948年
絵画	ベン・ニコルソン 1933(スペインの絵葉書のあるコラージュ)	1933年
絵画	アド・ラインハート No. 114	1950年
彫刻・立体	ジョージ・シーガル ロバート&エセル・スカルの肖像	1965年
彫刻・立体	イヴ・クライン アルマン(肖像レリーフ)	1962年(原型)

## 展示室6 ぷくぷくときらきら

インスタレーション	碓井ゆい XYZcollective作者寄贈 2020年度新収蔵 ガラスの中で	2019年
絵画	田中敦子 Untitled	1967年
写真	志賀理江子 螺旋海岸46	2011年
写真	志賀理江子 ばけものと暮した	2012年
写真	米田知子 藤田嗣治の眼鏡—日本出国を助けた シャーマンGHQ民政官に送った電報を見る 「Between Visible and Invisible」 シリーズより	2015年
写真	米田知子 坂口安吾の眼鏡—『朝鮮会談に関する 日記』の原稿を見る「Between Visible and Invisible」シリーズより	2013年

## 展示室7 江戸から近代へ受け継がれるやまと絵の世界

工芸	伝田中訥言 獅子頭 伝田中訥言作 江戸時代(18世紀-19世紀)	M2328
日本画	田中訥言 菊鶉図	M1970 江戸時代後期(19世紀前半)
日本画	田中訥言 雪月花園	M1972 江戸時代後期(19世紀前半)
日本画	浮田一蕙 追儺図	M1934 江戸時代後期(19世紀)
日本画	渡辺清 雪中白鷺図	M2174 1858年
日本画	渡辺清 源氏物語図	M2172 1858年
日本画	日比野白圭 鶯宿梅図	M1928 1910年
日本画	日比野白圭 款冬雀図/柳下納涼図/菊花鶉図/佐野渡古歌 意図	M1927 江戸時代後期-大正時代(19世紀-20世紀初期)

日本画	森村宜稲 明治天皇収穫穀覧之図	1932年
日本画	森村宜稲 四季草花図	1925年頃
日本画	岡田為恭 拾遺集歌意図	M2112 江戸時代後期(19世紀)
日本画	川崎千虎 煎茶器鳴紅梅図	1886-1902年
参考資料	森高雅 雪中鴛鴦図 江戸時代後期(18世紀-19世紀)	

## 展示室8 木村定三コレクション 熊谷守一と夜と絵具

絵画	熊谷守一 猫	M249 1965年
絵画	熊谷守一 猫	M259 1963年
絵画	熊谷守一 白猫	KT111 1962年
絵画	熊谷守一 雨滴	KT104 1961年
絵画	熊谷守一 池水	M261 1961年
絵画	熊谷守一 たまご	KT102 1959年
絵画	熊谷守一 裸婦	KT110 1954年
絵画	熊谷守一 海の図	M248 1957年
絵画	熊谷守一 漁村	KT099 1954年
絵画	熊谷守一 引潮	KT094 1951年
絵画	熊谷守一 伸餅	KT093 1949年
絵画	熊谷守一 麥畑	M279 1939年

## 前室2

彫刻・立体	メダルド・ロッソ 病める子	1893年
彫刻・立体	戸張孤雁 立てる女	1911年(1985年頃鑄造)
彫刻・立体	エルンスト・バルラッハ 母なる大地II	1920年

版画	エルンスト・バルラッハ 嵐の中の人々	阿部靖子氏寄贈 1919年
彫刻・立体	山本豊市 立女 B	1969年
彫刻・立体	本郷新 女の首(耳なし)	1960年
彫刻・立体	本郷新 無辜の民「油田地帯」	1970年(1991年鑄造)
彫刻・立体	舟越保武 シオン	1979年
彫刻・立体	中原悌二郎 憩える女	1919年
彫刻・立体	戸張孤雁 曇り	1917年
彫刻・立体	荻原守衛 女の胴	1907年(1993年鑄造)

## プラスキューブ

映像	石田尚志 渦巻く光	2015年
----	--------------	-------

## 10階屋上庭園(レストラン脇)

彫刻・立体	アルナルド・ポモドーロ 財団法人日本宝くじ協会寄贈 飛躍の瞬間	1984年
-------	------------------------------------	-------

## 屋外展示スペース I (12階屋上)

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
彫刻・立体	加藤昭男 大地	1986年
彫刻・立体	小田襄 円柱の構造	1988年

## 屋外展示スペース II (10階)

彫刻・立体	今井瑾郎 大地	1992年
-------	------------	-------

## 12階アートのスペースロビー

彫刻・立体	舟越保武 花を持つ少女	1966年
-------	----------------	-------

## 2023年度第4期コレクション展展示作品リスト（2024年1月16日（火）— 4月14日（日））

環頭大刀柄頭の修復後のお披露目、新収蔵の女性作家の作品展示、西洋近代絵画の来歴調査を踏まえた特集を行った。

前室1 木村定三コレクション 修復報告 環頭大刀柄頭	
考古遺物	木村定三コレクション(M318) 単龍環頭大刀柄頭 6世紀前半
展示室4・5 女性のアーティストの コレクション	
絵画	山崎雅未 2023年度新収蔵作品 牧廣美氏寄贈 Buildings 2023年
絵画	松川朋奈 2023年度新収蔵作品 牧廣美氏寄贈 I decide for myself 2 2023年
絵画	松川朋奈 2023年度新収蔵作品 牧廣美氏寄贈 I remember only that you were wearing a blue shirt that day 2023年
絵画	松川朋奈 2023年度新収蔵作品 牧廣美氏寄贈 Time passes even if I'm not here 2023年
絵画	塩田千春 2023年度新収蔵作品 牧廣美氏寄贈 Endless Line 2017年
写真	蛭川実花 2023年度新収蔵作品 牧廣美氏寄贈 花、瞬く光 2021年
写真	蛭川実花 2023年度新収蔵作品 牧廣美氏寄贈 花、瞬く光 2021年
版画	大和美緒 2023年度新収蔵作品 牧廣美氏寄贈 under my skin 2021年
絵画	大和美緒 2023年度新収蔵作品 牧廣美氏寄贈 under my skin 2021年
絵画	竹村 京 2023年度新収蔵作品 牧廣美氏寄贈 The books in K.T.'s bookshelf and foreign book 2019年
彫刻・立体	西條 茜 2023年度新収蔵作品 甘い共鳴 2021年
版画	林 玲翔 2023年度新収蔵作品 牧廣美氏寄贈 world 2023年
版画	林 玲翔 2023年度新収蔵作品 牧廣美氏寄贈 world 2023年
絵画	田島美加 2023年度新収蔵作品 牧廣美氏寄贈 Art d'Ameublement (Asilo de la Paz) 2023年
絵画	三井淑香 C. L. inc. 2017年
絵画	島田鮎子 作者寄贈 白の想い 1997年
絵画	三瓶玲奈 2023年度新収蔵作品 牧廣美氏寄贈 色をぼく 2022年

絵画	三瓶玲奈 色を見る 2022年
絵画	古川あいか 2023年度新収蔵作品 失った色 - 2 2021年
絵画	古川あいか 2023年度新収蔵作品 構成 - 30.8 2018年
絵画	川内理香子 Cook 2022年
水彩・素描	川内理香子 2023年度新収蔵作品 作者寄贈 HANDS 2020年
水彩・素描	川内理香子 2023年度新収蔵作品 作者寄贈 palm fruit 2021年
水彩・素描	川内理香子 2023年度新収蔵作品 作者寄贈 shower 2021年

### 展示室5 「名品」はどこから来たのか？

絵画	ポール・ゴージャン 玉谷文男・飯子夫妻 からの寄附金による購入 海岸の岩 1888年
絵画	ピエール・ボナール 子供と猫 1906年頃
絵画	パブロ・ピカソ 株式会社東海銀行寄贈 青い肩かけの女 1902年
絵画	ジョアン・ミロ 絵画 1925年
絵画	ポール・デルヴォー こだま(あるいは「街路の神秘」) 1943年
絵画	バルテュス 寺島八千代氏寄贈 白馬の上の女性曲馬師 1941年(1945年加筆)
絵画	モーリス・ドニ 寄附金による購入 花飾りの舟 1921年
絵画	ジョルジュ・ブラック 個人寄贈 水浴する女性と3つの果実 1926年
参考資料	ジョルジュ・ブラック 油彩画カタログ・ レゾネ 1924-27 アートライブラリー蔵 1968年
参考資料	ジョルジュ・ブラック クンストハレ・ ベルン展覧会図録 アートライブラリー蔵 1953年
参考資料	ヨゼフ・ミュラー・コレクション クリステーズ・ ロンドン オークション・カタログ アートライブラリー蔵 1987年11月30日
彫刻・立体	エルンスト・バルラッハ 忘我 1911-12年

絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物 1912年
絵画	エミール・ノルデ 静物L(アマゾン、能面等) 1915年
参考資料	エミール・ノルデ《静物L(アマゾン、能面等)》 作品証明書 学芸室資料 1987年10月16日
参考資料	サザビーズ・ロンドン オークション・カタログ アートライブラリー蔵 1961年6月28日
参考資料	クリステーズ・ロンドン オークション・カタログ アートライブラリー蔵 1973年12月4日
参考資料	サザビー・パーク・バーネット オークション・カタログ アートライブラリー蔵 1978年5月17日
絵画	グスタフ・クリムト トヨタ自動車株式会社から の寄附金による購入 人生は戦いなり(黄金の騎士) 1903年
絵画	マックス・エルンスト ポーランドの騎士 1954年
絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー 日の当たる庭 1935年
絵画	アンリ・マティス 待つ 1921-22年
絵画	ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海 I 1927年
絵画	ニコラ・ド・スタール コンポジション 1948年
絵画	ベン・ニコルソン 1933(スペインの絵葉書のあるコラージュ) 1933年
絵画	アド・ラインハート No. 114 1950年
彫刻・立体	ジョージ・シーガル ロバート&エセル・スカルの肖像 1965年
彫刻・立体	イヴ・クライン アルマン(肖像レリーフ) 1962年(原型)
ロビー	
彫刻・立体	北山善夫 言葉が輝く時 1987年
プラスキューブ	
映像	百瀬 文 聞こえない木下さんに聞きたいいくつかのこと 2013年

---

### 10階屋上庭園（レストラン脇）

---

彫刻・立体	アルナルド・ポモドーロ 財団法人日本宝くじ協会寄贈 飛躍の瞬間	1984年
-------	------------------------------------	-------

---

### 屋外展示スペースⅠ（12階屋上）

---

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
-------	----------------------	-------

---

---

彫刻・立体	加藤昭男 大地	1986年
-------	------------	-------

---

彫刻・立体	小田襄 円柱の構造	1988年
-------	--------------	-------

---

### 屋外展示スペースⅡ（10階）

---

彫刻・立体	今井瑾郎 大地	1992年
-------	------------	-------

---

---

### 12階アートスペースロビー

---

彫刻・立体	舟越保武 花を持つ少女	1966年
-------	----------------	-------

---

## コレクション企画

### コレクションズ・ラリー

#### 愛知県美術館・愛知県陶磁美術館 共同企画

会 期：2024年1月16日（火）～4月14日（日）  
会 場：展示室1-3、ラウンジ  
主 催：愛知県美術館、愛知県陶磁美術館  
担 当：石崎尚・中野悠（愛知県美術館）、佐久間真子・大西遼（愛知県陶磁美術館）

内 容：愛知県美術館と愛知県陶磁美術館のコレクションを合わせると、その数は17,000件以上にのぼる。本展は両館のコレクションを用いて、4人の学芸員が独自のテーマを立てて「JOMON」「うーまんめいど」「ハードロック／ヘヴィメタル」「祈り」という4つの章からなる、オムニバス形式で構成した。各章の作品を1点ずつ選んでイントロダクションとして提示するなど、それぞれの章の枠を超えて、作品同士が共鳴するような空間づくりを意識した。なお、観覧順路はラウンジ、展示室3・2・1という、通常とは逆回りとした。

入 場 者 数：11,130人（1日平均143人）

#### 関連事業：

##### トークラリー（学芸員による展示説明会）

###### 第1回

日 時：2024年1月21日（日）午前11時～12時  
参加者34人

会 場：展示室1-3

担 当：石崎尚、佐久間真子

###### 第2回

日 時：2024年2月10日（土）午前11時～12時  
参加者30人

会 場：展示室1-3

担 当：石崎尚、大西遼

###### 第3回

日 時：2024年3月8日（金）午後6時30分～7時30分  
参加者30人

会 場：展示室1-3

担 当：中野悠、大西遼

###### 第4回

日 時：2024年4月6日（土）午前11時～12時  
参加者30人

会 場：展示室1-3

担 当：中野悠、佐久間真子

#### 友の会会員のための特別鑑賞会

日 時：2024年2月11日（木）

午前10時30分～11時30分 参加者19人

午後5時30分～7時 参加者27人

会 場：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）、展示室1-3、ラウンジ

担 当：石崎尚、中野悠、佐久間真子、大西遼

#### 小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会

日 時：2024年2月3日（土）午後1時30分～2時45分

参加者24人

会 場：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）

担 当：石崎尚、藤島美菜

愛知県美術館 × 愛知県陶磁美術館 共同企画

# コレク ションズ・ ラリー

When Two Collections Meet

Co-curated by  
the Aichi Prefectural Museum of Art  
and the Aichi Prefectural Ceramic Museum

二館のコレクション、ざらり！

2024.1.16 tue - 4.14 sun

愛知県美術館  
[愛知芸術文化センター10階]

開館時間  
10:00～18:00、全曜日18:00まで  
(入場は開館前30分前まで)

休館日  
毎週月曜日(ただし12月31日(祝日除く)、  
2月13日(祝日))  
主催  
愛知県美術館、愛知県陶磁美術館

愛知芸術文化センター AICHI ARTS CENTER

AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

関連記事：

- ・宮崎正嗣「現代、古代 コラボ展示も 愛知県美と県陶磁美術館の作品を一堂に」『中日新聞』2024年2月9日朝刊
- ・佐久間真子「美博ノート 円筒深鉢」『岐阜新聞』2024年2月23日朝刊
- ・石崎尚「美博ノート 月谷初子 置物・人形」『岐阜新聞』2024年3月1日朝刊
- ・中野悠「美博ノート 杉浦康益 陶による岩の群」『岐阜新聞』2024年3月8日朝刊
- ・大西遼「美博ノート 金銅五鈷鈴」『岐阜新聞』2024年3月15日朝刊
- ・岩田なおみ「レビュー コレクションズ・ラリー ～2つのコレクションが交わる場所で新たな魅力を見つけ出す～愛知県美術館で4月14日まで」『美術展ナビ』2024年3月20日

- ・中野悠「毎日新聞コラム MUSEUM 杉浦康益 陶による岩の群」『毎日新聞』2024年3月23日朝刊
- ・高橋綾子「Aichi Art Museums and Gender Balance. As revealed by when two collections meet.」ARTxt, Revista de Experimentación Artística, Universidad de Malaga, pp.57-68, 2024年3月
- ・みそにこみおでん「『コレクションズ・ラリー 愛知県美術館・愛知県陶磁美術館 共同企画』愛知県美術館 レポート」『note 月間美術批評WEBマガジン レビューとレポート』2024年4月7日
- ・石崎泰之「鑑賞note『コレクションズ・ラリー』」『AAC Journal』Vol. 120 愛知県芸術劇場（公益財団法人 愛知文化振興事業団）2024年6月1日



展示風景



展示風景

## 移動美術館

**名 称：**愛知県美術館 移動美術館2023  
愛知県美術館のコレクションから  
「画家たちの眼—さまざまな表現への挑戦—」

**会 期：**2023年7月4日（火）～8月20日（日）[42日間]

**会 場：**清須市はるひ美術館 展示室1、展示室2

**休 館 日：**月曜日（7月17日[月・祝]は開館）、翌7月18日（火）

**開 館 時 間：**午前10時～午後7時

**観 覧 料：**無料

**主 催：**愛知県美術館、清須市はるひ美術館、清須市、清須市教育委員会

**出 品 点 数：**愛知県美術館（絵画29件、立体4件、計33件）

**入 場 者 数：**2,051人（1日平均48人）

**担 当：**藤島美菜・深山孝彰・鶴尾佳奈（愛知県美術館）

**内容と結果：**多くの県民に鑑賞の機会を提供する機会として、県内各地の市町村と協力し、毎年移動美術館を開催している。尾張地区での開催は、大口町（2005年度）、小牧市（2013年度）の実績があり、当地域での開催は10年振り3回目となった。愛知県陶磁美術館は、改修工事に伴い休館していたため、出品しなかった。

清須市はるひ美術館を会場に、愛知県美術館の所蔵作品から油彩画を中心に展示した。清須市は、愛知県美術館の前身である、愛知県文化会館の初代美術部長（美術館長）を1956年から60年まで務めた洋画家、太田三郎の出身地（旧西春日井郡）であり、太田三郎と関連のある作品を含む、近代から現代までの油彩画や立体作品等を展示した。会場には、全作品の作家・作品解説の他、作品リストや鑑賞ガイド、子ども向けのワークシートなどの鑑賞補助資料を設置した。開催中の事業として、愛知県美術館館長と開催館の館長による対談、一般向けギャラリートークや学校団体鑑賞会の事業を実施し、地域の幅広い年齢層の観客に美術に親しむ機会を提供した。学校団体鑑賞会の実施にあたっては、校長会での事前案内、団体鑑賞を希望した学校への事前説明会や学校団体用のオリジナルワークシートの作成、鑑賞会実施時にはガイダンスと展示室での質疑応答の対応を行った。

### 関連事業：

#### 記念対談

日 時：2023年7月8日（土）午後2時～3時

参加者20人

会 場：清須市立図書館研修室（清須市立図書館2階）

講 師：拝戸雅彦（愛知県美術館館長）、高北幸矢（清須市はるひ美術館館長）



展示風景（展示室2）

展示説明会（ギャラリートーク）

日 時：2023年7月30日（土）午後2時～2時40分

参加数：23人

会 場：清須市はるひ美術館

講 師：深山孝彰（愛知県美術館企画業務課長）

学校団体向け事業

事前説明会

①清須市教育委員会校長会

日 時：2023年3月13日（月）午前9時～

場 所：清須市市役所

②学校団体参加校

日 時：2023年6月13日（火）午後4時～

場 所：清須市はるひ美術館

参加者：星の宮小学校教員2人、春日中学校教員1人

担 当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）

学校団体鑑賞会

①日 時：2023年7月4日（火）午後1時～

参加者：春日中学校 1年生89人 引率教員6人

担 当：拝戸雅彦（愛知県美術館館長）、深山孝彰（愛知県美術館企画業務課長）

②日 時：2023年7月7日（金）午前10時～11時30分

参加者：星の宮小学校 6年生44人 引率教員2人

担 当：深山孝彰（愛知県美術館企画業務課長）

一般団体向け事業

①日 時：2023年7月11日（火）午後1時30分～3時

参加者：清須市はるひ美術館アートサポーター 20人

②日 時：2023年8月4日（金）午後

参加者：ニッコウトラベルツアー 11人 引率1人

③日 時：2023年8月5日（土）

参加者：清須キッズアートラボ 10人

担 当：加藤恵（清須市はるひ美術館学芸員）

関連記事・放送：

- ・『読売新聞（岐阜版）』2023年6月29日朝刊
- ・広報清州 7月号 2023年7月1日
- ・「レッツ！エンジョイ」『読売新聞』2023年7月6日朝刊
- ・『中日新聞（尾張版）』2023年7月7日朝刊
- ・「あまネタ！」クローバーTV（西尾張ケーブルテレビ）2023年7月10日～16日
- ・『朝日新聞』地域総合面「美術館・博物館」一覧表2023年7月26日朝刊
- ・『朝日新聞』地域総合面「美術館・博物館」一覧表2023年8月9日朝刊

他館との連携：

- ・一宮市三岸節子記念美術館「安藤正子展 ゆくかは」のチラシと割引券をロビーに掲示し、同館に移動美術館のポスターとチラシを掲示

愛知県美術館のコレクションから  
移動美術館2023

画家たちの眼  
— ささまざまな表現への挑戦 —

令和5年  
7/4(火)～8/20(日) 入場無料

【開館時間】午前10時～午後7時（入館は午後6時30分まで）  
【休 日】月曜日（ただし7月31日（休）は開館し、8月1日（日）は休館）

清須市はるひ美術館 濃須市野日夢の森1番地  
【〒 487-0201 愛知県美濃郡清須市はるひ美術館、連絡先、清須市教育委員会】

【お問い合わせ】 清須市はるひ美術館 愛知県美術館  
TEL:053-451-3881 FAX:053-459-2791  
TEL:053-971-9811 FAX:053-971-9604

ラウル・デュラ  
高橋由一  
里田清輝  
太田三郎  
熊谷守一  
安藤正子



学校団体鑑賞会（展示室1）

チラシ

## 展示室1

番号	分野	作家名	作品名	制作年	備考
1	絵画	高橋由一	厨房具	1878-79	
2	絵画	黒田清輝	花と猫	1906	
3	絵画	太田三郎	婦人像	1915頃	
4	絵画	木村荘八	瓶を持っている女	1915	
5	絵画	大沢鉦一郎	自画像	1919	
6	絵画	ラウル・デュフィ	サンタドレスの浜辺	1906	
7	絵画	正宗得三郎	パイナップルのある静物	1923頃	
8	彫刻・立体	中原悌二郎	憩える女	1919	
9	絵画	小出楯重	蔬菜静物	1925	
10	絵画	大澤海蔵	晩夏	1934	
11	絵画	宮脇晴	子等遊ぶ谿	1943	

## 展示室2

番号	分野	作家名	作品名	制作年	備考
12	絵画	古賀春江	夏山	1927	
13	絵画	北川民次	南国の花	1940	
14	絵画	里見勝蔵	裸婦	1928-29頃	
15	絵画	岡鹿之助	窓	1949	
16	絵画	林武	ノートルダム	1960	
17	絵画	三岸節子	魚とインカの壺	1954	
18	絵画	瑛九	黄色い花	1957-58	
19	絵画	桂ゆき	猫	1960年代後半-1970代前半	木村定三コレクション M2707
20	絵画	斎藤義重	ゼロイスト	1973 (原作1950)	
21	絵画	元永定正	しろいひかりのあか	1982	
22	彫刻・立体	北山善夫	言葉が輝く時	1987	
23	絵画	猪熊弦一郎	地図の中の日曜日	1979	
24	絵画	香月泰男	綱渡	1963	木村定三コレクション KT058
25	絵画	香月奏男	サッカー	1970	木村定三コレクション KT060
26	絵画	須田剋太	東大寺	1981	木村定三コレクション KT007
27	絵画	熊谷守一	伸餅	1949	木村定三コレクション KT093
28	絵画	櫃田伸也	過ぎ行く風景	1979	
29	絵画	藤城凡子	chapter 5 そして月と地球	2006	
30	絵画	坂本夏子	Tiles, 髪	2007	
31	絵画	安藤正子	おへその庭	2010	
32	彫刻・立体	堀内正和	四角と丸の組合せb	1956	
33	彫刻・立体	濱田知明	情報過多的人間	1984	木村定三コレクション M168

## サテライト展示

2008年度からの覚書により、愛知県陶磁美術館常設展「日本と世界のやきもの」で下記4点を公開した。

入場者数：2,816人（2023年4月1日～6月18日、6月19日以降は改修工事に伴い休館）

番号	分野	作家名	作品名	制作年	備考
1	工芸		茶入 銘「八重垣」	江戸時代（17世紀前半）	木村定三コレクションM1416
2	工芸	長次郎	黒楽茶碗 銘「苔志水」	桃山時代（16世紀）	木村定三コレクションM820
3	工芸		青磁鶏首壺	浙江省、東晋時代（4～5世紀）	木村定三コレクションM1236
4	工芸		青磁瓜形水注	14世紀	木村定三コレクションM1232

## 2 企画展

### 企画展の開催状況

#### 近代日本の視覚開化 明治

#### ——呼応し合う西洋と日本のイメージ

会 期：2023年4月14日（金）～5月31日（水）[41日間]  
会 場：愛知県美術館 展示室1-3  
主 催：愛知県美術館、メーテレ  
特別協力：神奈川県立歴史博物館  
後 援：明治美術学会  
担 当：中野悠（愛知県美術館学芸員）、由良濯（愛知県美術館学芸員）、平瀬礼太（愛知県美術館副館長）  
休 館 日：毎週月曜日  
観 覧 料：一般1,500(1,300)円、高校・大学生1,200(1,000)円  
中学生以下無料  
( ) 内は前売り及び20名以上の団体料金

出品点数：約300件

入場者数：9,070人

巡回先：なし

#### 内容と結果：

神奈川県立歴史博物館のコレクションを中心に、明治期特有の表現がみられる絵画・写真・印刷物・彫刻・工芸などを集結させ、時代の転換期に和洋の化学反応によって生まれた様々な視覚的表現や明治美術の新たな一面をご覧いただく機会とした。

神奈川県立歴史博物館の全面的な協力をはじめ、他の作品所蔵館や個人所蔵者等からも厚意を得て、約300件の作品や関連資料を紹介することができ、質量ともに大変充実した内容となった。幕末から明治という時代の転換期を豊富な資料と作品で紹介することで「文明開化」が「視覚開化」でもあったことを示し、明治期における視覚文化の混沌としながらも豊かな様相を照らし出す、学術的にも意義深い展覧会となった。新聞各紙に展覧会評が掲載されたほか、専門家やミュージアム関係者からも関心を寄せられ、評価を得た。

#### 展覧会カタログ：

A5判変型 332ページ

編 集 愛知県美術館、神奈川県立歴史博物館

執 筆 中野悠、由良濯、平瀬礼太（愛知県美術館）、角田拓朗、鈴木愛乃（神奈川県立歴史博物館）

発 行 風媒社

作品リスト・鑑賞ガイド：タブロイドD4版 8頁

#### 関連事業：

1「明治」をめぐるリレートーク

第1回

日 時：2023年4月15日（木）午後1時30分～3時

参加者37人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

講 師：角田拓朗（神奈川県立歴史博物館主任学芸員）

演 題：「『美術』のつくりかた—明治のモノづくりの分岐点」

第2回

日 時：2023年5月3日（水・祝）午後1時30分～3時

参加者36人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

講 師：由良濯

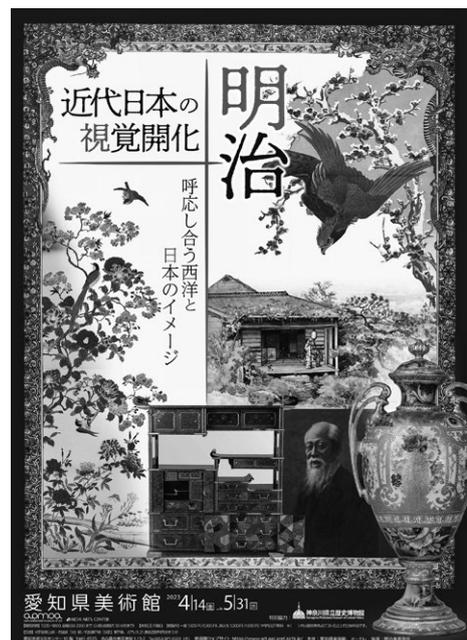
演 題：「菊池容齋と『前賢故実』」

第3回

日 時：2023年5月7日（日）午後1時30分～3時

参加者36人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）



ポスター

講師：鈴木愛乃（神奈川県立歴史博物館学芸員）  
演題：「横浜の輸出工芸 陶磁器・漆器とその周辺」

第4回

日時：2023年5月13日（土）午後1時30分～3時

参加者42人

会場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

講師：平瀬礼太

演題：「近代愛知の視覚開化」

第5回

日時：2023年5月27日（土）午後1時30分～3時

参加者46人

会場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

講師：菅野洋人（郡山市立美術館館長）、平瀬礼太

演題：「新聞付録は面白い！—明治美術の印刷と美術」

2 記念講演会

明治美術学会・愛知県美術館共催シンポジウム

「愛知で考える明治美術」

日時：2023年4月23日（日）午後1時30分～4時30分

参加者：130人（会場80人+オンライン聴講50人）

会場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

① 展覧会概要説明：由良濯

時間：午後1時35分～1時50分

② 発表：中野悠

時間：午後1時50分～2時50分

演題：「写真師宮下欽・守雄 名古屋での活動」

③ 記念対談：木下直之（明治美術学会会長・静岡県立美術館館長）、平瀬礼太

時間：午後3時～4時30分

演題：「視覚の何が開かれ、何が閉ざされたのか」

3 スライドトーク（学芸員による展示説明会）

第1回

日時：2023年4月30日（日）午前11時～11時40分

参加者30人

会場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

担当：中野悠（愛知県美術館学芸員）

第2回

日時：2023年5月13日（土）午前11時～11時40分

参加者30人

会場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

担当：中野悠（愛知県美術館学芸員）

第3回

日時：2023年5月19日（金）午後6時30分～7時10分

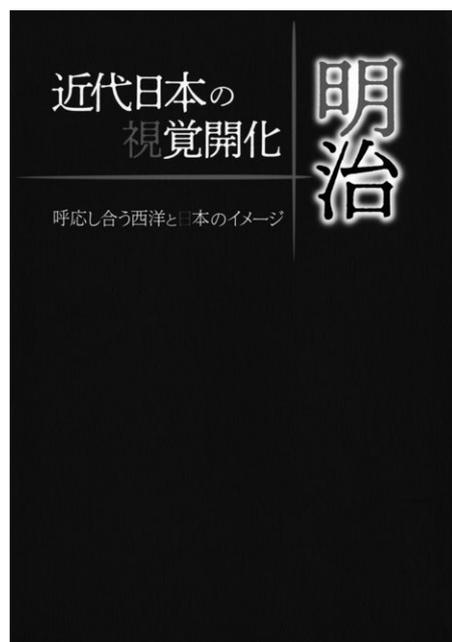
参加者24人

会場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

担当：中野悠（愛知県美術館学芸員）



作品リスト・鑑賞ガイド



カタログ表紙

#### 4 友の会会員のための特別鑑賞会

日時：2023年4月20日（木）

午前10時30分～11時30分 参加者30人

午後5時30分～7時 参加者45人

会場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）、  
美術館展示室1-3

担当：中野悠（愛知県美術館学芸員）

#### 5 小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会

日時：2023年4月22日（土）午後1時30分～2時45分

参加者17人

会場：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）

担当：中野悠（愛知県美術館学芸員）、藤島美菜（愛知県  
美術館主任学芸員）

#### 関連記事：

- ・中野悠「近代日本の視覚開化 明治——呼応し合う西洋と日本のイメージ」『愛知芸術文化センター情報誌AAC』vol. 115、愛知県芸術劇場（公益財団法人 愛知県文化振興事業団）、2023年3月1日
- ・宮崎正嗣「明治初期撮影 セピア色の瀬戸焼産地 双眼写真 写真家・宮下欽 子孫自宅で保管」『中日新聞』2023年3月3日夕刊
- ・宮崎正嗣「印刷技術が明治美術を変えた 名古屋で『近代日本の視覚開化』展」『中日新聞』2023年4月21日朝刊
- ・村田真「artscapeレビュー 近代日本の視覚開化 明治——呼応し合う西洋と日本のイメージ」artscape、2023年5月9日

- ・高橋咲子「明治の『視覚開化』伝える 個人をしのぶ肖像」『毎日新聞』2023年5月15日夕刊
- ・宮川匡司「社会と歩む『美術』に注目 国家や産業との関わりたどる 『近代日本の視覚開化 明治』展」『日本経済新聞』2023年5月20日朝刊
- ・宮川匡司「『近代日本の視覚開化 明治』展 社会と歩む『美術』」『日経電子版』2023年5月20日朝刊
- ・無記名「明治時代、焼失前の善光寺仁王門か 名古屋で写真館開いた元松代藩士が撮影」『信濃毎日新聞』2023年5月18日朝刊
- ・宮崎正嗣「明治美術 現代と違いは 愛知県美術館 企画展に合わせ対談」『中日新聞』2023年5月19日夕刊
- ・無記名「明治の美術 一見の価値あり」『中日新聞』2023年5月19日夕刊
- ・無記名「明治の絵画、印刷物一堂に 新聞付録の解説も 県美術館で301点」『読売新聞』2023年5月23日朝刊
- ・木下直之「文春美術館 その他の世界49 地獄も極楽も画家次第『特別展 明治美術狂想曲』『近代日本の視覚開化 明治』」『週刊文春』株式会社文藝春秋、2023年5月25日号
- ・田村允英「REVIEW 美術館 博物館と美術館の連携により生み出された『視覚開化』」『愛知芸術文化センター情報誌AAC』vol. 117、愛知県芸術劇場（公益財団法人 愛知県文化振興事業団）、2023年9月1日
- ・宮崎正嗣「〈文化財〉取材日記『文化不毛の地』と博物館」『本郷』第167号、吉川弘文館、2023年9月1日



展示風景



展示風景

## 幻の愛知県博物館

会 期：2023年6月30日（金）－8月27日（日）[51日間]  
会 場：愛知県美術館 展示室1-3、ラウンジ  
主 催：愛知県美術館、中日新聞社  
担 当：副田一穂（国際芸術祭推進室主任学芸員・愛知県美術館兼務）、塩津青夏（愛知県美術館学芸員）  
休 館 日：毎週月曜日（7月17日[月・祝]は開館）、7月18日（火）  
観 覧 料：一般1,000（800）円、高大生800（600）円、中学生以下無料  
※（ ）内は前売り及び20名以上の団体料金

出品点数：234点

入場者数：10,144人

巡回先：なし

内容と結果：

愛知県美術館はもとより、その前身となる愛知県文化会館すらも存在しなかった明治大正時代、「画家たちがそこで作品を発表していたらしい」ということだけが語られながら、これまでその実像が詳しく知られていなかった「愛知県博物館」やその後継施設について、学芸員の地道な研究によって稀少な資料を見出し、当時の活動を明らかにした。それを展覧会として紹介した本展は、愛知の近代洋画史だけでなく愛知県の地域史の研究や日本の博物館史にもつながる有意義な企画となった。

具体的には、第1章では名古屋城の金鯢を手掛かりに、明治期の日本における黎明期の博物館行政という固い話題をビジュアルに伝え、愛知県博物館の活動に焦点をあてた第2章「幻の愛知県博物館」では、今日的な博物館のイメージとは異なり殖産興業に重きをおく同館の活動を丁寧に紹介し、最後の第3章では「ものづくり」をキーワードに古代から現代までのこの地域の文化を、いわば架空の愛知県博物館として再構成するなど、多様かつ幅広い対象を扱った。さらに、展示資料のうち本展の文脈上とりわけ重要なものを大きく拡大して壁面に貼り出すなどの工夫を施し、また担当学芸員がすべての展示資料に付した「一言解説」は資料の意味や展覧会内での位置づけを過不足なく伝えるもので、いずれも専門家や一般の来場者からも好評を得た。

なお、観覧順路は通常とは逆に展示室3から展示室1へ向かうよう設計し、会場入口にあたるラウンジには名古屋城金鯢の実寸大の模型を制作・展示した。

## 展覧会カタログ：

A4判 128ページ

編 集 副田一穂、塩津青夏（愛知県美術館）

執 筆 拝戸雅彦、副田一穂（愛知県美術館）

デザイン 伊藤敦志（AIRS）

撮 影 城戸保

発 行 幻の愛知県博物館展実行委員会

作品リスト：A3両面二つ折り 4頁

## 関連事業：

1 記念講演会

第1回

日 時：2023年7月22日（土）午後1時30分～3時

参加者60人

会 場：アトスペースA（愛知芸術文化センター12階）

講 師：三宅拓也（京都工芸繊維大学助教）

演 題：「愛知県商品陳列館とその時代」

第2回

日 時：2023年8月19日（土）午後1時15分～3時

参加者69人

会 場：アトスペースA（愛知芸術文化センター12階）

講 師：原田幹（あいち朝日遺跡ミュージアム学芸課長）

佐藤一信（愛知県陶磁美術館館長）

拝戸雅彦（愛知県美術館館長）

司 会：副田一穂

演 題：あいち朝日遺跡ミュージアム×愛知県陶磁美術館  
×愛知県美術館 三つの愛知県立ミュージアムから見た「幻の愛知県博物館」



## 2 スライドトーク（学芸員による展示説明会）

### 第1回

日 時：2023年7月8日（土）午前11時～11時40分  
参加者25人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）  
担 当：副田一穂（国際芸術祭推進室主任学芸員・愛知県美術館兼務）

### 第2回

日 時：2023年7月14日（金）午後6時30分～7時10分  
参加者27人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）  
担 当：副田一穂（国際芸術祭推進室主任学芸員・愛知県美術館兼務）

### 第3回

日 時：2023年7月30日（日）午前11時～11時40分  
参加者43人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）  
担 当：副田一穂（国際芸術祭推進室主任学芸員・愛知県美術館兼務）

### 第4回

日 時：2023年8月20日（土）午前11時～11時40分  
参加者38人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）  
担 当：副田一穂（国際芸術祭推進室主任学芸員・愛知県美術館兼務）

## 3 友の会会員のための特別鑑賞会

日 時：2023年7月6日（木）  
午前10時30分～11時30分 参加者28人  
午後5時30分～7時  
参加者34人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）、  
美術館展示室1-3  
担 当：副田一穂（国際芸術祭推進室主任学芸員・愛知県美術館兼務）

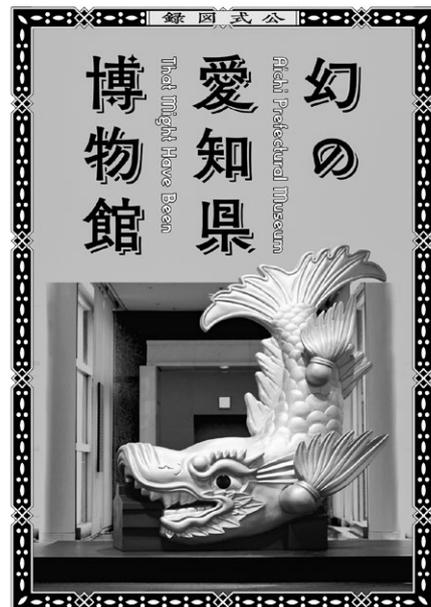
## 4 小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会

日 時：2023年7月15日（土）午後1時30分～2時45分  
参加者21人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）  
担 当：副田一穂（国際芸術祭推進室主任学芸員・愛知県美術館兼務）  
藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）

## 関連記事：

- ・無記名「100年以上前の大須に存在 よみがえる明治の博物館」『中日新聞』2023年6月14日朝刊
- ・副田一穂「金鯰 明治の東京にぎわす」『中日こども WEEKLY』2023年6月17日
- ・（社告）「幻の愛知県博物館」『中日新聞』2023年6月20日朝刊
- ・無記名「県美術館で展覧会「幻の愛知県博物館」140年前の大須にあった「博物館」」サカエ経済新聞、2023年6月29日
- ・井上喜博「明治の名古屋、お寺にあった幻の県博物館 名古屋・県美術館で企画展」『中日新聞』2023年6月30日
- ・副田一穂「幻の愛知県博物館——戦前日本のミュージアムの姿」『美術の窓』478号、2023年7月
- ・副田一穂「忘れ去られた博物館が、今よみがえる」『新美術新聞』1634号、2023年7月1日
- ・副田一穂「幻の愛知県博物館（上）金鯰燃え殻 姿変え」『中日新聞』2023年7月5日朝刊
- ・副田一穂「幻の愛知県博物館（中）捕虜の技に興味津々」『中日新聞』2023年7月6日朝刊
- ・副田一穂「幻の愛知県博物館（下）欧米の流行品に学べ」『中日新聞』2023年7月8日朝刊



カタログ表紙

- ・「Morning Delight」東海ラジオ、2023年7月9日、7月16日、7月23日、7月30日
- ・中野龍三「『幻の県博物館』企画展 大須に明治時代存在 240点の資料など展示」『朝日新聞』2023年7月19日
- ・「村上佳菜子の週刊愛ちっち」東海テレビ、2023年7月20日
- ・「TXNニュース」テレビ愛知、2023年7月22日
- ・ニコニコ美術館「愛知県美術館の「幻の愛知県博物館」を巡ろう」2023年7月25日
- ・宮崎正嗣「戦前「愛知県博物館」あった」『中日新聞』2023年8月11日
- ・NHKラジオ「マイあさ！」「橋本麻里の美術館で会いましょう」2023年8月12日
- ・加藤沙波「ドイツ人捕虜 絵はがきで紹介」『毎日新聞』2023年8月15日
- ・「OH! MY CHANNEL!」東海ラジオ、2023年8月21日
- ・みそにこみおでん「『幻の愛知県博物館』と「コレクション展」愛知県美術館 レポート」レビューとレポート、[https://note.com/misonikomi\\_oden/n/nd25dfbb27f63](https://note.com/misonikomi_oden/n/nd25dfbb27f63)、2023年8月25日
- ・橋本麻里「東洋美術逍遙53 博物館は誰のために何をすべきか」『週刊文春』65巻32号、2023年8月31日
- ・宮崎正嗣「〈文化財〉取材日記 幻の愛知県博物館」『本郷』168号、吉川弘文館、2023年11月
- ・三宅拓也「遺されてきたモノが語るミュージアムと地域の歴史」『愛知芸術文化センター情報誌AAC』vol. 118、愛知県芸術劇場（公益財団法人 愛知県文化振興事業団）、2023年12月1日
- ・安井海洋「陳列、あるいは展示をめぐる——愛知県美術館「幻の愛知県博物館」レビュー」『レビューとレポート』52号、2023年12月10日
- ・森仁史「日本と「美術」: その受容と変容もしくは変異」『一寸』95号、2023年12月
- ・杉本竜「展示批評 NHK大河ドラマ特別展「どうする家康」を観覧して」『地方史研究』74巻1号、地方史研究協議会、2024年2月
- ・栗田秀法「REVIEW 幻の愛知県博物館」『芸術批評誌REAR』50号、2024年3月
- ・高橋綾子「2023 1年をふりかえって 美術」『なごや文化情報』409号、2024年3月
- ・森仁史「「美術」移植からデザイン振興へ：愛知県商品陳列所の一〇一〇—二〇年代」『一寸』96号、2024年3月



展示風景



展示風景

## 生誕120年 安井仲治

- 会 期**：2023年10月6日（金）－11月27日（月）[46日間]  
**会 場**：愛知県美術館 展示室1-3  
**主 催**：愛知県美術館、日本経済新聞社、テレビ愛知、共同通信社  
**協 力**：銀遊堂、PGI、株式会社アフロ  
**助 成**：公益財団法人ポーラ美術振興財団  
**担 当**：中村史子（愛知県美術館主任学芸員、2023年9月30日まで）、鶴尾佳奈（愛知県美術館学芸員）、黒田和士（愛知県美術館学芸員）  
**休 館 日**：毎週月曜日（10月9日（月）と11月27日（月）は開館）、10月10日（火）  
**観 覧 料**：一般1,200（1,100）円、高校・大学生1,000（900）円、中学生以下無料  
※（ ）内は前売り及び20名以上の団体料金  
**出品点数**：260点  
**入場者数**：6,040人  
**巡 回 先**：兵庫県立美術館、東京ステーションギャラリー  
**内容と結果**：

1922年から42年までという短い活動期間で38年の生涯を終えながら日本の近代写真史に大きな足跡を残し、戦後の写真家たちに大きな影響を与えた安井仲治。本展は兵庫県立美術館のコレクションを中心に重要作品を網羅し、約140点もの貴重なヴィンテージプリントを同期展示できた。またモダンプリントも、最新の作家・技法研究に基づいて本展のために作製した20点を

含む約60点を出品し、知られざる安井の活動を初期から晩年まで通して描き出すことができた。さらに、鮮明な図版と7本の論考、多数の資料を掲載した図録は、これまでの研究成果が結実した資料的な価値の高いものとなった。

会場では、一般に馴染みの薄い銀塩写真の現像方法や安井のプリント技法について分かりやすく解説する鑑賞ガイドを配布し、好評を博した。

入場者数は伸び悩んだが、専門家や関係者の評価、また来場者の満足度は高く、アンケートやSNSでも本展を評価する意見が多かった。20年ぶりの回顧展に相応しい、充実した内容の展覧会となり、近年国内外で注目が集まる安井の評価をさらに高めることに貢献できたと言えよう。

### 展覧会カタログ：

B5判変形 352ページ

**編 集** 兵庫県立美術館、愛知県美術館、東京ステーションギャラリー、共同通信社 文化事業室

**執 筆** 安井仲雄、比田井一良、中島徳博、中村史子（愛知県美術館）、小林公・尾崎登志子（兵庫県立美術館）、若山満大（東京ステーションギャラリー）

**翻 訳** シェリル・シルヴァーマン、小川紀久子、パメラ・ミキ  
**デザイン** 栗原哲朗（文京図案室）

**印 刷** 図書印刷株式会社

**発 行** 株式会社河出書房新社

**鑑賞ガイド**：B5両面外四つ折り 8頁



蝶の大切な写真



A4チラシ

生誕120年 安井仲治  
YASUJINAKAJI:  
PHOTOGRAPHS

2023年  
10月6日[金]  
－11月27日[月]

●観覧時間/10:00-18:00、休日は10:00まで  
（土曜休館日の20時閉館）  
●観 覧 料/一般1,200円、10歳以下500円  
10歳以上1,100円  
●観 覧 料 優待/愛知県美術館、共同通信社、テレビ愛知、共同通信社、アフロ、銀遊堂、PGI、株式会社アフロ  
●観 覧 料 優待 対象/愛知県美術館学芸員、黒田和士、鶴尾佳奈、中村史子  
●観 覧 料 優待 対象 除外/愛知県美術館学芸員、黒田和士、鶴尾佳奈、中村史子  
愛知県美術館  
愛知県美術館学芸員 黒田和士、鶴尾佳奈、中村史子  
愛知県美術館学芸員 黒田和士、鶴尾佳奈、中村史子  
愛知県美術館学芸員 黒田和士、鶴尾佳奈、中村史子

愛知県美術館  
愛知県美術館学芸員 黒田和士、鶴尾佳奈、中村史子  
愛知県美術館学芸員 黒田和士、鶴尾佳奈、中村史子

関連事業：

- 1 トークイベント「安井仲治をめぐる6つの言葉」  
日 時：2023年11月5日（日）午前10時30分～12時30分  
会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）  
講 師：竹葉丈（名古屋市美術館学芸員）、芦高郁子（滋賀県立美術館学芸員）、中村史子（大阪中之島美術館学芸員）  
司 会：鶴尾佳奈（愛知県美術館学芸員）  
参加者：52人

2 スライドトーク（学芸員による展示説明会）

- 第1回  
日 時：2023年10月15日（日）午前11時～11時40分  
参加者21人  
会 場：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）  
担 当：鶴尾佳奈（愛知県美術館学芸員）

- 第2回  
日 時：2023年10月20日（金）午後6時30分～7時10分  
参加者18人  
会 場：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）  
担 当：鶴尾佳奈（愛知県美術館学芸員）

- 第3回  
日 時：2023年10月28日（土）午前11時～11時40分  
参加者25人  
会 場：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）  
担 当：黒田和士（愛知県美術館学芸員）

第4回

- 日 時：2023年11月18日（土）午前11時～11時40分  
参加者19人  
会 場：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）  
担 当：黒田和士（愛知県美術館学芸員）

3 友の会会員のための特別鑑賞会

- 日 時：2023年10月12日（木）  
午前10時30分～11時30分 参加者22人  
午後5時30分～7時  
参加者33人  
会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）、美術館展示室1-3  
担 当：鶴尾佳奈（愛知県美術館学芸員）

4 小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会

- 日 時：2023年10月21日（土）午後1時30分～2時45分  
会 場：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）及び美術館展示室  
参加者16人  
担 当：鶴尾佳奈（愛知県美術館学芸員）、藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）



Yasui Nakaji



1903-1942



Photographs

安井仲治作品集

河出書房新社

日本写真史に燃然と輝く天才写真家の傑作を集成！

「生誕120年 安井仲治—僕の大切な写真」展（2023-24年開催）公式図録  
愛知県美術館、兵庫県立美術館、東京ステーションギャラリーを巡回予定

カタログ表紙（帯付）



鑑賞ガイド

関連記事・放送：

- ・無記名「『安井仲治』10月6日から」『日本経済新聞』2023年8月26日朝刊
- ・中村史子「安井仲治 YASUI NAKAJI PHOTOGRAPHS 僕の大切な写真」『愛知芸術文化センター情報誌AAC』vol. 117、愛知県芸術劇場（公益財団法人 愛知県文化振興事業団）、2023年9月1日号
- ・無記名「戦前関西の写真家・安井仲治の個展が愛知県美術館で一貴重なヴィンテージプリントほか約200点を展示」FASHION PRESS、2023年9月8日
- ・無記名「写真家・安井仲治 生誕120年 きょうから県美術館で個展」『読売新聞』2023年10月6日朝刊
- ・「5時スタ」テレビ愛知、2023年10月6日
- ・今野綾花「日本の写真史をなぞる存在。写真家・安井仲治の魅力とは？」「生誕120年 安井仲治」展を企画した3館のキュレーターが語り合う」Tokyo Art Beat、2023年10月17日

- ・ひろ. すぎやま「読者レポート：生誕120年 安井仲治」アイエム、インターネットミュージアム事務局、2023年10月23日
- ・宮崎正嗣「戦前の写真界 創意でけん引 愛知県美術館で安井仲治の回顧展」『中日新聞』、2023年11月6日夕刊
- ・岩田なおみ「レビュー：『生誕120年 安井仲治展』愛知県美術館で11月27日まで ～詩情豊かな驚異の世界を生み出した類まれなる写真家～」美術展ナビ、2023年11月21日
- ・清水穰「月評第146回『偉大なる凡才』の肖像『生誕120年 安井仲治』展」『美術手帖』2024年1月号、株式会社美術出版社
- ・芦高郁子「安井仲治のデザインアイ ―構成への飽くなき希求」『愛知芸術文化センター情報誌AAC』vol. 119、愛知県芸術劇場（公益財団法人 愛知県文化振興事業団）、2024年3月1日



展示風景



展示風景

これまでの企画展一覧（1992年度～2023年度）

展 覧 会 タ イ ト ル	会 期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)
フォーヴィスムと日本近代洋画	92/10/30	92/12/20	45	41,343	919
近代の日本画—西洋との出会いと対話—	93/01/05	93/02/11	33	26,166	793
20世紀 愛知の美術	93/02/19	93/03/21	27	11,585	429
パウル・クレアの芸術	93/04/02	93/05/23	45	103,239	2,294
小川芋銭展	93/06/04	93/07/04	27	26,106	967
現代の陶芸 1950-1990	93/07/16	93/08/22	33	13,153	399
安田靉彦展	93/09/03	93/10/17	39	43,003	1,103
リール市美術館所蔵 バロック・ロココの絵画 ヴェネツィア派からゴヤまで	93/10/29	94/01/16	63	47,042	747
戸張孤雁と大正期の彫刻	94/01/25	94/03/06	36	7,996	222
クブカ展	94/03/18	94/05/08	45	33,652	748
画業70年のあゆみ 杉本健吉展	94/05/14	94/06/02	17	19,568	1,151
シカゴ美術館展—近代絵画の100年	94/06/10	94/07/24	38	89,204	2,347
レジェ展	94/08/05	94/09/11	33	22,793	691
聖なるかたち 後期ゴシックの木彫と板絵—アーヘン市立ズエルモント=ルートヴィヒ美術館所蔵—	94/09/23	94/11/03	37	27,976	756
没後20年 香月泰男展	94/11/18	95/01/16	46	27,164	591
アンドリュウ・ワイエス展—アメリカの郷愁 心の風景を描く—	95/02/03	95/04/02	51	120,177	2,356
ウィーンのジャポニスム	95/04/11	95/05/14	30	27,803	927
フランツ・ゲルチュ展	95/05/26	95/07/02	33	22,392	679
還流—日韓現代美術展	95/07/14	95/09/03	45	25,072	557
ウィンザー城王立図書館所蔵 レオナルド・ダ・ヴィンチ 人体解剖図	95/09/15	95/10/15	27	68,439	2,535
表現主義彫刻	95/10/27	96/01/15	64	12,428	194
リチャード・マイヤーとフランク・ステラー—建築と絵画の接点—	96/02/02	96/04/07	57	16,599	291
ルネサンスからバロックへ 大英博物館所蔵イタリア素描展	96/04/19	96/05/26	33	30,973	939
抽象表現主義展 アメリカ現代絵画の黄金期	96/07/26	96/09/16	46	19,005	413
富岡鉄斎展—理想郷を語る—	96/09/27	96/11/10	39	25,680	658
北川民次展—愛と人間をえがく	96/11/22	97/01/26	51	28,789	564
カンディンスキー&ミュンター 愛と創造の日々1901-1917	97/02/08	97/03/16	32	22,891	715
没後50年 ボナール展	97/03/28	97/05/18	45	54,094	1,202
理智と幻想のシュルレアリスト 北脇昇展	97/05/30	97/07/13	39	15,951	409
モダンデザインの父 ウィリアム・モリス展	97/07/25	97/08/31	33	54,835	1,662
20世紀美術の冒険 アムステルダム市立美術館コレクション展	97/09/12	97/11/03	46	31,750	690
イタリア美術 1945-1995 見えるものと見えないもの	97/11/14	98/01/15	48	16,739	349
近代美術の100年 愛知県美術館コレクションの精華	98/01/30	98/03/08	33	17,985	545
川合玉堂展	98/03/20	98/05/05	41	70,936	1,730
久野真・庄司達展—鉄の絵画と布の彫刻—	98/05/15	98/06/07	21	10,236	487
オルブライト=ノックス美術館展	98/06/19	98/08/02	39	66,342	1,701
生誕100年記念 佐伯祐三展	98/08/16	98/09/27	37	39,972	1,080
アルトゥング展	98/10/09	98/12/13	57	18,845	331
没後50年 松本竣介展	99/01/08	99/02/21	39	24,551	630
ブッサンとラファエッロ—借用と創造の秘密—フランス国立図書館特別協力	99/03/05	99/04/11	33	13,387	406
ファウスト・メロッティ展	99/04/23	99/06/13	45	13,614	303
前田寛治の芸術展—詩情と造形—	99/07/02	99/08/22	45	14,851	330
危機の時代と絵画 1930-1945	98/09/03	98/10/17	39	8,379	215
生誕100年 関根正二展	99/10/29	99/12/12	39	22,719	583
セザンヌ展	00/01/05	00/03/12	59	171,060	2,899

展 覧 会 タ イ ト ル	会 期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)
アムステルダム国立美術館所蔵 17世紀オランダ美術展 レンブラント、フェルメールとその時代	00/04/07	00/06/18	63	104,226	1,654
田中恭吉展	00/07/15	00/08/27	38	22,788	600
加納光於——「骨ノ鏡」あるいは色彩のミラージュ	00/09/15	00/11/05	45	11,606	258
「アメリカン・ドリームの世紀」展	00/11/23	01/01/28	52	25,390	488
生誕110年 岸田劉生展	01/02/09	01/04/01	45	38,752	861
メルツバッハー・コレクション展	01/04/13	01/05/27	39	47,245	1,211
ロダンと日本	01/06/22	01/08/19	51	57,339	1,124
バックミンスター・フラー展	01/09/14	01/11/04	45	10,962	244
世界遺産 ポンペイ展—古代ローマ文明の輝き—	02/02/08	02/04/07	51	101,367	1,988
大英博物館所蔵フランス素描展 フォンテーヌブローからヴェルサイユへ	02/04/26	02/06/30	57	25,638	450
韓国の色と光	02/07/26	02/09/23	52	10,652	205
ミロ展 1918-1945	02/10/04	02/12/01	51	83,084	1,629
中西夏之展 広さと近さ——絵の姿形	02/12/20	03/02/23	51	14,525	285
菱田春草展	03/04/11	03/05/18	33	53,578	1,624
戸谷成雄 森の襲の行方	03/06/06	03/07/27	45	12,934	287
レオン・スピリアルト展	03/08/05	03/09/23	43	15,674	365
弘法大師入唐1200年記念 空海と高野山	03/10/10	03/11/24	40	109,612	2,740
中村彝の全貌	04/01/06	04/02/29	48	20,004	417
ベン・ニコルソン	04/04/09	04/05/23	39	10,855	278
野見山暁治展	04/06/04	04/07/19	40	7,310	183
国吉康雄展	04/08/06	04/09/26	45	24,702	549
木村定三コレクションによる 熊谷守一展	04/10/08	04/12/05	51	17,555	344
2005年日本国際博覧会記念特別展「自然をめぐる千年の旅 山水から風景へ」	05/03/11	05/05/08	51	63,052	1,236
アジアの潜在力——海と島が育んだ美術	05/05/24	05/07/10	42	8,109	193
ゴッホ展 孤高の画家の原風景 ゴッホ美術館/クレラー=ミュラー美術館所蔵	05/07/26	05/09/25	54	423,745	7,847
生誕100年記念 吉原治良展	05/12/16	06/02/26	57	12,651	222
木村定三コレクションの江戸絵画—小世界を愉しむ—	06/03/10	06/05/07	63	14,260	226
愛知曼陀羅—東松照明の原風景—	06/06/02	06/07/23	45	18,181	404
愉しき家	06/08/04	06/10/01	51	13,831	271
ペルシャ文明展 煌めく7000年の至宝	06/10/13	06/12/10	51	62,194	1,219
ルソーの見た夢、ルソーに見る夢	06/12/20	07/02/12	42	35,389	843
プライスコレクション 若冲と江戸絵画	07/04/13	07/06/10	52	92,852	1,786
愛知・岐阜・三重 三県立美術館協同企画 No. 3 20世紀美術の森	07/06/29	07/08/26	51	13,964	274
サイクルとりサイクル	07/09/07	07/11/04	51	11,595	227
ロートレック展 バリ、美しき時代を生きて	07/11/13	08/01/14	49	50,042	1,021
新収蔵記念 杉本健吉展	08/04/04	08/06/01	51	16,721	328
誌上のユートピア 近代日本の絵画と美術雑誌 1889-1915	08/06/14	08/07/27	38	9,545	251
ライオネル・ファイニンガー展	08/10/17	08/12/23	58	12,693	219
アンドリュウ・ワイエス——創造への道程	09/01/04	09/03/08	55	62,245	1,132
アヴァンギャルド・チャイナー〈中国当代美術〉二十年—	09/04/03	09/05/24	45	11,051	246
生活と芸術——アーツ&クラフツ展 ウィリアム・モリスから民芸まで	09/06/12	09/08/16	57	35,338	620
あいちトリエンナーレ2010 プレイベント 放課後のほらっば 櫃田伸也とその教え子たち	09/08/28	09/10/25	51	13,702	269
日本の自画像 写真が描く戦後 1945-1964	09/11/06	09/12/13	33	10,580	321
大ローマ展 古代ローマ帝国の遺産	10/01/06	10/03/22	65	128,496	1,977
小川芋銭と珊瑚会の画家たち	10/04/09	10/05/23	39	8,607	221
あいちトリエンナーレ2010*	10/08/21	10/10/31	65	147,821	2,274
レンバッハハウス美術館所蔵「カンディンスキーと青騎士」展	11/02/15	11/04/17	54	22,647	419

展 覧 会 タ イ ト ル	会 期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)
麻生三郎展	11/04/29	11/06/12	39	9,532	244
棟方志功 祈りと旅	11/07/09	11/09/04	50	51,966	1,039
島田章三展	11/09/16	11/10/30	39	10,881	279
生誕100年 ジャクソン・ポロック展	11/11/11	12/01/22	58	42,531	733
魔術／美術—幻視の技術と内なる異界—	12/04/13	12/06/24	63	26,637	423
マックス・エルンスト—フィギュア×スケープ	12/07/13	12/09/09	51	18,148	356
生誕150年記念 クリムト 黄金の騎士をめぐる物語	12/12/21	13/02/11	41	82,214	2,005
円山応挙展 江戸時代絵画 真の実力者	13/03/01	13/04/14	39	73,022	1,872
プーシキン美術館展 フランス絵画300年	13/04/26	13/06/23	52	123,915	2,383
あいちトリエンナーレ2013*	13/08/10	13/10/27	72	114,869	1,595
クレラー=ミュラー美術館所蔵作品を中心に 印象派を超えて—点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで	14/02/25	14/04/06	39	78,666	2,017
シャガール展	14/04/17	14/06/08	47	82,328	1,752
これからの写真	14/08/01	14/09/28	51	16,440	322
デュフィ展	14/10/09	14/12/07	52	39,068	751
ロイヤル・アカデミー展	15/02/03	15/04/05	54	41,919	776
『月映』	15/04/17	15/05/31	39	9,561	245
生誕110年 片岡球子展	15/06/12	15/07/26	39	37,405	959
芸術植物園	15/08/07	15/10/04	51	17,900	351
ピカソ、天才の秘密	16/01/03	16/03/21	69	123,386	1,788
黄金伝説展	16/04/01	16/05/29	51	38,185	749
あいちトリエンナーレ2016*	16/08/11	16/10/23	68	75,575	1,111
ゴッホとゴーギャン展	17/01/03	17/03/20	67	225,041	3,359
フィンランド独立100周年記念 フィンランド・デザイン展	17/04/07	17/05/28	45	40,595	902
大エルミタージュ美術館展 オールドマスター 西洋絵画の巨匠たち	17/07/01	17/09/18	70	146,016	2,086
開館25周年記念 長沢芦雪展 京のエンターテイナー	17/10/06	17/11/19	39	74,849	1,919
あいちトリエンナーレ2019*	19/08/01	19/10/14	65	99,423	1,530
地球・爆—10人の画家による大共作展	19/11/01	19/12/15	39	5,227	134
コートールド美術館展 魅惑の印象派**	20/01/03	20/03/01	51	83,434	1,636
大浮世絵展 歌麿、写楽、北斎、広重、国芳 夢の競演**	20/04/03	20/04/05	3	910	303
ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展	20/09/19	20/12/06	74	106,060	1,433
GENKYO 横尾忠則 原郷から幻境へ、そして現況は？	21/01/15	21/04/15	75	19,575	261
トライアローグ 横浜美術館・愛知県美術館・富山県美術館 20世紀西洋美術コレクション	21/04/23	21/06/27	57	9,948	175
ジブリの大博覧会～ジブリパーク、開園まであと1年。～	21/07/17	21/09/23	64	206,345	3,224
曾我蕭白 奇想ここに極まれり	21/10/08	21/11/21	39	25,440	652
ミニマル／コンセプチュアル ドロテ&コンラート・フィッシャーと1960-70年代美術	22/01/22	22/03/13	44	7,244	165
ミロ展—日本を夢みて	22/04/29	22/07/03	57	53,375	936
国際芸術祭「あいち2022」 STILL ALIVE 今、を生き抜くアートのちから*	22/07/30	22/10/10	73	46,893	642
ジブリパーク開園記念 ジブリパークとジブリ展	22/10/29	22/12/25	51	110,179	2,160
展覧会 岡本太郎	23/01/14	23/03/14	56	112,264	2,005
近代日本の視覚開化 明治—呼応し合う西洋と日本のイメージ	23/04/14	23/05/31	41	9,070	221
幻の愛知県博物館	23/06/30	23/08/27	51	10,144	199
生誕120年 安井仲治	23/10/06	23/11/27	46	6,040	131
累計			6,275	6,263,813	998

一日平均は小数点以下を四捨五入

\*愛知県美術館の開館日数および入場者数

\*\*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため当初予定の会期を繰り上げて閉幕

### 3 関連事業

#### 珠洲焼の壺の特別公開及び募金箱の設置

会 場：愛知県美術館ロビー

会 期：2024年2月14日（水）～4月14日（日）[53日間]

担 当：桑名彩香（愛知県美術館学芸員）、副田一穂（国際  
芸術祭推進室主任学芸員・愛知県美術館兼務）

観 覧 料：無料

来 場 者 数：7,613人（2023年度第4期コレクション展への入場者数）

寄附金総額：75,878円

#### 内容と結果：

2024年能登半島地震の被災地を支援するため、やきものの破片と布、漆でふさがれた珍しい修理痕のある珠洲焼の壺（鎌倉～南北朝時代、14世紀、愛知県陶磁美術館蔵）を愛知県美術館のロビーで無料で公開した。併せて、愛知県美術館のインフォメーションに被災地支援のための募金箱を設置した。寄附金は、愛知県の2024年能登半島地震災害義援金として全額を被災地に届けた。



展示風景

## 4 映像事業

1910～20年代に興ったアヴァンギャルド映画を源流とする、映像表現の可能性を拡張するような実験的な動向に着目し、上映会の開催やオリジナル映像作品制作などの事業を行った。

### アートフィルム・フェスティバル

第27回アートフィルム・フェスティバルは、1928年生まれの漫画家・アニメーション作家のクリヨウジ（2016年、久里洋二からカタカナ表記に変更）を特集した。

デザイナーの柳原良平、イラストレーターの真鍋博とともに結成した「アニメーション三人の会」により、1960年草月アートセンターで開催した「三人のアニメーション」は、今日アート・アニメーションと呼ばれる動向の、日本における先駆けと言えるものであった。本特集ではアニメーションの枠組みから一歩踏み出し、映画という観点からクリの仕事をみつめ直すという主旨で、特集「映画作家・クリヨウジ」と題し代表作を含む17作品を上映した。

また「愛知芸術文化センター・愛知県美術館オリジナル映像作品」最新第31作の清原惟『A Window of Memories』（2023年）の初公開や、小特集として「映像による人物像」「アーティストによる、家族の映像」を行った。

- 名 称：第27回アートフィルム・フェスティバル  
会 期：2023年10月21日（土）～11月1日（水）  
\*月曜休館 [10日間]  
会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）  
入場者：478人  
主 催：愛知県美術館  
担 当：越後谷卓司（愛知県美術館主任学芸員）



対談（シンポジウム）①

### 関連行事：

対談（シンポジウム）①

日 時：2023年10月22日（日）午後4時～4時40分

参加者17人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

講 師：吉野ナオコ（久里実験漫画工房アシスタント）、越後谷卓司（愛知県美術館主任学芸員）

対談（シンポジウム）②

日 時：2023年10月28日（土）午後7時～7時30分

参加者57人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

講 師：清原惟（映画監督）、越後谷卓司（愛知県美術館主任学芸員）

### 愛知芸術文化センター・愛知県美術館オリジナル映像作品の制作

本事業は“身体”を統一テーマに設定し、様々なジャンルの作家を登用して、その時代ごとに映像表現の先端の状況を反映させてきた。2023年度は、制作担当作家の吉開菜央がシリーズ通算32作目となる『まさゆめ』を制作した。本作は、作家自身が体調不良に陥ったことをきっかけに、禅寺での短期の修行体験を通じ、心身のありようを再認識／再構築してゆくプロセスが、個人映画的アプローチも取り入れる形で描かれた。



対談（シンポジウム）②

## 5 教育普及

### 教育普及事業の実施状況

2023年度の教育普及事業は、展覧会に伴う講演会やスライドレクチャーなどを行った。コロナ禍発生以降2023年内までは、展示室での作品解説会（ギャラリートーク）は実施を見合わせていたが、2024年1月から開催したコレクション企画「コレクションズ・ラリー」で復活させた。またオンラインを活用したレクチャーを行った。館外のアウトリーチ事業では、移動美術館の実施に伴う教育事業として、講演会や学校団体鑑賞会を行い、また県内市町村の要望に応じて行う「出前講座」を実施した。視覚に障がいのある方との鑑賞会を、地域のボランティアグループと連携し実施した。教育現場との連携では、小・中・高の教員対象の「小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会」、「鑑賞学習ワーキンググループ（研究会）」を開催した。鑑賞学習ワーキンググループの教員と協力して実施する子ども鑑賞会は、小・中・高校生対象に実施した。友の会との連携では、会員向け特別鑑賞会を実施した。友の会サポート活動は、会報誌の編集、モニター協力などの活動を行い、一部の活動は休止した。

### 出版・発行

#### 企画展に関するもの：

「企画展の開催状況」のページ（40-51頁）を参照。

#### コレクション展に関するもの：

- 第1期コレクション展出品リスト A3両面二つ折り 3頁
- 第2期コレクション展出品リスト A3両面二つ折り 4頁
- 第3期コレクション展出品リスト A3両面二つ折り 3頁
- 第4期コレクション展出品リスト A4両面 2頁

#### 研究紀要・年報：

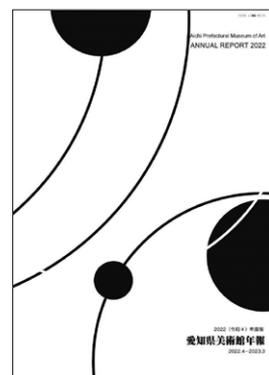
『愛知県美術館研究紀要第30号』B5判 75頁

『愛知県美術館研究紀要第30号 木村定三コレクション編』  
B5判 167頁

『愛知県美術館年報2022（令和4）年度版 第31号』A4判 62頁



研究紀要 第30号



年報2022（令和4）年度版 第31号



研究紀要 第30号 木村定三コレクション編

### 事業関連イベント

#### 企画展に関するもの：

「企画展の開催状況」のページ（40-48頁）を参照。

#### 移動美術館に関するもの：

「移動美術館」のページ（37-38頁）を参照。

#### 映像事業に関するもの：

「映像事業」のページ（53頁）を参照。

#### コレクション展に関するもの

「コレクション展」のページ（23-36頁）を参照。

## 教育プログラム

教員を対象としたもの：

### 小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会

- ・ 第1回 2023年4月22日（土）  
アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）  
参加者17人  
午後1時30分～2時  
近代日本の視覚開花 明治展 展示説明  
担 当：中野悠（愛知県美術館学芸員）  
午後2時～2時45分  
鑑賞学習事例発表  
担 当：内山絵理（名古屋市立大磯小学校教諭）
- ・ 第2回 2023年7月15日（土）  
アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）  
参加者21人  
午後1時30分～2時  
幻の愛知県博物館 展示説明  
担 当：副田一穂（愛知県美術館主任学芸員）  
午後2時～2時45分  
研 修：鑑賞学習動画上映等  
担 当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）
- ・ 第3回 2023年10月21日（土）  
アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）  
参加者16人  
午後1時30分～2時  
安井仲治展 展示説明  
担 当：鶴尾佳奈（愛知県美術館学芸員）  
午後2時～2時45分  
研 修：鑑賞プログラム体験 彫刻鑑賞「シルエット  
ビンゴ」  
担 当：鑑賞学習ワーキンググループ教員、藤島  
美菜（愛知県美術館主任学芸員）
- ・ 第4回 2024年2月3日（土）  
アートスペースE・F 参加者24人  
午後1時30分～2時  
コレクションズ・ラリー展 展示説明  
担 当：石崎尚（愛知県美術館主任学芸員）  
午後2時～3時  
研 修：鑑賞プログラム体験  
「こま犬ビンゴ」「JOMON鑑賞」「題名付け」  
担 当：鑑賞学習ワーキンググループ教員、藤島  
美菜（愛知県美術館主任学芸員）



「小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会」研修風景

### 鑑賞学習ワーキンググループ（小・中・高の先生方対象）

- 第1回 2023年4月22日（土） 午後3時～4時30分  
年間全体計画 参加者13人
- 第2回 2023年7月1日（土） 午後1時30分～3時30分  
プログラム（子ども鑑賞会）準備 参加者9人
- 第3回 2023年7月15日（土） 午後1時30分～3時30分  
プログラム（子ども鑑賞会）準備 参加者11人
- 第4回 2023年10月7日（土） 午後1時30分～3時30分  
交流会時の研修内容検討 参加者10人
- 第5回 2023年10月21日（土） 午後3時～4時30分  
今後の活動検討 参加者 6人
- 第6回 2023年1月20日（土） 午後1時30分～3時30分  
プログラム（子ども鑑賞会）準備 参加者11人
- 第7回 2月3日（土） 午後3時15分～4時45分  
プログラム（子ども鑑賞会）準備 参加者10人

### 子ども鑑賞会準備活動日：

- 7月1日（土）13人、7月15日（土）13人、7月29日（土）13人、  
8月5日（土）5人、10月7日（土）4人、10月14日（土）3人、10  
月28日（土）4人、2024年1月20日（土）14人、2月3日（土）14人、  
2月17日（土）5人、2月23日（金・祝）9人、2月24日（土）5人  
計12回 延べ102人  
場 所：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）  
担 当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）

### 一般を対象としたもの

#### 県政お届け講座、愛知県美術館出前講座：

「美術館の仕事～もっと楽しむ美術と美術館」

- ①日 時：2023年7月18日（水） 午後1時30分～3時  
会 場：愛知県立旭丘高等学校図書館南閲覧室  
対 象：高校生 20人  
担 当：深山孝彰（愛知県美術館企画業務課長）  
名 称：第94回図書館教養講座

- ②日 時：2023年7月19日（水） 午前11時～12時50分  
会 場：愛知県立豊橋西高等学校  
対 象：高校2年生 21人

講師：深山孝彰（愛知県美術館企画業務課長）  
名称：外部講師による授業：様々な職業を知る

③日時：2023年8月9日（水）午前10時～12時  
会場：小牧市公民館  
対象：（一財）小牧市民文化財団 小牧市公民館ゆうゆう学級 38人  
講師：古田浩俊（愛知県美術館美術課長）

④日時：2023年10月18日（水）午後1時30分～3時  
会場：小牧市東部市民センター  
対象：東部ゆうゆう学級 23人  
講師：古田浩俊（愛知県美術館美術課長）

⑤日時：2023年11月4日（土）午前10時～11時30分  
会場：大府市横根公民館  
対象：一般成人 10人  
講師：平瀬礼太（愛知県美術館副館長）

#### 幼児、児童、生徒を対象としたもの

##### ①夏休み子ども鑑賞会

###### 小学生向けプログラム「マッチング・アート」

日時：2023年8月26日（土）午前10時～11時30分  
参加者：14人  
2023年8月26日（土）午後2時45分～4時15分  
参加者：8人  
内容：コレクション展の鑑賞プログラム



「マッチング・アート」(小学生)

###### 中学生向けプログラム「マッチング・アート」

日時：2023年8月26日（土）午後1時～2時30分  
参加者：33人  
内容：コレクション展の鑑賞プログラム



「マッチング・アート」(中学生)

##### 高校生向けプログラム「題名って何？」

日時：2023年8月12日（土）午前9時30分～午後3時  
参加者：6人  
内容：コレクション展の鑑賞プログラム

##### ②高校生向けプログラム「カメラオブスキュラを作ろう！」

日時：2023年11月4日（土）午前10時～午後4時  
参加者：10人  
内容：安井仲治展の鑑賞と造形プログラム



「カメラオブスキュラを作ろう！」(高校生)

##### ③「コレクションズ・ラリー」

###### 小学生向けプログラム

日時：2023年3月2日（土）午前10時30分～12時  
参加者：14人  
内容：コレクション展、コレクション企画の鑑賞プログラム



「コレクションズ・ラリー」(小学生)

###### 中学生向けプログラム

日時：2023年3月2日（土）午後2時～3時30分  
参加者：7人  
内容：コレクション展、コレクション企画の鑑賞プログラム



「コレクションズ・ラリー」(中学生)

###### 高校生向けプログラム

##### 「発見！縄文・JOMON・じょうもん—JOMON MIND—」

日時：2023年3月9日（土）午前10時～午後4時  
参加者：14人  
内容：コレクション企画の鑑賞と造形プログラム



「発見！縄文・JOMON・じょうもん—JOMON MIND—（高校生）」

担当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）、愛知県美術館鑑賞学習ワーキンググループ教員 教員（8/12 5人、8/26 7人、11/4 4人、3/2 8人、3/9 5人）、教員〔記録〕（8/26 1人、3/2 1人）、学生アシスタント（8/26 3人、3/9 1人）

**オンライン鑑賞**

**県外高校とのオンライン鑑賞授業**

- ①日 時：2023年2月5日（月）午前11時40分～12時30分  
参加者：岐阜県立加茂高校1年 15人
- ②日 時：2023年2月5日（月）午後1時10分～2時  
参加者：岐阜県立加茂高校1年 20人
- ③日 時：2023年2月9日（金）午前11時40分～12時30分【中止\*】  
参加者：岐阜県立加茂高校1年 24人
- ④日 時：2023年2月9日（金）午後1時10分～2時【中止\*】  
参加者：岐阜県立加茂高校1年 24人  
\*感染症拡大による学級閉鎖のため中止  
内 容：コレクション展示室内作品鑑賞（絵画）  
担 当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）、岐阜県立高校教員1人

**県立大学とのオンライン鑑賞授業**

- ①日 時：2023年5月11日（木）午後1時5分～1時55分  
参加者：愛知県立芸術大学学生 17人  
内 容：コレクション展示室内作品鑑賞（絵画）
- ②日 時：2023年7月6日（木）午後1時5分～1時55分【中止\*】  
内 容：コレクション展示室内作品鑑賞（絵画）
- ③日 時：2023年11月9日（木）午前12時50分～午後1時40分  
参加者：愛知県立芸術大学学生 16人  
内 容：コレクション展示室内作品鑑賞（絵画）
- ④日 時：2024年2月1日（木）午後1時5分～1時55分  
参加者：愛知県立芸術大学大学 20人  
\*感染症拡大により中止  
内 容：コレクション展示室外作品鑑賞（立体）

担 当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）、愛知県立芸術大学教員1人

**視覚に障がいのある人を対象としたもの**

**視覚に障がいのある方との鑑賞会**

- ① 2023年7月20日（木）午後1時30分～3時30分 参加者：8人
- ② 2023年7月22日（土）午前10時30分～12時30分 参加者：8人
- ③ 2023年11月16日（木）午後1時30分～3時30分 参加者：5人
- ④ 2023年11月18日（土）午前10時30分～12時30分 参加者：5人
- ⑤ 2023年11月17日（金）午前9時50分～12時 参加者14人（名古屋盲学校中学部）

内 容：コレクション展示室内立体作品（7月8点、11月13点）、絵画作品（7月2点、11月1点）

担 当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）、深山孝彰（愛知県美術館企画業務課長）、解説ボランティア（アートな美 7/20 11人、7/22 10人、11/16 9人、11/18 9人）、点訳ボランティア（六点会 7/20、22 4人、11/16、18 4人）、教員（11/17 13人）



「視覚に障がいのある方との鑑賞会」

**学校機関への対応（20人以下のグループも含む）**

	小	中	高	大	専門	特別支援	一般	合計
総人数	164	767	107	461		80		1,579
総件数	2	30	2	13		4		51
学芸対応件数	2	15	2	13		2		34
学芸対応人数	164	239	107	461		62		1,033

**各種団体による鑑賞への対応**

	小	中	高	大	専門	特別支援	一般	合計
総人数	164	548	107	461	37		122	1,439
総件数	2	9	2	7	1		5	26
学芸対応件数	2	4	2	7	1		3	19
学芸対応人数	164	142	107	461	37		85	996

## 博物館実習生の受け入れ

博物館学芸員資格課程の取得に係る実習を行い、下記大学から学生を受け入れた。

愛知県立芸術大学、愛知淑徳大学、京都芸術大学、京都芸術大学大学院、静岡文化芸術大学、中部大学、都留文科大学、東京女子大学、東洋大学、名古屋芸術大学、八州学園大学 計11人。  
期 間：2023年7月31日（月）～8月4日（金）

## 学生アシスタントの受け入れ

教育普及事業の補助を中心とした研修を行い、下記大学から学生を受け入れた。

筑波大学、東京女子大学、東洋大学、八州学園大学 計4人。  
期 間：2023年8月～2024年3月

## 美術館友の会への協力

### 友の会のための特別鑑賞会

「企画展の開催状況」のページ（40～48頁）参照。

## 動画配信

- ・「近代日本の視覚開花 明治」展 特別鑑賞会  
期 間：2023年5月9日（火）～5月31日（月）  
視聴回数：73回  
講 師：中野悠（愛知県美術館学芸員）
- ・総会記念講演会「アントネルロ・ダ・メッシーナを再訪する」  
期 間：2023年6月8日（木）～7月31日（月）  
視聴回数：48回  
講 師：拜戸雅彦（愛知県美術館館長）
- ・「幻の愛知県博物館」展 特別鑑賞会  
期 間：2023年7月16日（月）～8月27日（日）  
視聴回数：87回  
担 当：副田一穂（愛知県美術館主任学芸員）
- ・「生誕120年 安井仲治展」特別鑑賞会  
期 間：2023年10月31日（火）～11月27日（月）  
視聴回数：67回  
担 当：鶴尾佳奈（愛知県美術館学芸員）
- ・講座「戦後アメリカの抽象絵画」  
期 間：2023年11月21日（火）～2024年1月15日（火）  
視聴回数：54回  
担 当：塩津青夏（愛知県美術館学芸員）

- ・「コレクションズ・ラリー」展 特別鑑賞会  
期 間：2024年2月13日（火）～4月14日（日）  
視聴回数：28回  
担 当：石崎尚（愛知県美術館主任学芸員）

## 会報誌『空中回廊』への寄稿

- 第55号 A4版8頁 2023年9月発行  
「愛知県美術館 2023年度 第3期コレクション展 『名品』はどこから来たのか？」  
黒田和士（愛知県美術館学芸員）  
「収蔵庫から 深く知るともっと見えてくる：モーリス・ルイス《デルタ・ミュー》」  
鶴尾佳奈（愛知県美術館学芸員）

- 第56号 A4版8頁 2024年3月発行  
「愛知県美術館 2024年度 第1期コレクション展 二刀流作家、加藤孝一のテラコッタ作品」  
石崎尚（愛知県美術館主任学芸員）  
「収蔵庫から 深く知るともっと見えてくる：清水登之《建築現場（ワーガーデン）》」  
藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）  
「美術館から」  
塩津青夏（愛知県美術館学芸員）



第55号



第56号

## 友の会会員によるサポート活動

- 所蔵作品管理サポート部会：中止  
アンケート集計作業：4回 参加者延べ39人  
広報印刷物発送作業：5回 参加者延べ28人  
講演会等会場準備、受付：5回 参加者延べ28人  
藤井達吉の変体仮名読み下し：15回 参加者延べ118人

## 所蔵作品に関すること

### ○石崎尚

- ・(編集)「木村定三コレクション日本陶磁目録Ⅱ」「木村定三コレクション陶磁資料補遺」『愛知県美術館研究紀要 木村定三コレクション編』第30号、2024年2月
- ・(企画)「コレクションズ・ラリー」愛知県美術館コレクション展、2023年度第4期、2024年1月16日～4月14日
- ・(執筆)「二刀流作家、加藤孝一のテラコッタ作品」『空中回廊』第56号、2024年3月
- ・(執筆) 作品解説「藤井達吉《刺繍銀杏図壁掛》」『愛知県安全運転管理協議会機関誌 AAKK』670号、2023年9月
- ・(執筆) 作品解説「高橋皓子《地衣のシリーズ》」『愛知県安全運転管理協議会機関誌 AAKK』676号、2024年1月

### ○鶴尾佳奈

- ・(執筆) 作品解説「収蔵庫から：モーリス・ルイス《デルタ・ミュー》」愛知県美術館友の会会報 第55号『空中回廊』、2023年9月
- ・(執筆) 作品解説「遠山清《マジオルカ壺のバラ》」2024年度大垣共立銀行カレンダー
- ・(執筆) 作品解説「瑛九《黄色い花》」『愛知県安全運転管理協議会機関誌 AAKK』674号、2023年11月

### ○黒田和士

- ・『『名品』はどこから来たのか?』『空中回廊』55号、2023年9月
- ・(講演)「美術品の来歴が語る物語」朝日カルチャーセンター名古屋教室、2023年12月1日、15日
- ・(講演)「ナチス政権下の『名品』の行方」愛知県美術館友の会講演会、愛知芸術文化センターアートスペースE・F、2024年3月10日
- ・(企画)「記号のからくり」愛知県美術館コレクション展、2023年度第2期、2023年6月30日～9月17日
- ・(企画)「ピカソとブラック キュビズムと『秩序への回帰』」愛知県美術館コレクション展、2023年度第2期、2023年6月30日～9月17日
- ・(企画)「『名品』はどこから来たのか?」愛知県美術館コレクション展、2023年度第3、4期、2023年10月6日～11月27日、2024年1月16日～4月14日
- ・(執筆) 作品解説「エルンスト・ルードヴィヒ・キルヒナー《グラスのある静物》」『愛知県安全運転管理協議会機関誌 AAKK』674号、2023年8月

### ○栗名彩香

- ・(講演)「パブロ・ピカソ《青い肩かけの女》調査報告」愛知県美術館友の会、愛知芸術文化センターアートスペースEF、2023年4月25日

### ○塩津青夏

- ・(講演)「戦後アメリカの抽象絵画」愛知県美術館友の会、愛知芸術文化センターアートスペースE・F、2023年11月5日
- ・(執筆) 作品解説「オーギュスト・ロダン《歩く人》」『愛知県安全運転管理協議会機関誌 AAKK』673号、2023年10月

### ○芹澤なみき

- ・(執筆) 作品解説「アメデオ・モディリアーニ《カリアティード》」『愛知県安全運転管理協議会機関誌 AAKK』669号、2023年6月
- ・(企画)「こだまする芸術」愛知県美術館コレクション展、2023年度第1、2期、2023年3月21日～5月31日、2023年6月30日～9月17日

- ・(企画)「フォロンと20世紀のグラフィックアート」愛知県美術館コレクション展、2023年度第2期、2023年6月30日～9月17日

### ○中野悠

- ・(編集)「木村定三コレクション日本陶磁目録Ⅱ」「木村定三コレクション陶磁資料補遺」『愛知県美術館研究紀要 木村定三コレクション編』第30号、2024年2月
- ・(企画)「コレクションズ・ラリー」愛知県美術館コレクション展、2023年度第2期、2024年1月16日～4月14日
- ・作品解説「久野真《鋼鉄による作品 #272》」『愛知県安全運転管理協議会機関誌 AAKK』675号、2024年1月

### ○中村史子

- ・(企画)「飯山由貴 あなたの本当のいえを探しに行く」「藤井さんちの手作りで趣味良い暮らし」愛知県美術館コレクション展、2023年度第1期、2023年3月20日～5月31日
- ・(講演)「APPによるギャラリーツアー「藤井さんちのおすすめ手藝品」」2023年5月28日

### ○坪戸雅彦

- ・(企画)「イン・モーション」愛知県美術館コレクション展、2023年度第1期、2023年3月21日～5月31日
- ・(企画) 小企画「三田村光土里 グリーン・オン・ザ・マウンテン」愛知県美術館コレクション展、2023年度第2期、2023年6月30日～9月17日
- ・(企画)「正方形」愛知県美術館コレクション展、2023年度第3期、2023年10月6日～11月27日
- ・(企画)「女性のアーティストのコレクション」愛知県美術館コレクション展、2023年度第4期、2024年1月16日～4月14日

### ○藤島美菜

- ・(執筆) 作品解説「高橋由一《不忍池》」『愛知県安全運転管理協議会機関誌 AAKK』668号、2023年5月
- ・(執筆) 作家・作品解説、小・中学生向けワークシート「移動美術館2023 愛知県美術館のコレクションから『画家たちの目 ささまざまな表現への挑戦』」清須市はるひ美術館、2023年7月4日～8月20日
- ・(執筆) 作家・作品解説「視覚障がい者向けプログラム」2023年7月20日、7月22日、11月16日、11月18日、「名古屋盲学校校外学習プログラム」2023年11月17日
- ・(執筆) 作品解説「収蔵庫から：清水登之《建築現場(ワーガデン)》」愛知県美術館友の会会報 第56号『空中回廊』、2024年3月

### ○古田浩俊

- ・(執筆) 作品解説「マックス・クリンガー《女性像》」『愛知県安全運転管理協議会機関誌 AAKK』678号、2024年3月
- ・「マックス・クリンガーの油彩画小品《女性の肖像》(二)」『名古屋造形大学紀要』30号、45～55頁、2024年3月

### ○深山孝彰

- ・(企画)「木村定三コレクション 仏教美術—絵画を主として」愛知県美術館コレクション展、2023年度第1期、2023年4月14日～5月31日
- ・(執筆) 作品解説「パウル・クレー《女の館》」『愛知県安全運転管理協議会機関誌 AAKK』667号、2023年4月
- ・(執筆) 作家・作品解説「移動美術館2023 愛知県美術館のコレクションから『画家たちの目 ささまざまな表現への挑戦』」清須市はるひ美術館2023年7月4日～8月20日
- ・(執筆) 作家・作品解説「視覚障がい者向けプログラム」

2023年7月20日、7月22日、11月16日、11月18日、「名古屋盲  
学校校外学習プログラム」2023年11月17日

#### ○由良渥

- ・(執筆) 作品解説:「伊藤若冲『六歌仙図』」『AAKK』672号、愛知県安全運転管理協議会、2023年9月
- ・(発表)「伊藤若冲筆「六歌仙図」愛知県美術館(木村定三コレクション) 蔵の主題と制作背景について」、早稲田大学美術史学会秋季例会、2023年11月
- ・(編集) 金宇大「木村定三コレクションM318単龍環頭大刀の検討2—保存処理後の再調査—」『愛知県美術館研究紀要 木村定三コレクション編』第30号、2024年2月
- ・(執筆)「伊藤若冲筆「六歌仙図」愛知県美術館(木村定三コレクション) 蔵の主題と制作背景について」『愛知県美術館研究紀要 木村定三コレクション編』第30号、2024年2月
- ・(執筆)「水量墨章—深淵なる世界—⑩与謝蕪村」『墨』286号、2024年2月

### 展覧会等に関すること

#### ○鵜尾佳奈

- ・(編集)『安井仲治作品集 = Yasui Nakaji 1903-1942: photographs』、河出書房新社、2023年10月
- ・(執筆・編集)「生誕120年 安井仲治展 鑑賞ガイド」『生誕120年 安井仲治』2023年10月
- ・(登壇)『安井仲治をめぐる6つの言葉』愛知芸術文化センターアートスペースA、2023年11月5日
- ・(講演) 座談会「美術のなかの椅子なるもの」埼玉県立近代美術館、2024年2月23日
- ・(企画・執筆・編集) 論考「なぜ椅子はアーティストをも魅了するのか?—1960年代以降の椅子表現小史」「章解説」「作家・作品解説」「椅子の文化と美術をめぐるブックリスト」『アブソリュート・チェアーズ 現代美術のなかの椅子なるもの』埼玉県立近代美術館・愛知県美術館編、平凡社、2024年3月

#### ○副田一穂

- ・(企画)「幻の愛知県博物館」2023年6月30日～8月27日
- ・(執筆)「忘れ去られた博物館が、今よみがえる」『新美術新聞』1634号、2023年7月1日
- ・(講座)「愛知県美術館企画展『幻の愛知県博物館』のちょっとディープな楽しみ方」愛知県図書館、2023年7月15日
- ・(出演)「愛知県美術館の「幻の愛知県博物館」を巡ろう」『ニコニコ美術館』2023年7月25日
- ・(執筆)「幻の愛知県博物館——戦前日本のミュージアムの姿」『美術の窓』42巻7号、生活の友社、2023年7月
- ・(執筆) 章解説、節解説、一言解説『幻の愛知県博物館』幻の愛知県博物館展実行委員会、2023年8月
- ・(企画)「珠洲焼の壺の特別公開及び募金箱の設置」2024年2月14日～4月14日

#### ○中野悠

- ・「近代日本の視覚開化——造形から見る明治」「章解説」「コラム」「人物列伝」『近代日本の視覚開化 明治——呼応し合う西洋と日本のイメージ』展図録、愛知県美術館・神奈川県立歴史博物館編、風媒社、2023年4月
- ・(発表)「写真師宮下欽・守雄 名古屋での活動」『明治美術学会・愛知県美術館共催シンポジウム「愛知で考える明治美術」』愛知芸術文化センターアートスペースA、2023年4月23日
- ・(講義)「近代日本の視覚開化 明治」日本美術史概説、愛知県立芸術大学、2023年4月25日

#### ○中村史子

- ・(企画・執筆・編集) 論考「1920年代の安井仲治 その豊かな絡まりと汲み尽くせなさ」「資料」『安井仲治作品集 = Yasui Nakaji 1903-1942: photographs』、河出書房新社、2023年10月
- ・(登壇)「アマチュア×オールラウンダー」『安井仲治をめぐる6つの言葉』愛知芸術文化センターアートスペースA、2023年11月5日
- ・(執筆) 作家解説『アブソリュート・チェアーズ 現代美術のなかの椅子なるもの』平凡社、2024年3月

#### ○拝戸雅彦

- ・(執筆)「『ミュージアム』がはじまることから」『幻の愛知県博物館』図録、幻の愛知県博物館展実行委員会、2023年8月

#### ○藤島美菜

- ・(企画・執筆) 作家・作品解説、小・中学生向けワークシート「移動美術館2023 愛知県美術館のコレクションから『画家たちの目—さまざまな表現への挑戦—』」清須市はるひ美術館、2023年7月4日～8月20日

#### ○深山孝彰

- ・(企画・執筆) 作家・作品解説、「移動美術館2023 愛知県美術館のコレクションから『画家たちの目—さまざまな表現への挑戦—』」清須市はるひ美術館、2023年7月4日～8月20日

#### ○由良渥

- ・(執筆)「コラム」「人物列伝」『近代日本の視覚開化 明治——呼応し合う西洋と日本のイメージ』展図録、愛知県美術館・神奈川県立歴史博物館編、風媒社、2023年4月
- ・(発表)「展覧会紹介」『明治美術学会・愛知県美術館共催シンポジウム「愛知で考える明治美術」』愛知芸術文化センターアートスペースA、2023年4月23日
- ・(講演)「菊池容斎と『前賢故実』」、「明治」をめぐるリレートーク、愛知芸術文化センターアートスペースA、2023年5月3日

### 教育普及に関すること

#### ○藤島美菜

- ・(レクチャー)「視覚障がい者向け鑑賞について」友の会サポート部会、2023年10月17日
- ・(研修) 小・中・高の先生方との鑑賞学習交流会「教員向け研修」2023年7月15日、10月21日、2024年2月3日
- ・(企画・作品解説・触図作成) 視覚障がい者向けプログラム、2023年7月20日、7月22日、11月16日、11月18日
- ・(企画・作品解説・触図作成) 名古屋盲学校 校外学習プログラム、2023年11月17日
- ・(企画) コレクション展小学生・中学生鑑賞プログラム、2023年8月26日、2024年3月2日、コレクション展高校生鑑賞プログラム、2023年8月12日
- ・(企画) 安井仲治展 高校生 鑑賞&造形プログラム、2023年11月4日
- ・(企画) コレクションズ・ラリー展 高校生 鑑賞&造形プログラム、2024年3月9日
- ・(トーク) コレクション展オンライン鑑賞 愛知県美術館・愛知県立芸術大学、2023年5月11日、7月6日(中止)、11月9日、2024年2月1日
- ・(トーク) コレクション展オンライン鑑賞 愛知県美術館・岐阜県立加茂高校、2024年2月5日、2月9日(中止)

○深山孝彰

- ・(企画・作品解説・触図作成) 視覚障がい者向けプログラム、2023年7月20日、7月22日、11月16日、11月18日
- ・(企画・作品解説・触図作成) 名古屋盲学校 視覚障がい者向けプログラム、2023年11月17日

**作品の保存等に関すること**

○葉名彩香

- ・(企画) 全国美術館会議保存研究部会第57回会合、アートスペースE・F、2023年5月28日
- ・(講演) 愛知県立芸術大学「文化財学特講Ⅱ」実習、2023年8月30日
- ・(執筆) 「愛知県下の窯業遺跡出土資料に関する基礎的調査報告Ⅷー岩崎25号窯式前後の須恵器窯、棧敷1号窯跡、八事一堂跡出土資料ー」愛知県陶磁美術館研究紀要29、2024年3月

**美術館運営に関すること**

○副田一穂

- ・(執筆) 「災害対策委員から：連絡網体制とメーリングリスト始動」『ZENBI全国美術館会議機関誌』24号、2023年9月
- ・(執筆) 「美術館問題(2) 美術館のコレクション・データベースの現状と課題」『美術の窓』42巻11号、2023年11月

**映像事業に関すること**

○越後谷卓司

- ・(企画実施) 「第27回アートフィルム・フェスティバル」2023年10月21日～11月1日
- ・(プログラム解説) 「映画作家が領域を越える時」『第27回アートフィルム・フェスティバル』2023年10月
- ・(対談) 吉野ナオコ(久里実験漫画工房アシスタント)との対談「映画作家・クリヨウジ特集」『第27回アートフィルム・フェスティバル』愛知芸術文化センターアートスペースA、2023年10月22日
- ・(対談) 清原惟監督との対談『第27回アートフィルム・フェスティバル』愛知芸術文化センターアートスペースA、2023年10月28日
- ・(シンポジウム) 参加校教員による『ムービング・イメージ・フェスティバル(MIF)』愛知芸術文化センターアートスペースA、2023年12月3日

**国際芸術祭に関すること**

○塩津青夏

- ・(レクチャー) 「キュレーターの仕事」アートマネジメントアカデミー2023、アートラボあいち、10月28日

○芹澤なみき

- ・(企画) 「国際芸術祭地域展開事業 なめらかでないしぐさ 現代美術 in 西尾」西尾市岩瀬文庫ほか、2023年10月14日～11月5日
- ・(執筆) 「まちなか展示の魅力」『国際芸術祭地域展開事業 なめらかでないしぐさ 現代美術 in 西尾 開催報告書』2024年3月

○副田一穂

- ・(企画) 「国際芸術祭地域展開事業 なめらかでないしぐさ 現代美術 in 西尾」西尾市岩瀬文庫ほか、2023年10月14日～11月5日
- ・(執筆) 「なめらかでないしぐさ：はじめての町、西尾で」『詩人茨木のり子の会報』65号、2023年12月
- ・(執筆) 「なめらかでないしぐさ」『国際芸術祭地域展開事業 なめらかでないしぐさ 現代美術 in 西尾 開催報告書』2024年3月

○中村史子

- ・(講演) シンポジウム「パンデミック後のビエンナーレ・トリエンナーレの行方」大阪公立大学、2023年7月

**その他**

○鶴尾佳奈

- ・(執筆) 宮内由梨個展「Scar Script」レビュー、2023年6月
- ・(講演) 河合智子個展「As If」オープニングトーク、gallery N、2024年3月9日
- ・(執筆) 解題「ワーカーとしてのロバート・モリスー「脱物質化」のジレンマのなかで」『アート・ワーカーズ 制作と労働をめぐる芸術家たちの社会実践』フィルムアート社、2024年3月

○越後谷卓司

- ・(執筆) 「三井園子 作家・作品解説」極小美術館チラシ、2023年4月
- ・(講演) 「ウェス・アンダーソンについて」多摩美術大学「映像理論」、2023年5月18日
- ・「野田真吉のアート・ドキュメンタリー」『山形国際ドキュメンタリー映画祭・野田真吉特集カタログ』2023年10月
- ・(講演) 「ビデオアートとその時代」名古屋市立大学「芸術工学特別講義」、2023年12月12日
- ・(執筆) 「ガラスと鏡、そして音」『芸術批評誌REAR』50号、2024年2月

○塩津青夏

- ・(執筆) 「小川愛「ストーンと落ちて、そこにある」」『芸術批評誌リア』50号、リア制作室、2024年2月

○芹澤なみき

- ・(発表) 「ベアト・アンジェリコ《サン・マルコ祭壇画》ピラスターパネルに関する一考察」早稲田イタリア言語・文化研究会第181回例会、2023年12月9日

○副田一穂

- ・(審査) 「アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム2023「汗かくメディア」」愛知県児童総合センター、2023年4月21日
- ・(審査) 「TOKAS-Emerging 2024」トーキョーアーツアンドスペース本郷、2023年8月22日
- ・(講演) 「写真家 後藤敬一郎の活動について」葵美術グループ、2023年10月30日
- ・(執筆) 「カーキ、迷彩、見えない統治」『DAZZLER: Kyoto Art Center Co-program 2022 Category B』2023年11月
- ・(執筆) 「名古屋のシュルレアリスム」『「シュルレアリスム宣言」100年 シュルレアリスムと日本』青幻舎、2023年12月
- ・(執筆) 「名古屋の博覧会と博物館」『愛知の名所いまむかし：明治・大正・昭和』風媒社、2024年2月
- ・(講義) 「博物館資料論」(全15回) 名古屋造形大学、2023年度後期

○中村史子

- ・(執筆) 「8歳下の学芸員が裸体表現に挑みたいと相談してきたとせよ」遠藤麻衣作品集『Scraps of Defending Reanimated Marilyn』oar press、2023年4月
- ・(レビュー・審査) Kyotographieポートフォリオレビュー、KG+審査、2023年4月

- ・(インタビュー・執筆)「ARTIST IN FOCUS 遠藤薫」『美術手帖』2023年7月号、美術出版社、2023年6月
- ・(執筆)「現代作家紹介 金サジ」『美術フォーラム21』47号、醍醐書房、2023年6月
- ・(執筆)「吉田真也レビュー」『AC2』、国際芸術センター青森
- ・(講演)谷澤紗和子展トーク、seesaw gallery、2023年7月
- ・(審査)三重県アールブリュット&ミュージックブリュット公募展「三重の荒ぶるアーティストたち展」審査、2023年9月1日
- ・(インタビュー・執筆)「ARTIST INTERVIEW 安藤正子」『美術手帖』2023年10月号、美術出版社、2023年9月

## ○拝戸雅彦

- ・(執筆)「ガラスのピラミッド開館20周年記念展 鈴木悠哉: Archaic future」カタログ、2024年1月30日

## ○藤島美菜

- ・(講義)「博物館教育論」(全15回) 愛知県立芸術大学、2023年度前期
- ・(講義)「教職ICT活用論」愛知県立芸術大学 オンライン鑑賞(愛知県美術館・愛知県立芸術大学) 2023年5月11日、7月6日(中止)、11月9日、2024年2月1日
- ・(講義)至学館大学健康科学部子ども健康・教育学科「子どもと造形」学外実習 愛知芸術文化センター、2023年8月2日
- ・(審査・講評)「第27回ちゅうでんりサイクル工作コンクール」2023年9月26日、10月27日、12月16日
- ・(審査)「第19回人と自然にやさしいまち デザインコンテスト」2023年10月10日、12月3日

## ○古田浩俊

- ・(講義)「博物館資料保存論」(全15回) 名古屋造形大学 2023年度前期4月~8月
- ・(講演)「美術館の仕事~もっと楽しむ美術と美術館」『県政お届け講座』小牧市公民館(小牧市公民館ゆうゆう学級)、2023年8月9日
- ・(講演)「美術館の仕事~もっと楽しむ美術と美術館」『県政お届け講座』小牧市東部市民センター(東部ゆうゆう学級)、2023年10月18日

## ○深山孝彰

- ・(講演)「美術館の仕事~もっと楽しむ美術と美術館」『県政お届け講座』愛知県立旭丘高等学校図書館南閲覧室(第94回図書館教養講座)、2023年7月18日
- ・(講演)「美術館の仕事~もっと楽しむ美術と美術館」『県政お届け講座』愛知県立豊橋西高等学校(外部講師による授業: 様々な職業を知る)、2023年7月19日
- ・(執筆)「戸張孤雁の人と芸術」『戸張孤雁の芸術展』、中村屋サロン美術館、2023年9月

## ○森美樹

- ・(講義)「学芸員の仕事について」相山女学園大学博物館実習、2023年6月6日
- ・(非常勤講師)「フランス美術」(全15回) 名古屋外国語大学 外国語学部フランス語学科、2023年度後期

## ○由良濯

- ・「曾我蕭白筆 鷹図」『國華』1535号、2023年9月30日

※副田一穂、芹澤なみきの両名については国際芸術祭推進室所属の兼務職員であるが、ここに業績を所収した

## 美術館の防災体制

来館者等の「人」に対する正担当1名、作品等の「物」に対する正担当1名を置く。

### 「人」に対する防災

2024年3月5日(火)に火災を想定した訓練を実施し、退避施設への移行を前提とした訓練内容を正確に実行できるか確認した。また全4回のシミュレーションミーティングを通じて、地震発生時の初動対応方針の見直しを行い、管理部および指定管理者(愛知県文化振興事業団)と防災体制を確認のうえ、「愛知県美術館災害時初動活動要領」の改正を行った。

### 「物」に対する防災

作品防災のためのプレインストーミングとして、一年間の振り返りと展示マニュアルの見直しをおこなった。また、収蔵庫の絵画ラックの落下・跳ね防止対策を行った。

## 愛知芸術文化センターの防災体制

愛知芸術文化センター共同防火・防災管理協議会

愛知県文化振興事業団に事務局を置き、防火・防災訓練(劇場発災想定と美術館発災想定の2回)ほか防災教育等を行った。

## その他

全国美術館会議の防災活動

大災害時における連絡網実施要領に基づく県域連絡本部館として、2023年6月1日~3日の梅雨前線及び台風第2号による大雨、2024年1月1日の能登半島地震に伴う被災情報収集を行った。2023年12月14日に開催された「大災害時における各ブロック本部館・副本部館連絡網会議」に、愛知芸術文化センター12階アートスペースAを会場として提供し、災害対策委員会委員として学芸員1名(副田一穂・愛知県美術館主任学芸員)が東海ブロック本部館・副本部館の事例発表を行ったほか、7月と12月の災害対策委員会に出席した。また、東海ブロック内の連絡網体制について各県域連絡本部間と意見交換をした上で、2024年3月11日(月)に県内の会員館に対して連絡訓練を行った。学芸員1名(石崎尚)が川崎市市民ミュージアムの救援活動に2日間参加した。

文化遺産防災ネットワーク推進会議への協力

日本博物館協会、全国美術館会議、歴史資料ネットワーク等27団体からなる文化遺産防災ネットワーク推進会議の情報収集等の活動に対し、愛知県博物館協会の災害対策ブロック館および全国美術館会議東海ブロック副本部館として協力した。

# ギャラリー（貸館）

## 美術館ギャラリー利用状況

### 展示室利用状況

（単位：日数）

区分 月別	利用可能日数	満室数	利用数	利用率	展示室別利用日数												審査保管室別利用日数	
					A室	B室	C室	D室	E室	F室	G室		H室	I室	J室		第1	第2
											1	2			1	2		
2023年4月	24	288	264	91.7%	24	24	18	24	24	18	24	24	18	24	18	24	8	23
5月	26	312	300	96.2%	26	26	26	20	26	26	20	26	26	26	26	26	0	14
6月	22	264	248	93.9%	22	22	22	22	19	19	22	22	22	22	12	22	0	13
7月	25	300	219	73.0%	25	25	25	25	23	12	20	13	18	12	8	13	10	27
8月	27	324	222	68.5%	27	21	15	12	21	12	15	15	21	21	21	21	8	7
9月	26	312	259	83.0%	26	26	20	23	15	18	21	21	21	26	21	21	0	22
10月	26	312	289	92.6%	26	26	26	21	20	21	26	26	26	26	20	25	19	31
11月	26	312	301	96.5%	26	26	20	21	26	26	26	26	26	26	26	26	11	19
12月	22	264	180	68.2%	22	16	11	9	15	9	20	20	8	20	15	15	10	13
2024年1月	24	288	231	80.2%	24	24	24	19	19	19	19	19	19	19	13	13	13	14
2月	25	300	288	96.0%	25	25	25	22	25	25	25	25	19	25	22	25	21	10
3月	27	324	270	83.3%	27	21	21	24	21	21	15	15	27	27	24	27	3	17
計	300	3,600	3,071	85.3%	300	282	253	242	254	226	253	252	251	274	226	258	103	210

### 展覧会種別利用状況及び入場者数

区分 月別	展覧会別利用件数（件）										入場者数 （人）
	総合展	絵画展	彫刻展	工芸展	書道展	デザイン展	写真展	版画展	計		
2023年4月	7	5	0	1	4	0	1	0	18	30,434	
5月	9	1	3	1	2	0	0	0	16	22,216	
6月	5	2	0	1	2	0	0	1	11	16,387	
7月	6	3	1	2	2	0	0	0	14	16,395	
8月	8	3	0	0	5	0	0	0	16	15,533	
9月	6	4	0	0	3	0	1	0	14	20,834	
10月	12	3	0	0	3	0	1	1	20	21,633	
11月	10	2	0	0	4	0	3	0	19	23,932	
12月	9	1	0	1	2	0	0	0	13	21,710	
2024年1月	3	1	0	0	3	1	0	0	8	6,773	
2月	10	0	0	0	1	0	1	0	12	45,342	
3月	7	3	0	0	6	0	2	0	18	29,762	
年度計	92	28	4	6	37	1	9	2	179	270,951	

※利用件数は展覧会の初日が属する月で整理し、入場者数は当該月で整理。

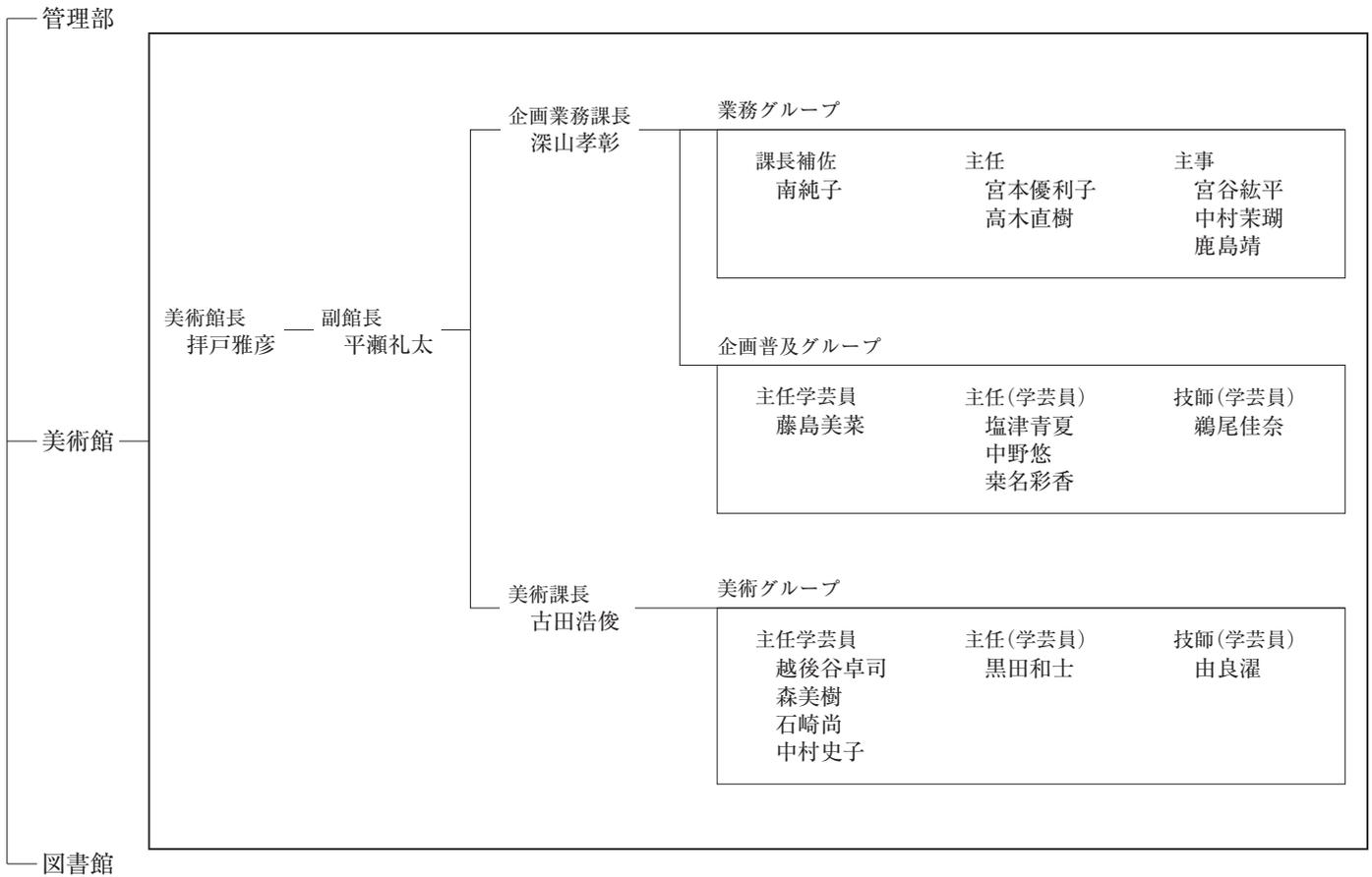




# 組織および職員構成

## 組織図

(2023年4月1日現在)



## 愛知県美術館職員名簿

館長	拝戸雅彦	美術課長	古田浩俊
副館長	平瀬礼太	主任学芸員	越後谷卓司
企画業務課長	深山孝彰	主任学芸員	森美樹
課長補佐	南純子	主任学芸員	石崎尚
主任	宮本優利子	主任学芸員	中村史子 (～2023年9月)
主任	高木直樹	主任(学芸員)	黒田和士
主事	宮谷紘平 (～2024年1月)	技師(学芸員)	由良濯
主事	中村茉莉		
主事	鹿島靖		
主事(臨時任用)	水谷有妃子 (2023年8月～)		
主事(臨時任用)	鳥山貴子 (2023年11月～2024年3月)		
主任学芸員	藤島美菜		
主任(学芸員)	塩津青夏		
主任(学芸員)	中野悠		
主任(学芸員)	栗名彩香		
技師(学芸員)	鶴尾佳奈		

# 関係委員会名簿

※2024年3月31日現在（五十音順）

## 愛知県美術館専門委員会委員

氏名	所属・職名
浅野芳夫	公益財団法人愛知県文化振興事業団愛知県芸術劇場館長兼劇場運営部長
上野充浩	中日新聞社事業局文化事業部長
加藤磨珠枝	立教大学教授
◎ 倉地久	愛知県立芸術大学副学長
小林克敏	愛知県美術館友の会会長
園田直子	国立民族学博物館人類基礎理論研究部長
高北幸矢	清須市はるひ美術館長
津坂昌樹	名古屋市美術館長
都築孝明	愛知県小中学校校長会長
野々川房子	日本メナード化粧品（株）常務取締役（メナード美術館アート・プロデューサー）
速水豊	三重県立美術館長
山田美佐子	元稲沢市荻須記念美術館長

◎は委員長

## 愛知県美術館専門委員会（ギャラリー部会）委員

氏名	所属・職名
伊藤弘憲	公益財団法人愛知県文化振興事業団常務理事兼事務局長
大塚道男	彫刻家
◎ 高北幸矢	清須市はるひ美術館長
長谷川隆	稲沢市荻須記念美術館長
原田俊治	名古屋市博物館総務課長
平木充裕	公益財団法人名古屋市文化振興事業団市民ギャラリー矢田館長
宮田健秀	公益財団法人名古屋市文化振興事業団市民ギャラリー栄館長

◎は部会長

## 愛知県美術館美術品収集委員会委員

氏名	所属・職名
天野一夫	美術評論家
植松由佳	独立行政法人国立美術館国立国際美術館学芸課長
加藤弘子	平塚市美術館特別館長
蔵屋美香	横浜美術館長
◎ 速水豊	三重県立美術館長

◎は委員長

## 愛知県美術館美術品収集委員会（オリジナル映像部会）委員

氏名	所属・職名
◎ 天野一夫	美術評論家
岡田秀則	国立映画アーカイブ主任研究員
橋本梓	独立行政法人国立美術館国立国際美術館 学芸課 美術室長
林緑子	シアターカフェ 代表

◎は部会長

愛知県美術館年報 32号 2023(令和5)年度版

2025年3月発行

編集・発行

愛知県美術館

〒461-8525

愛知県名古屋市東区東桜1-13-2

Tel : 052-971-5511(代)

<https://www-art.aac.pref.aichi.jp/>

デザイン・レイアウト・印刷

共生印刷株式会社

**Aichi Prefectural Museum of Art Annual Report 2023, no. 32**

Published in March 2025

Edited and Published by Aichi Prefectural Museum of Art

1-13-2, Higashisakura, Higashi-ku, Nagoya, Aichi,

461-8525, JAPAN

Tel: +81-52-971-5511

<https://www-art.aac.pref.aichi.jp/>

Printed by Kyosei Printing Co., Ltd.

©2025 Aichi Prefectural Museum of Art